

令和2年6月8日  
 社会福祉法人 赤城会  
 法人本部 事務 池田  
 Tel : 0279-25-8336  
 Fax : 0279-56-4477

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う問題点の回答書

問題点の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者と保護者等の面会ができない。</li> <li>2. 利用者が外出制限を受けている。</li> <li>3. 2階3階の利用者、職員の移動が原則、禁止になっていることから支援や勤務に支障が出ている。</li> <li>4. 通所事業が停止しているため通所利用者が不穏になっている。また、収入にも影響している。</li> <li>5. 会議等が原則、中止になり報告、連絡、相談に支障が出ている。</li> </ol>
具体的事例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 面会ができないことによるストレスからか利用者が情緒不安定になっている。また保護者からも利用者の生活の様子を心配している。</li> <li>2. 利用者が思うように外出できないためストレスからか大声を出して粗暴になることが増えている。</li> <li>3. 移動制限により行動範囲が限られているため画一的な利用者支援になっている。また、2階3階と勤務が2つに分かれているため手が足りない時の協力体制が取れない。</li> <li>4. 通所ができないため利用者が不穏になりホーム内で興奮や粗暴になることが増えている。また、事業停止により収入が減少している。</li> <li>5. 会議等の中止により話し合いが持てず課題の解決や情報の共有があまり出来ない。</li> </ol>

令和2年6月8日  
社会福祉法人白石陽光園  
法人本部事務局 担当 高野

### 新型コロナウイルス感染症が原因で、福祉現場にて生じている問題等

1. マスク・消毒液等、予防用品が手に入りにくい。価格も今だ高騰状態でストックにも限界がある。
2. 県での流行が今のところおさまっている状況であるが、利用者の外出等、どこまで制限をするものか判断が難しいため、日中活動にも影響がある。
3. 様々な通知が重複して出されていることと、文書内容や表現がわかりにくい。入所施設として、通所施設として何を準備して、どう対応するものか具体的に出してほしい。
4. 感染者・感染疑い者が出た場合の初動や必要物資、ゾーニングの考え方、フロー等図にしてわかりやすく例を示してほしい。(実際に感染者を出した施設の対応、具体例など)
5. 「3密を作らない」ための広い活動場がない。
6. 面会・帰省の制限などしているが、家族とのつながりなど入所の場合はいうすくなる。
7. マスク使用については障害特性上難しい利用者が多い。
8. 耳の不自由な方については、マスクをしていると伝わらない。筆記にも障害特性上限界がある。
9. BCP 作成にあたっての具体例や様式を提示してほしい。

令和2年6月5日

障がい者福祉研究所  
代表 足高 慶宣 様

社会福祉法人名護学院  
理事長 比嘉 達也  
【公印省略】

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関する  
アンケートについて（回答）

みだしの件につきまして、下記のとおり回答いたします。

アンケート内容

- 新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障がい児・者とそのご家族、及び事業者の皆様が直面している問題点、困っていることなどをご回答下さい。

回答

- 新型コロナウイルス感染症に感染しない、うつさないことを目的に、我々国民には3密（密閉、密集、密接）を避けることが求められています。  
しかし、障害者支援施設や介護施設では、多くの方が集まる居場所・住まい（密集、密接）の環境で支援者が利用者の方と間近で会話する（密接）ことは、支援における基本です。現在の支援現場では感染症予防を進めるにあたって、これまで求められてきた機能や関り方で苦悩している現状がある。
- 新型コロナウイルスへの感染予防として、極力人と人との接触を避けるため、通所事業所による利用を中止している方が大勢います。今後、長期間の休みになった場合、ご本人の健康状態等の把握及びご家族のレスパイトケアを含めて在宅の方のサポートが必要です。
- 施設で発熱者が発生したら、自室内で休養していただいている。しかし、認知症や知的障害の特性から自室から出てしまう方、マスクの着用が理解できない方に関しては、夜勤者を1名増やし、休養室で様子観察、支援に当たるため、職員の時間外や休日出勤が多くなっている。

○医療従事者の安全確保、手当等、医療従事者が家庭内感染防止で家に帰れないことがあるので、医療従事者の一時宿泊施設の充実が必要である。

○妊娠中の職員をはじめ、高齢の職員、基礎疾患を有する職員が休みやすい環境の整備などの取り組みを実施する際、主治医からの証明（特記事項）の提出など、休業を配慮するための基準を設けていただくと判断しやすい。一方、妊娠中の職員、高齢の職員・基礎疾患を有する職員の休業により、職員不足が生じることが予測される。

以上

令和2年6月5日  
 社会福祉法人 茶の花福祉会  
 在宅支援センター大樹  
 施設長 富田 明秀  
 住所 入間市上藤沢987-1 2階  
 TEL: 04-2968-3581 FAX: 04-2966-5567

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

<p>問題点の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 引きこもり等のケースで定期訪問していたが、電話のみになってご利用者（ご家族）が不安定になっている</li> <li>2. 児童での在宅支援に関する利用費負担に関する不満。（在宅での対応では難しいケースの場合）</li> <li>3. 在宅支援での市町村判断について</li> <li>4. 保健所対応（精神）のケースでの連絡（連携）がタイムリーに取れない</li> <li>5. 報酬の按分について</li> </ol>
<p>具体的事例</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期的に訪問（面談）を実施していたが、いつまで訪問等が出来ないのか不安になり体調面での不調も聞かれる。また家族が困って相談に入ったばかりのケースでは、訪問が出来ないので未だ本人に合うことが出来ていない。金銭的にも困窮している家庭で心配が大きい。（電話での連絡では相手の表情がわからず、声のみでの判断で対応が難しい）</li> <li>2. 利用者負担金がある家庭では、今までのような直接的な支援で無く、家族対応の時間が長い中で負担金の支払いに対して不満を聞くこともあります。</li> <li>3. 在宅支援でのあり方で近隣市でも対応に差がある。市町村判断とすることで、各行政機関は周囲の状況を見る傾向にあり、運用の流れの決定（詳細）が遅くなる市町村があり、事業所の対応が遅くなる。</li> <li>4. コロナ対応で保健所がパンク状態で電話回線が繋がらない。深夜になって担当から連絡をもらえたが、訪問等が難しい中で何も対応が出来ない。</li> <li>5. 在宅支援で共同生活援助と就労継続支援事業所等で在宅支援を行った場合の按分は、事業所同士での話し合いとなるが割合に対して基準等がない為難しい。</li> </ol>

障がい者福祉研究所  
代表 足高 慶宣様

73

## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート回答

問題点の概要	法・制度	倫理	厚生労働省は制度問題、倫理問題への言及なし
具体的事例	の不備		A: 不安解除して利用させたところ90%以上の利用率つまり、収入はほとんど変わらない事業所あり。補填補助なし B: これに反して努力せず利用が少なかった事業所に対しては、補填、補助、その他あり
問題点の概要	法・制度の不備	倫理	自治体所有のセンターが突然緊急事態宣言即閉館 代替場所探しもできず、引っ越しもできず、福祉サービスを必要とする方々を置き去りにした罪は問われない
具体的事例	備		①利用者の存在や事業の存続を無視した自治体 ②その自治体への指導をしない無責任な政府と厚生労働省
問題点の概要	法・制度の不備	倫理	同じ報酬単価 A: エssenシャルワーカーとしての努めを果たして開園を続ける事業所 B: 早々に閉園をされた事業所
具体的事例	備		電話対応でお金がもらえるとわかった途端に閉園された放課後デイサービス、発達支援、就労支援事業所等がある。いずれも株式会社。
問題点の概要	法・制度の不備	複合複数事業経営法	複数事業を行っている場合、全体収入で判断され、収入ゼロ事業があるにも関わらず、厚生労働省、経済産業省すべての補填・補助金対象外になる。どうやって生き残るのか。職員解雇しかない。
具体的事例	備	人	児童福祉法、障害者総合支援法、介護保険法における事業の中には収入ゼロ事業もあるが、法人全体で判断され補助対象外となる。
問題点の概要	役人 気質	倫理	福祉行政をなめてかかる厚生労働省役人、自治体役人には通じないという思いだけが募っている。危険なことは下（しも）がやり、自分たちは安全な場所から指示命令、他人事、県で一括して欲しいものも各市町村任せ
具体的事例			「やれ」「補助は出さない」「制度のはざま?」「事業者で何とかしろ」 「前例がない」「市町村と話せ」
問題点の概要	通達 不備		国からの通達文周知方法
具体的事例			国からは「電話での対応可能」という通知が来ているが、各市町村の解釈及び担当者によってばらつきがあり、また通達文が市町村まで周知されていない事により現場（福祉事業者）が翻弄された。
問題点の概要	財務	就園・就学児	休校や休園により本来のサービス実施ができず、収入が大幅に減少 代替サービスを実施しても、本来のサービスが行えない現状 あわせて収入減少の補助がない。事業の継続ができない。
具体的事例	財務	保育所等訪問支援	①幼稚園、学校が閉鎖されて支援を行う行き場がない。 ②よって収入ゼロ ③厚労省は自宅へ行くことで報酬 ④家族は自宅へ新型コロナウイルスが入ることを懸念し、断り ⑤よって収入ゼロ ⑥厚労省、県、町とも「すでに通知済み」 支援手順1. 学校、幼稚園、保育園へ巡回⇒こどもの様子観察、園や学校生活の中でのサポート体制を整備、 支援手順2. 家庭との連携、先生や保護者との支援のつなぎ
問題点の概要	財務	障がい	収入減少 補助がない。

			事業の継続ができない。
具体的事例		居宅介護	居宅介護において新型コロナウイルス感染を怖がって利用者様から接触を拒まれるケースが多い
問題点の概要	財務	雇用調整助成金対象外	雇用調整助成金申請にあたっては下記すべての条件を満たす事が条件であるため、申請できない。 「条件①休業」⇒通常勤務⇒国の要請 令和2年4月7日付事務連絡社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について（その2）「利用者の方々やその家族の生活継続する上で欠かせないものであり、十分な感染防止対策を前提として、利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供されることが重要」のもとサービスを継続しても利用者様及びご家族から新型コロナウイルス感染を恐れて自宅への介護または移動支援など自宅外のサービスなどすべてを拒否（条件アンクリア） 「条件②最低6割補償か全額」⇒給与通常支給（条件クリア） 「条件③前年売上げの5%減収」⇒収入ゼロ（条件クリア）
具体的事例			すべての居宅介護福祉サービスは利用者様自宅が中心となるが、ご家族が家に持ち込まれるという恐れをいただければ事業は成り立たない。
問題点の概要	財務	短期入所他	収入減少厚労省、経済産業省他どこにも収入減少への補填なし
具体的事例			「法人の中小企業や小規模事業者の場合は、上限は200万円です。」持続化給付金非該当
問題点の概要	財務	共同生活援助	家族の意向による福祉サービス収入減少
具体的事例			家族がコロナ感染不安をいただき、利用を10日控えた。その間収入はなし。在宅支援の支援費優遇措置が共同生活援助（夜間）にはない
問題点の概要	財務	共同生活援助	家族の意向による福祉サービス収入減少
具体的事例			ショートステイの定期利用者が利用を控え、収入はなし。在宅支援の支援費優遇措置が共同生活援助（夜間）にはない
問題点の概要	財務	就労継続支援	家族の意向による福祉サービス収入減少
具体的事例		生活介護生活訓練等	家族がコロナ感染不安をいただき、サービス利用拒否により支援費収入減
問題点の概要	障がい者工賃	就労継続支援A型B型	就労支援事業収入減による問題 製造・販売すべてにおいて収入ほぼゼロ 収入減への持続化給付金をはじめとするすべての補助非該当 一般企業とどうして違うのか？
具体的事例			①国指導「工賃向上計画」の破綻 ②収入減への持続化給付金をはじめとするすべての補助非該当
問題点の概要	障がい者工賃	就労継続支援A型	レストラン店舗来店客大幅な減少および配食先閉所が相次ぎ、大幅な売上減少にもかかわらず、厚生労働省、経済産業省とも補填、補助の類なし（レストラン収入はすべて障がい者給料に反映）
具体的事例		A型	売上が前年の30%未満
問題点の概要	障がい者工賃	就労継続支援A型	レストラン店舗来店客大幅な減少および配食先閉所が相次ぎ、大幅な売上減少により給料支払い困難（レストラン収入はすべて障がい者給料に反映）
具体的事例		A型	にもかかわらず、厚生労働省、経済産業省とも補填、補助の類なし
問題点の概要	政府の質	児童発達支援	相手がいない法律施行
具体的事例		放課後デイ	ご主人がテレワークでの仕事。仕事中心で子どもがうるさく集中出来ないため、母と子どもは母の実家に帰省せざるを得ない状況

問題点の概要	役人の質	成人・児童	計画相談支援の多様性や利用者様と事業者双方の感染リスク減少に寄与するテレビ会議system等ICT活用を退ける行政
具体的事例		計画相談	障がい者へテレビ会議systemを利用して計画相談支援をして報酬を得てよいかと福岡県に訪ねたところ「できない」との判断
問題点の概要	役人の質	児童発達支援	A 利用児のご家族（母）職場の長期休業によるその後の生活（わからない役人の脳）
具体的事例		放課後デイ	①Aにより保育園より利用禁止 ②①により長期在宅になりこどもの生活リズム（ルーティン）が崩壊 ③②の期間、園再開時にリズムを作り直すことへの不安 ④再開後、通常状態へ戻る時間増大
問題点の概要	役人の質	児童発達支援	厚生労働省通達文書「できるだけ受け入れること」要請であるがほぼ強制
具体的事例		放課後デイ	人数制限、時間制限を行うなど、規模を縮小して事業実施
問題点の概要	役人の質	児童発達支援	厚生労働省通達文書「できるだけ受け入れること」要請であるがほぼ強制
具体的事例		放課後デイ	利用児は家でのストレスを抱え登園。奇声、動きが止まらない事が多く、こどもは集中できないなどの状態が目立ち、支援にも大きな影響が出ている
問題点の概要	事業	福祉発信	福祉発信の活動が制限
具体的事例			見学会やボランティアの申し込みを断る。事業所を知ってもらう機会の減少。
問題点の概要	行政	福祉従事者への配慮にかける	令和2年4月7日付事務連絡社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について（その2） 社会福祉施設等が提供する各種サービスは、利用者の方々やその家族の生活継続する上で欠かせないものであり、十分な感染防止対策を前提として、利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供されることが重要である。
具体的事例			「がんばれ」「利用者様が新型コロナウイルスにならないよう気をつける」「あくまで要請だから」が国の意向でも頑張っているエッセンシャルワーカーに対するねぎらいがまったくない。
問題点の概要	行政	福祉従事者への配慮にかける	危険を顧みず、本来なら行政が行わなければならない障害者、発達支援児童、高齢者それぞれの福祉サービスを要請通り、遂行したにも関わらず ①事業継続に対する支援なし ②労いなし ③エッセンシャルワーカーとしてのプライドのみ自負するだけ
具体的事例			ここまで書いてある事象以外にもたくさんある。
問題点の概要	こども	児童発達支援	こどもの言動の変化
具体的事例			①家の中で子どもたちはユーチューブやテレビを見る時間の増大 ②取捨選択範囲の拡大 ③殺人ゲームなどへの参加 ④一日を通して子どもに任せてしまい放任状態の時間増大 これらにより汚い言葉遣いや荒いコミュニケーションや行動など、影響が現れている
問題点の概要	こども	児童発達支援	休校、休園解除後の不安
具体的事例		放課後デイ	休園解除後、こどもはすぐに生活リズムを戻せるのか、学年やクラス友だち、担任等が変わるなど環境の変化は大丈夫か、行かせてコロナ感染は大丈夫か？など不安が多く聞かれ、保護者自身の落ち込む様子が見られる
問題点の概要	当事者	放課後等デイ	ご利用者、職員の感染防止

具体的事例			マスク・手洗い・うがい・消毒と徹底はしたものの、本当に大丈夫かと心配の中過ごしていた。
問題点の概要	当事者	放課後等デイ	受入制限
具体的事例			感染リスクを抑える為に、利用者の少ない外部の公園を使っていたが、公園が閉園になり、3密を考えると受入を抑えるしかなかった。
問題点の概要	家族	放課後等デイ	ご家族メンタルヘルス
具体的事例			学校再開の目処がたたず、緊急事態宣言で預けることもしにくく、心身ともに疲れてしまいかけていたご家族が多数いた。
問題点の概要	親	児童発達支援	母親の負担、ストレス急増
具体的事例		放課後デイ	母の高ストレスが見受けられ、こどもに対し強めの言葉掛けが多くなっている。また心的不安などの状況により、服薬の量が増えた方がいる
問題点の概要	親	児童発達支援	コロナ感染不安による極度の社会的距離
具体的事例		放課後デイ	コロナ感染の不安（こどもの持病あり）で、家にももってしまい、外との関わりを遮断している家庭あり
問題点の概要	親子関係	児童発達支援	親子関係
具体的事例		放課後デイ	約3ヶ月、こどもとの密着が強く、自立に影響が出てきている行動を起こす際、母の顔色を伺う様子あり
問題点の概要	親	放課後等デイ	ご家族へ外部からの目が厳しい
具体的事例			緊急事態宣言中に療育に通わせることを、地域の方やママ友、親戚から”非常識”ととらえられて利用ができなかった。
問題点の概要	当事者	生活介護	利用者様のストレス増
具体的事例			活動が制限され、フラストレーションが溜まることがある。普段は見られない行動も見られる。
問題点の概要	当事者	生活介護	利用者様の心理的負担
具体的事例			事情がよく理解できないまま、外出や行動の自粛を求められストレス負荷がかかる。
問題点の概要	家族	生活介護	ご家族の心理的負担
具体的事例			基礎疾患等によりやむなく在宅の方もおられ、利用者様の在宅時間が増え、関わる時間が増えることで、ご家族の生活に制限が出てしまうことへのストレス負荷がかかる。または、暴言、虐待につながる事象へ発展。
問題点の概要	家族	生活介護	ご家族の経済的負担
具体的事例			基礎疾患等により、在宅を選択される方は、ご家族も就労が困難となり、最終的にご家族の経済的負担が強られる。
問題点の概要	当事者	送迎	送迎時間と経費の倍増
具体的事例			密を避けるため、便を増やしての送迎時間変更に伴う利用者様の生活リズムの乱れ
問題点の概要	従業者		従業者の心理的負担 国の責務としてメンタルヘルス対策
具体的事例			A:個人の生存権 ①職員感染防止 ②職員の家族の感染防止

			B:エッセンシャルワーカーとしての責務 ③利用者様の感染防止 ④利用者様の影響ある家族の感染防止 このAとBの狭間でどうすればよいかわからなくなりストレス負荷がある
問題点の概要	従業者		外部からの目
具体的事例			「緊急事態宣言発令」により外出自粛要請期間の中で、毎日勤務をする際にきつい目でみられたりすることで精神面でのフォローが必要
問題点の概要	従業者	就労継続支援	テレワーク導入
具体的事例		B型	福祉の通所サービスは現場での支援が基本であり、テレワークとして認められない。
問題点の概要	当事者	就労継続支援	生活リズムの乱れ
具体的事例		B型	私鉄バスの休日ダイヤ運転により、通所時間が大幅に短くなりご利用者の生活リズムの乱れにつながった。
問題点の概要	当事者	就労継続支援	身体、精神面の乱れ
具体的事例		B型	基礎疾患(心臓術後、糖尿病など)により、通所したくても自身の感染防止のため、やむおえず在宅となり、身体面・精神面の低下が見られる。
問題点の概要	当事者	就労継続支援	利用者様感染防止
具体的事例		B型	知的な障がいをお持ちの方は、マスク、手洗いに関する意識付けが個々では難しい方がおられ、他の利用者及び職員の感染リスクを必ずしも低くできない。
問題点の概要	従事者	共同生活援助	人材の不足
具体的事例			職員自身がコロナ感染源になりたくない。利用者様に迷惑かける。家族から控えるように促されるなどの理由で仕事を休まれた方が数名あり、他の職員の負担が増した
問題点の概要	従事者	送迎	送迎時間と経費の倍増
具体的事例			密を避けるため、便を増やしての送迎。 職員の負担増加。時間変更に伴う利用者様の生活リズムの乱れ。
問題点の概要	従事者	放課後等デイ	スタッフメンタルヘルス
具体的事例			①コロナ自体への不安 ②いつになったら学校が始まるかの不安 ③自分がかかってしまったら迷惑がかかるという重圧が辛かった。

令和2年6月5日  
社会福祉法人 仁愛会  
やまびこの里 総務課 川添

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート回答

【多機能型事業所 跡江の杜はんびどん】

- ・施設外就労に行けず、利用者の工賃額が下がった
- ・就労支援 B 型で取り組んでいた仕事で新型コロナウイルス感染症のため、商品が売れないために仕事が無くなったものや数が減ったものがあった
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、利用者の方が減り運営が厳しい
- ・マスク、消毒液を発注しても入荷せず対応に苦慮した
- ・短期入所、日中一時が新型コロナウイルス感染症対策で受入中止になっていたため、土日・夕方に行き場がなく、家族の方が対応に苦慮されていた
- ・健脚に行っても、新型コロナウイルス感染症対策で公園の駐車場が利用できず、トイレに行く場所を探すにも苦慮した
- ・送迎や利用者支援において、密閉・密接・密集を避けるように気を付けたが、出来ない部分もあった。送迎車で窓を開けることを嫌がる利用者の方、マスクを嫌がる利用者の方がいた。また、支援人の密接が避けられない場面が多く見受けられた。食事では時間差での食事提供やテーブルの位置、席の向きを変えての対応を行った

【共同生活援助事業所 ホームやまびこ】

- ・感染防止対策で、入居者の外出、帰省を 2 か月余り禁止しているため、ストレスが溜まっており寂しい思いをしている
- ・入所、通所、グループホームがあるが、発生した場合の具体的な対処法は施設で考えるスタンスであり、国から県、市町村と行政で明確な指示が欲しい。またそのことに伴う必要不可欠な備品まで指示及び購入先斡旋まで行政してほしい。

【障害者支援施設 やまびこの里】

- ・マスクの不足
- ・消毒液確保が困難になった
- ・外泊、外出の規制により利用者のストレス

以上

令和2年6月5日

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート（回答）

- ・ 弊施設は短期入所・日中一時支援事業が、施設入所支援との併設型であるため、入所の利用者様の安全のためには休止せざるをえなかった。普段ご利用されている方々にはご負担、ご迷惑をおかけしてしまっている。事業所としても、休止していた分の減収が、今後の事業運営に影響していくと思われる。
- ・ 千葉県の緊急事態宣言は5月25日に解除されたものの、利用者様の命を預かっている以上、ワクチンや特効薬など、確度の高い予防や治療の体制が整うまでは、引き続き危機感を持って対応にあたる必要があると考えている。そのため、短期入所・日中一時支援等、外部とのやり取りを含むサービスについては、緊急事態宣言解除後も休止を継続しながら様子を見ている。ただ、その間もサービス利用についての問い合わせがあり、そうした事業所の対応と、世間一般が緩和ムードになった場合の意識の差が、今後どのような影響をもたらすのか、心配である。

社会福祉法人いちいの会

くすのき苑

千葉県野田市木間ヶ瀬 3121 番地

TEL:04-7120-6667

FAX:04-7120-6668

E-mail : kusunokien@nifty.com

令和2年6月5日

社会福祉法人緑の風福祉会  
理事長 大熊保彦

### 新型コロナウイルス感染症対応について

#### 1. 物資について

当法人では、就労支援 B 型の施設としてパンの生産・販売を行っておりマスクや消毒液については備蓄があった関係でそれほど不便は生じなかった。ただ、紙タオルが入手しにくくなっていたが、使用制限をすることで乗り切ることができた。

#### 2. 行動支援事業について

依頼件数が激減するとともに、依頼があった場合も非常勤の支援者が支援するための外出をためらうことも増え、その部門は大幅な赤字となった。

#### 3. 生活介護事業について

完全に閉鎖することはせず第 1 期（4/20～5/8）としてすべての利用者家族に対して在宅支援をお願いし、ほぼ1/3の利用者家族から協力を得ることができた。その対象者に対しては毎日 1 回は電話による支援を行なった。

第 2 期（5/10～5/31）は職員と利用者を二つのグループ（週前半グループと週後半グループ）に分け、それぞれ一週間のうち3日の勤務及び利用とした。

以上の対応について必要ないし緊急性が高い場合には来所することも可としたので、大きな混乱はなく、現在のところ利用者家族から特段のクレームはない。

現在は通常の開所としている。

#### 4. 情報の取得について

国や都道府県市町村などからの情報が伝わりにくく、こちらから行政に対応を尋ねた時点では方針が決まっておらず、後に決まった方針がこちらには伝わらない場合や、他の事業所から得た情報をこちらから行政機関に確認して詳細がわかる場合もあった。首都圏緊急事態宣言の発出が4月7日であったにもかかわらず当事業所の対応が2週間遅れたのには、そうした事情もある。

今後、情報の提供や取得の確実さと迅速さについて、改善の余地があると考えている。とはいえ、情報提供にあたり遺漏なき完全さを行政機関に求めるつもりはなく、それぞれの事業所が独自にかつ積極的に情報収集する努力も必要だろう。あるいは地域の作業所が情報共有とその更新にあたるためのネットワークを形成することもありうる。また、貴研究所のような機関が、行政との間に立ってまとめサイト的なものを運用したり、メールマガジン等でいち早く動静をお知らせいただくような役割を取っていただけるとありがたいと思う。

第69

令和2年6月5日

社会福祉法人 清幸会  
就労継続支援B型事業所  
セルフあじさい  
管理者 磯 文康

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

(回答) 社会福祉法人清幸会

問題点	1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、就労支援事業所は感染症対策を行った上で営業しているが、利用者が自主的に休むケースが散見され運営状況が昨年の同月よりも悪化している。
	2. 新型コロナウイルス感染症対策のためのマスクや消毒用アルコールが手に入りにくく、代替品の確保も難しい。手作りマスクの材料も不足または高騰し負担が増加した。
	3. グループホームでは新型コロナウイルス感染症のため仕事を休むことを余儀なくされた利用者の日中の支援、日用品や食料品の買い出しが品物不足により多くの店舗を回る、公共交通機関利用自粛のため利用者の送迎等職員の負担が大きく増加している。

令和2年6月5日

\*新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族、及び事業者が直面している問題点、困っている事項等

社会福祉法人嬉泉

記入者 樋口美津子

## 1、障害児・者の家族への負担が激増している。

### ●通所施設

\*緊急事態宣言の発令後、自粛要請や施設のサービスの縮小等、日々と違う生活環境になり、家庭内で不安定な状態が見られるようになった。

#### 障害者の場合

- ①利用者で日常的に短期入所施設の利用をしているが、自粛要請で利用が出来なくなり、日中の通所施設の利用は出来ているが、母親自身が休める時間が取れずにいる。常に気を張りながら対応している為、負担が大きい。
- ②移動支援等ヘルパーの利用が出来ないことで、家族が移動も含め対応している為、精神面だけでなく、体力的にも高齢の家族にとっては厳しい。
- ③自閉症の利用者の方は、外出が出来ないことで日頃のルーティンが崩れてしまい、(飲食店、プール、レジャー施設等)不安定になり睡眠状況にも影響が出てしまう。結果深夜でも執拗に家族に予定の確認をする等、家族の睡眠にも影響が出てしまい心身ともに疲弊してしまう。また、他傷、自傷行為、破壊行為、不眠、衝動的な行動が見られるようになると、対応が困難になり、精神的にも追い詰められてしまう。
- ④マスクをすることが出来ない為、買い物など身近なところでも外出もできない。また、マスクをしていないことで周囲の目が気になり、家族としても余計にストレスが重なってしまう。
- ⑤父親が在宅勤務である為、日頃はいない父親がいることでいつもと違う状況に不安定になり、そこで一つ一つ対応する母親のストレスがたまってしまう。

#### 障害児の場合

- ①トイレットペーパーやティッシュペーパー、オムツ等がお店で購入が出来にくく、子どもの対応だけでも大変である時期に、生活に必要な物の購入にも神経を使い、母親の不安感が増した。実際に購入できず、施設の共有のオムツを使用するなどのことがあり、母親のストレスが高まった。
- ②緊急事態宣言発令に伴い、来所の自粛要請を自宅で過ごすことが大変な人には対応するという体制をとったが、在宅で過ごす利用児は長い期間、家で過ごすことで親子ともに行き詰ってストレスが高じたケースが多かった。特に母親のイライラ、不

安など訴えるケースも複数あった。施設として来所をすすめ、定期的に通所するようになった人もいたが、中には、大変でも「感染が心配で外に出られない」「父親が心配して外に出してもらえない」等の理由で通ってこれない児童もいた。そのことでまた更に母親のストレスがより高まるケースもあった。

- ③公園での遊びや外出が出来ないことで、家庭で出来ることをと母親が考え、玩具遊びや課題的な状況を作るが、そこでの対応がお互いにうまくいかず悪循環になり、お互いに苛々して余計にストレスを高めてしまうケースも多い。
- ④兄弟や姉妹が学校が休みの為、長期間、長時間母親が障害児を含め対応することに疲弊してしまう。また子ども達も、生活の変化に不安定さを見せているので、子どもの同士がけんかをすることも増え、より母親の対応が大変になってしまうことが出てきた。
- ⑤父親が在宅勤務の為、母親の子どもへの接し方に父親が一つ一つ注意や意見等口を出す機会も多くなり、夫婦げんかが多くなり、母親が精神的に追い詰められることが見られるようになった。

#### ●入所施設

以下は、家族・利用者共に共通する内容。

- ①家族との面会や家庭への帰宅も中止としたが、家族との交流が出来ず、両者ともに大きなストレス状態となった。今までの生活の中でこれだけの時期を離れて暮らしたことがなく、会えないことでのより不安が強くなってしまう傾向にあった。
- ②携帯電話や他の通信機器を利用した面会も検討したのだが、利用者一人では機器の操作が出来ないため支援員が付き添わなくてはならず、その事での現場の負担が大きくなること、ある程度公平感を保つことを考えると施設側だけでなく家庭における機器の環境を整えなければならぬため、すぐに実施することが出来なかった。

## 2、施設での利用児・者への対応に困難さが増した。

#### ●通所施設

##### 障害者の場合

- ・民立の障害者施設は、自粛要請をしても家族が高齢の為、通常とあまり変わらない利用がみられた。施設での生活はあまり変わらなくても、上記のように家庭生活の変化（休日や余暇時間に外出が出来ない）で不安定になり、他傷、自傷行為、破壊行為、不眠、衝動的な行動等の状態が見られると、家族が対応できず悪循環な状況を引きづりながら施設で過ごすことになり、施設側の対応も複雑さを増し困難さが増すことが多かった。
- ・施設でいつも散歩をしている公園に行ったが（日頃より日中は人が少ない場所であ

る) 学校が休みの為子ども達が公園に集中し、結果混む状況の中、利用者が散歩が出来ない等、利用しにくいことがあった。利用者は休日含め家庭生活でもかなり行動が制限され、いつもと違う状況に不安感やストレスを感じている為、あまり人との接触がない場所での散歩等で、気分転換やストレスの緩和を考えていたが、なかなか難しい状況があった。反対にいつものように散歩は出来ず、そのことでまた不安感が増す結果になってしまうことがあった。

#### 障害児の場合

- ・感染防止対策として、職員のマスク着用を徹底しているが、子どもから分かりにくく、療育に大きな支障がある。口元が見えない、表情がわかりにくい等、もともとコミュニケーションに課題がある子どもの発達支援をしていく上で、そもそも無理があり、不利益、マイナスになることが多い。
- ・また、抱っこやおんぶ等も不可欠で、距離をとることも不可能なので、一般的な感染対策は取りにくい。
- ・幼稚園や保育園を併用している障害児で、障害児施設が縮小でサービス提供をしていることで利用しているが、幼稚園、保育園が休園の為、日常生活のリズムが崩れ、障害児施設の登園日でない日にも利用希望が多く出ていた。家庭生活が困難な児童については利用受け入れを考えていく際に、利用時間帯などを変更しながら個々のケースに合わせ柔軟に対応する形を取るようにしたが、調整等が大変であった。
- ・父親の在宅勤務が増えた場合に、子育ての協力体制がとれずに、反対に注意や意見の相違などからくる夫婦間の不和や、子どもへの悪影響など、母親自身のストレスが高まり、日頃の子育てへの相談ではなく、家族間や夫婦間での相談や気持ちの発散の必要性が高まり、対応にも神経を使った。
- ・卒園児や退園児が、学校や他の療育先に通えないことで母子ともに不安定になり相談の電話が入り対応するケースがあった。日常の業務以外に対応することが増え、職員側の負担も大きかった。

#### ●入所施設

- \*生活状況が一変したことによる利用者の不安が強くなり、対応への困難さが増えた。
  - ・緊急事態宣言が発令されたが、基本的に入所施設における支援は継続しなければならぬ状況である。特に施設の場合は一人でも感染者が出てしまうことで、施設中に蔓延する可能性があるため、帰宅や面会、外出などについてはすべて中止とした。その為、24時間、施設敷地より基本出ない生活となった。
- 入所児童に関しては学校への通学がなくなり、本来の学校中心の生活環境が一変してしまっ

- ・自閉症の利用者は新型コロナウイルス感染症への理解が難しいので、利用者によっては、理由も分からずに突然今までの生活が変わってしまったと感じている方もいた。結果、不穏な状態になり、他傷、自傷行為、破壊行為、不眠、多動などにつながってしまった。
- ・今までの生活で当たり前のように行ってきた活動が出来ないストレスは大きい。例えば、買い物に行くことが出来ない、外食に行けない、公共の交通機関の使用が出来ない等による制限は心的にもかなりのストレスであり、閉塞感も強い。  
特に自閉症の方は、見通しが立たないことに対しては不安が強くなる傾向にあり、今回の緊急事態宣言にまつわる様々なことに関しては目途を立てることもできないため、より不安が強くなってしまった。
- ・通院が出来ない、自粛することを求められることが増えた。診察が可能でも電話にての診察の時もあった。診察の場合はマスクをするようにしたが、感覚過敏（皮膚など）の方に関しては抵抗感も強いが、つけなければ通院もできないため、病気によるストレスと、診察へのストレスが重なってしまう。
- ・家族との面会や家庭への帰宅も中止としたが、家族との交流が出来ず、両者ともに大きなストレス状態となった。今までの生活の中でこれだけの時期を離れて暮らしたことがなく、会えないことでのより不安が強くなってしまう傾向にあった。  
携帯電話や他の通信機器を利用しての面会も検討したのだが、利用者一人では機器の操作が出来ないため支援員が付き添わなくてはならず、その事での現場の負担が大きくなること、ある程度公平感を保つことを考えると施設側だけでなく家庭における機器の環境を整えなければならぬため、すぐに実施することが出来なかった。
- ・施設は利用者にとっては家庭であり、支援員は生活を支えることであり、家族のような存在であると考え。しかし、それ故に身体的な接触は多く、食事、入浴、排せつ、洗面など身体接触をなくした支援は在りえない。しかし、感染予防の観点から考えると、ある程度の距離は保つ必要があるのだが、現実問題難しいというだけでなく、その距離を取らないといけないという意識が、支援を受ける側にも影響を及ぼしていることは確実にあると感じている。
- ・また、職員側ももし自分自身が感染者となって、利用者に感染させてしまったらという不安は絶えず感じており、そのことに対する緊張感が疲労感につながっていた。
- ・もし感染者がでたらという不安感は支援員側にかなり強く響いている。  
入所施設に関しては支援を中断することは出来ない。なので、もし利用者、支援員に一人でも出た場合、どのように対応するべきなのかということももちろんだが、職員も施設から出れず、休息も取れずに数週間程度勤務にあたることになるのではないかなどの不安や緊張感は大きい。
- ・近くの病院において感染者が出た際に、その病院で働いている家族の子どもが‘コ

ロナがでた病院で働いている家族がいる’事で、いじめられているという話があった。このような理解のない言動を聞くと、支援員自体の意欲、士気にも大きく影響がある。

### 3、施設運営面では、自粛で欠席が多くなることで大幅な収入減となった。

#### ●通所施設

- ・民立の施設は自粛要請や縮小でのサービス提供ということで、開所はしていたが自粛欠席が多くなると、大幅な収入減となった。電話による相談援助の対応も毎日の通園利用の方は、毎日の電話対応が家族にとって負担になる場合や、利用料の負担分がでると電話による相談援助を希望しない家族もいる。民立の施設は利用して収入が入るので運営的に厳しいものとなった。
- ・衛生用品の確保が難しくなり、常に気を使いながら対応していた。

#### ●入所施設

- ・基本的に入所施設に関しては利用者数が大きく変動することはないが、入所待機をしている児童が入所できないことでの減収、短期入所の利用を中断したことによる収入減、逆に感染症対策への衛生用品の使用量の増加、それに伴う支出の増加があった。衛生用品の確保が難しくなり、また高額になっていることの負担が増えている。

### 4、関係機関（行政含め）の方針の違いから、施設対応にも難しさが見られた。

#### ●通所施設

- ・学校、幼稚園、保育園、障害施設とそれぞれの方針に、対象期間等も含め多少の違いがある。それは区立、民立等でも違いがある。自治体の方針の中でより具体的な対応の部分ははっきりとださない時は、施設側が判断するが、施設側としてはどこを基準に考えればいいのか、迷うことがあった。またそれぞれの自治体でも違う場合があり、家族としてはその違いに戸惑いを見せる場合もみられた。
- ・兄弟や姉妹など、学校や幼稚園・保育園等が休園の期間や状況が違うことで、障害児通園施設としては受け入れが可能でも、保護者が送迎含め対応が出来にくく結果欠席となる場合がある。教育や福祉とある程度足並みをそろえられると良いとは思いますが、難しさがあり、保護者側の負担につながってしまう。
- ・区の委託施設で、頻りにやりとりしながら確認し、区の指示のもとに動く、という形をとった。しかし、区は国や東京都の方針が出ないと決められない、ということで、ギリギリにならないと決まらず、また行政内でも判断が違ったり、周囲の状況（区内の他の区立施設の状況等）等によって途中で判断も変わったり、動いていく

ので、その都度利用者への周知や、体制の準備等に追われ、大変だった。特にいろいろな事業があり、利用者総数も 1,000 名を超え、それぞれ事情も違うので、それぞれへの対応、調整等も大変だった。

#### ●入所施設

- ・入所に関しては、やむを得ない施設とのくくりになるので、支援を継続することに対しての迷いは特になかった。

### 5、施設で働く職員側の緊張感やストレス、疲労が増した。

#### ●通所施設

- ・完全な休園ではないので、利用児童や利用者は登園してきている。保育士・指導員、支援員は、身体的な接触（遊びや介護等は必要であることから、常に感染をしたら、感染をさせてしまったらという緊張感や不安の中で支援をしている。そのため必要以上の疲労感を感じてしまう。
- ・また日常的には電車等公共交通機関の使用や、休日含めた体調管理（一日数回の体温チェックや消毒）にも、かなりの神経を使いながら対応している。少しの体調の変化にも必要以上に過敏になり、常に気を張っている状態が休日も続き、疲労がとれない。

#### ●入所施設

- ・施設は利用者にとっては家庭であり、支援員は生活を支えることであり、家族のような存在であると考え。しかし、それ故に身体的な接触は多く、食事、入浴、排せつ、洗面等身体接触をなくした支援はあり得ない。  
しかし、感染予防の観点から考えると、ある程度の距離は保つ必要があるのだが、現実問題難しいというだけでなく、その距離を取らないといけないという意識が支援を受ける側にも影響を及ぼしていることは確実にあると感じている。
- ・また、職員側もし自分自身が感染者となって、利用者に感染させてしまったらという不安は絶えず感じており、そのことに対しての緊張感が疲労感につながっていた。
- ・もし感染者がでたらという不安感は支援員側にかかなり強く響いている。入所施設に関しては支援を中断することは出来ない。なので、もし利用者、支援員に一人でも出た場合、どのように対応すべきなのかということももちろんだが、職員も施設から出れず、休息も取れずに数週間程度勤務にあたることになるのではないかなどの不安や緊張感は大きい。
- ・近くの病院において感染者が出た際に、その病院で働いている家族の子どもが‘コロナがでた病院で働いている家族がいる’事で、いじめられているという話があっ

た。このような理解のない言動を聞くと、支援員自体の意欲、士気にも大きく影響がある。

6/5 67  
北九州市子育て支援会  
〈利用者・保護者アンケート〉  
100人分

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

●問題点の概要

1. 通所している事業所利用について
2. 日常生活について
3. 理解について

●具体的事例

1. 通所している事業所利用について

・学校などが休校になる中で、事業所を利用できてとても感謝しています。体温・手洗いなど対策もきちんとしていて本人もその習慣が身についており良かったです。用事でスーパーに行った時も自分からアルコールの消毒を入れる時と出る時にして感じて感心しました。

・事業所が新型コロナウイルス対策で、今まで 16 時の終了時間が 15 時になり、本人も昼食が終わったらすぐに退所になるとぼやいています。事業所を退所してから、健康のため市民プールに毎日泳ぎに行っていました。プールも閉鎖され、事業所から帰って来て、時間をもて余しています。

・活動時間の短縮はありましたが、事業所は毎日通所できましたので、普段通りの生活が出来ました。

・事業所を開所したことにより、利用者の通常通りの生活となり、不要不急の外出の自粛はできていなかった。生活の混乱はなかったが、感染のリスクは常にあった。また、必要以上に不安になる方もおり、説明が難しかった。

・B型事業所の作業について、観光業界が低迷したことにより、作業がほとんどなくなった。開所時間を短縮して対応したが、家族によっては対応ができず混乱をした方がいた。

・小学生の子供のいる職員が、学童保育が限定されたことにより、長期休業を余儀なくされ、職員が不足した。

2. 日常生活について

- ・店が閉まっているので買い物に困る
- ・人との距離感が難しい

・外出がほとんどできないこと

### 3. 理解について

・「自粛しないとイケない」の自粛の意味が難しいようです。イオンに行きたい・買い物に行きたいとすぐに口にする時がありました。少しの時間でも散歩のつもりで近い所のスーパーへ買い物に出してあげたりしています。趣味もなく退屈退屈とっています。

・事業所において、利用者にマスクの着用をお願いしても、嫌がってつけられない方がいた。軽度の障害者でも、マスクの着用をしても、息苦しいのか、外したりずらしたりしていた。注意をすることで、職員の感染のリスクがあがった。

・

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

### 新型コロナウイルスの心配

本人に心疾患があること、親は80以上の高齢であることから  
事業所に4/4~5/10までの間、自宅待機のお願いをされた  
途中から在宅支援として事業所との電話での状況交換が  
安心につながりました

罹患し入院することになったとき、現在まで入院経験は5回

ほどありますが、いずれも母親の付き添いでした。コロナの場合は一人りでの入院と  
なると

本人が知的障害者(ダウン症56才)であることも状況を受け  
入れられる泣き叫ぶ姿を想像すると心が痛む思いで、願はくば  
福祉支援員のフォローがあれば有難いと思念する心境です

○ 一日でも早く「ワクチン」を

○ 事業所が1時間短縮のみで支援がとまっていることへ  
感謝です。管理のための物資が今後と充分である  
ように願っています

母 中島澄子

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 仕事を休ませられている業者さんよりコロナの影響で仕事をまわしてもらえない。
- 子供達の帰ったあと、職員玄関で消毒されている
- 外出ができなくてイライラしている。
- いきつきのサニタツ店が自粛されて117にばかりのあつ子は別のサニタツ店には行かない。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

・マスクをいよから多く着用して入浴してはいることが多

宮田美子

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

工場から帰ったらすぐ手洗ってます  
外から家には入らなからうしろに閉めると  
スーパードにいきます ~~仕事~~ そのおばちゃんとお話よくします  
人と会話しなくていいのよ コロナになるよ言っ聞かせても出来ません  
今日工賃金か知らずおついでにら市立病院へ私には行ってます

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

新型コロナウイルスは今年の3月からはやり出したので早くおさまるよ  
うにしてまわりの人達にもうつされ  
ないよにと心かけたいと思います  
いつもそのことをいっています  
テレビニュースでもいっています。菜子も  
朝ご飯を食べながら聞いています  
新型コロナウイルスの病気が早く  
きえてほしいです(中島菜子)  
中国の人が日本にこないでほし  
いです(病気のこと)  
手洗いうがいが必要  
(マスク)(着用で気を付ける)

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ① 行動範囲が限定され外出の機会が減少し、家族共  
斯くも、習い事の機会がなくなる。
- ② 運動不足による健康状態への心配。
- ③ 友人や新着の人との交流が少なくなる。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

70-11が取ってあげることができなくなっている

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

私どものお世話になっております通所施設では幸い発症はあっておりませんので実例ではなく、感染した場合を想定した意見を述べさせていただきます。

我が子は知的障害の上に難病を抱えております。環境変化ストレスにきわめて弱く、隔離入院ともなればパニックを引き起こし、著しい高熱を発症することは必定で過去の経験からしても親が付き添わざるを得ないこととなります。

今回のような未体験の事態に当たっては全体に対する対応が先で障害者に対して優先的に配慮されることは期待出来ず、隔離病院では面倒は見きれないので自宅でどうぞと追い出されるのがおちではないでしょうか。感染覚悟で自宅で面倒を見る覚悟はしてはおりますが、私どもの子供の例に対応出来るような支援員又は看護師の配置される隔離施設は準備出来ないでしょうか。おそらく高齢者施設の認知症患者の親族の悩みを抱えておられるのではと推測します。

以上

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 生活リズムがくずい、夜の見通しがつかない（いつ給食が、エビエが、など）  
パニックがふえていまずし予定変更がむずかしい
- 人材がアソアエとパニックがふえてためおどあそんダソ  
できたらいいのですが毎日とエとエがむずかしいです

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

私の娘は、障害者自立訓練施設で二年間  
障害者自立訓練を受けておりますが、近年問題になっ  
ている新型コロナウイルスによる影響を受けると  
なく、通常どおり明るい生活を送っております。  
これも施設職員の皆様方が衛生管理  
の理念と作業進捗にご高配を頂いているからと  
感謝しています。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

障害児（その家族）が発熱・体調不良で自宅待機になり外部のサポートが受けられない状況になった時、どうすればいいのか。

重症化した時（家では無理）に、どの病院なら受け入れてもらえるのか、PCR検査はすぐ"に受けられるのか、その時家族はどうすればいいのか。

ある程度のガイドラインのようなものがあると助かります。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

別におりません  
日本独自のゆりゆりの自粛生活は守りやすく又  
海外のゆりゆり戒厳令だったらくハニフにゆりゆり思  
います  
秋

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

5/26.

- 現在、父が単身赴任先から帰宅できず（神奈川県）  
2ヶ月合っていない。今後を困難に予想している。
- 余暇のサークル活動（シニア・etc）、民間の在宅支援  
（調理、見守り等）  
が現在中止中。
- ショートステイの自粛（現在）
- 日中活動支援の短縮  
時間
- “新しいサイフスタイル”は  
おもしろく、“ついで行く”ために、（お金の  
間、お金の余裕があると思いたい。にたいして  
あること）

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

。私のところは、家で見ることも出来ますので  
自宅待機を希望しているのですが、  
育成会の運営のことと考えると、休ませることは  
ままばらばいのようです。  
お休みを希望している人も、お休みさせてあげ  
るように、お願い出来ると思います。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

事業所が閉鎖されれば困る事は  
皆さんが考えている通りです。  
もちろん保護者は会社へは  
行きません。収入も少なくなります。  
議員連盟の皆様、こんなアンケート  
用紙の配布より 皆様の手紙  
全国へ渡り歩いて下さい。  
保護者、事業所の生の声を聞いて  
下さい。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ① 密集を避ける、手を洗う等の感染を予防するところが、自分で判断できないため、常時見守りが必要である。
- ② 事業所の終業の時間が短くなり、送迎をそれに合わせて行うことがむずかしい。事業所の方々の配慮で、時間外もあそびがてらいるが、延長保育のように制度があればうれしい。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

困っている点や問題点は 2つあります

- 1) 障がい者スポーツセンター（アレアス）の各教室の中止
- 2) 事業所利用時間の1時間短縮 <sup>（トレーニング & プール）</sup>

1) はコロナの影響で5月は<sup>おいて</sup>中止となり、再開は未定。  
トレーニング教室やプール教室は以前から参加している教室であり、生活の中でリフレッシュや良い運動の機会となっている。それらが与えられないまま時間が過ぎているのは苦痛であり、とても残念。

2) 家族にとってのこの1時間の差は大きく、家事や用事、受診、休息等に有効に使わせてもらっているため、時間制限が加わることで重たきづらい点があること。

しかしながら、インクルキョウさんは緊急事態宣言の発令時でも1時間短縮のみで毎日通所できる環境を与えて下さり、心から感謝しています!! また各所の消毒や器材等の設置、通常の業務に加えて実践され脱中唱です。山中教授の「ウイルスとの平和的共存」で新しい生活様式を確立してゆくとは、並大抵のことではないですが、それでも皆さんは協力して「気の緩み」なく毎日を過ごせたらと思います。必ず乗り越えゆける道はある!! と信じて祈ります!!!

追加分

おし点

福岡県社会教育センター主催の障がい児者と  
その家族同士が集う“ファミリーキャンプ”の存在。

この非日常的生活空間は障がいの有無に関係なく  
とても重要と考えます。年々、参加者が増加傾向に  
あるため需要と供給のバランスと共に感染対策を  
構じた上で継続して欲しいと思います。障がいをも  
った子供や大人同士の年齢を越えた交わり、またその  
家族同士の悩みや課題等の共有・共感は大変  
重要な位置を占めています

コロナウイルスの関係でこれらの貴重な場が消えて  
ゆくことのないよう よろしくお願い致します!!

が

上

障  
間が

事

こと

設  
後の  
ゆく

世、心...  
“ウイルスとの平和的共存”で新しいエポック  
とは、並大抵のことではないですが、それでも皆んなで協力  
して“気の緩み”なく毎日を過ごせたらと思います。必ず乗り越えてゆける道はある!と信じて祈ります!!!

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

毎日1時間おくらせて家に帰ります  
発達障害 健康に気を付けて色々やっていますが  
町に用事があるあかける時など「バスも  
中らないし大迫です 眠えるので家でじっと  
していると色々考えながら体に気を付け  
散歩も夕方毎日しています 本人は散歩喜んで  
しています 25分位で人にも 2人か3人位  
しか会いません 家にじっとしているのは病人で  
体と動かし辛しみと考え 食事のことも  
しっかり考えないといけないと思います  
毎日 目的を持ってやらないと落ち込んだら  
大迫です コロナウイルス 早く終息して元の生活  
に戻りたいと思って人を当てにしてもわか身大事  
です

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

家族

仕事にありませわ。

グループホーム

外出支援が受けられなくなり利用者が増えすぎて  
大きな声が出たり、頭を叩く自傷行為がみられた。  
自費で出来ることも限られており対応に困った。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ウイルスは汚水と違って目に見えないので消毒をどこまでしたら安全が保たれているのか分からない。
- 利用者もウイルスに対して理解が難しいため、活動の制限等にストレスをためこみやすい状況。満足したサービスを提供できないと社内にあります。
- 対人サービス中は、職員も常に危険にさらされているというストレスがある。
- マスクをしたがらない、手洗いをしたくない、消毒液が苦手など、利用者に対して万全の対策を講じているのが難しい状況もある。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

利用者は、電車やモルレル、あるいはバスを利用した通所が多いため、コロナ感染のリスクがある。

施設内では、マスク、手指の消毒液、次亜塩素酸の噴霧、三密の防止等、十分な配慮をされていると思う。

コロナに関し、医療従事者ばかりであるが、同様に福祉施設で働く方々にも、現れ、敬意を表したいと思います。

これからも、常に利用者の視点に添って、コロナ禍を考えているだけだと思う。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

外出自粛でストレス溜まり 春休みは時間短縮等は  
お休みの休みにく受け入れにくいため 大きく  
生活リズムが壊れることばかり 済んでるようです。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

特になし

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

こまったことはテレビで  
ニュースをまいにちみている  
からいちばんきになる  
のが、いんしゃくせんせ  
はうとくおつをしかって  
いろいろみていると  
外に出るのがいかになる  
ことです。マスクのふく  
なのでマスクのつくりかたを  
こころよくつくりかたをしりかた  
ほしいいふかたです。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

施設内の感染症対策等は万全で  
す心。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

町中に住んでいて家で日々生活にはそれほど大きな  
に感じは深く感じています。特に外出時には注意  
をすることは忘れていません。

・学園での職員の方々の対応が「大変だ」と思っています。  
保護者同様に大変だと感じています。

子供を休日の外出を禁止してしまっているのが出来れば  
いい。それ以外無ければ親が心配しています。

早く終業して子供と保護者と共にこれからの二次感染  
には十分注意を怠らなければなりません。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

コロナによって金銭が極度に困ることになりました。しかし、  
外出が出来ない為に音にかゆい神経質になっていて、  
日常生活に支障が出はじめています。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

ちかいつころはかりて  
とあぐまであきかに  
いけないつころてあ  
かのものをしてすくに  
いえにかえることて  
す。とあぐまでいけな  
ところてす  
またコロナがまた  
くるのですかね。  
土、日、いこにも  
いけません、  
いどうせいのこいむっかせま  
てまかえるのかいけません。  
まさこは、コロナがにくい  
です。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

特にありません

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

土、日、心こにもあそびに  
けかせせん、とおてまて  
りかせせん。あにるか  
あっていれまてす、いちばく  
まえかみえません。  
とけいのいかんか  
みません、  
まきょうしているとき  
まきょうだいのいちか  
せまくとしにくいて  
まきょうのいすかすくたのど  
だんせいの、こいふのところがまかか

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

地域の緊急時にも毎日通所なので、心配！

1. バス通勤

2. バスターミナルでの一線、

最少限に(空)を押えるため門司⇄小倉(砂津  
又は三萩野)までの往(朝)復(午後)は車で送  
り迎えをしている。毎日の行き帰りなので  
負担、(行きかけでも療育センター便に便乗可能  
だと助かるのだが、その便も今は休止なので  
続けられないとならない。)

(丸山美子)

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

外出自粛により、行動が制限されることによるストレスや運動不足が心配。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

自閉症・知的障害の息子がお世話になっており、  
困っていることとしては、母が仕事に出かけている間、小学生の  
みうたけくんを留守番にする、ということが一番です。  
この2ヶ月半、それとなくか過ごしましたが、  
もしもパニックになったら、もしも家をとび出したら、  
きょうだい見にはどうすることもできません。  
開所してはいたのですが、どうしようもない時は  
預かっていたくつもりでした。  
保護者が医療関係のため、施設に  
ウイルスを持ちこんだら...と思うとそれも  
ためらわれました。  
又、家で過ごすことにより運動不足、体力低下、  
生活習慣などを、全て保護者だけで保たなければ  
ならないことも大きな負担でした。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

特にありません。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

特になし

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

特に無し

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 子供がマスクを換がりにくい。
- 医療関係の仕事をしていすが、終る時間が早いため、早退しなけければならない、また、遅刻しなけければならない状況となっている。せめて学童保育と同じ時間で対応して頂けるとありがたいです。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

私たち家族が困っていること

①子どもの生活リズムが崩れる

2/28 から 4/7 まで学校に行かない日が続いた。日にも感覚や曜日感覚がない我が子は学校を基準として一日の流れを捉えていたこともあり、学校が臨時休校になったことで自分の「当たり前」が機能しなくなり だんだん容易にパニックを起こしやすくなってしまった。不満があるのを上手く伝えられずに始終奇声を上げる ・不眠・食欲の乱高下…食べたり食べなかったり…・自分のルール通りにいかないと泣き叫ぶ などが見られた。

（大人でもこの状況に対応できずにイライラする人がいるのだから、知的障害のある我が子が非常時に適応できないのは ある意味しょうがないとも思う。）

また母の勤務時間の都合上 2/28 から 4/5 まで「みらい」に預けていたが

子どもはだんだん暴力的になり、ついには事業所の壁をけり破り穴をあけるという事件が勃発。もともと穏やかな性格で他害傾向はなかったのでこれを機に他害が発症するのは・・・と両親とも強いショックを受ける。その後の対応・心のケアには相当の期間を要した。

②放課後等デイサービスを断られることに対する苦慮

2/28 から 3/24 までの一斉休校の時点で「たいむ」からは他施設と併用してのお子様はたいむの利用を控えてほしい。とはっきり電話で断られた。こちらの事情はほとんど聴かれなかったが、これに関してはたいむのキャパオーバーなのだろうと いつも通り諦念せざるを得なかった。

その後 4 月の面談を感染症対策の為電話で済ませたい旨がメールされてきた。

電話できる日時を なぜか「書面で」やり取りするとのことだった。

コロナウイルスは紙の上でも 1 日～3 日感染力を保つものだから 感染症対策をうたい電話で済ますのならば、すべて連絡はメールにすべきではないか。とその手段をとることの人間にも疑問が残った。

（「たいむ」の施設の利用がないのだから連絡帳に挟むなどの対応がとれず、わざわざ書類を切手を貼って郵送するしかないのだ。）

さらに職員間で報告連絡相談の連携がとれておらず 何度も同じ連絡が来たりする など施設の運営・管理体制に疑問がこった。結果的に 「併用している方は預かれませんが」という連絡が 致し方ないとはいえ わざわざ電話で何度も来るのはものすごいストレスだった。

結果的に 3/2～4/6 まで「みらい」に週 5 で預けるようになったのだが

週 5 だと「みらい」のスタッフさんの負担が大きすぎのではないかと感じた。

送迎に来ていただく時、皆さんの顔には疲労があふれており非常に申し訳なく感じた。

4/6 から特別支援学校で預かってもらえるようになり「ほっとハウス」も併用できるようになった。「みらい」だけではないことで

子どももリズムが掴めたのか 小学校に行けたからなのか 問題行動が一気に減った。

本当にありがたかった。

③自分が、家族が感染したら 兄弟児の小学校子どもの事業所にとんでもない迷惑がかかるという大きな心理的なストレス。

特に兄弟児の広徳小学校では4/7から「親が医療機関で働く方以外は預かりはしない。」と通達が来ていた。さらにどうしても預けなければいけない理由を書面で提出しなければいけなかった。そのうえで、男性教諭から電話で直接「本当に預けなければいけないのか。一人で留守番はできないのか。学校にも感染のリスクはあるのだから預けるのは遠慮してほしい。」と強い口調で電話があった。

一回ではない、休校期間に3回はあった。これには背中から刺されたような感覚で殊更こたえた。

正直母として仕事は休めるならそりゃあ休みたい。子どもの傍にいたい。だが、入って分かったのだが医療業界、病院はブラック企業よりの体質である。普通の企業なら3人でこなすべき業務を1人でこなすことが恒常化している。つまり一人休んだら連続的にほかの人に大きな負担がかかる。つまり冗談でなく病院の業務が滞るのだ。コロナショックで病院は社会的義務として開業が求められている。だからといって事務所に特にコロナの手当はつかない。つまり、母としての願いを押し殺して、感染の恐怖に怯えながら、社会的な使命のみで働いているのである。

なのにその社会代表である小学校から背中から撃たれる。コロナウイルスの特性上そうなるらざるを得ないのは分かっているが、本当にそれがひどいストレスだった。

それが母から子ども、家族に伝わってしまったと思うと本当に申し訳ない。

最後に

言葉ででない我が子は特に母親の精神状態が不安定だとそこに引っ張られて不安定になることが多い、と感じる。今回のコロナ禍はパンデミックであり、国の機関をはじめそこにかかわる各施設も平等に混乱していた。私も小学校や職場から様々なストレスを受けた。なるべく平静を保とうと努力したが、そのストレスを上手く処理できずにイライラが子どもに伝わってしまった。

この混乱の中で親がフラットな状態を保つのはとても難しいことだと体感した。

通常ならば、助けになってくれる各施設も 明日も見えない状態では

それを求めるのも酷なのでは…とこちらが遠慮して、結果子どもが不安定な状態になってしまった。

(暴力的な態度 ・壁を蹴り破る・不満があるのを上手く伝えられずに始終奇声を上げる ・不眠・食欲の乱高下…食べたり食べなかつたり…自分のルール通りにいかないと泣き叫ぶ)

やはり子どものことを 一番に考えるなら 「たすけてほしい」と声を上げるべきだった。だが ストレス下の状態だと その気力も湧かないと痛感した。

普段の状態から こんな風になった時にどうしたらいいか (相談できる人・頼る場所など) をシュミレートしておく必要性を感じた。

この大変な状況でもこちらを気遣っていただき臨機応変に対応していただいた 事業所や特別支援学校には感謝の念しかありません。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

八幡市活動センターでお世話になっています。身障者手帳1級、療育手帳A  
B分6の重度身心障害者です。当然、食事・移動・入浴・私服交換と  
生きていく上ですべて人の助けが必要です。

親亡き後はとても心配です。

その中で、今のコビッド19。この感染の有無も、万一、感染  
した時にどうなるのかは不安で不安で仕方ありません。

我々が感染した時に我子はどうなる？

我子が感染した時に我子も単独で隔離などはとても無理ではない。  
(心も調整出来ないと思う)

例えば、母子入院しても介助者一人では無理も無理。

現実の生活は夫婦で助け合いながら、障害者本人の協力(協力)で  
三人で楽しく過ごしている日々です。

なので、三人のうち一人でも感染すれば当然三人感染です。感染が  
広がれば自宅で頑張るけれど、一人でも中程度以上になれば最悪です。  
だから、きっと三人ともめまわしてはばうと思っす。方法もなく、  
具体的な指針は聞いたことがありません。(感染に対する)

活動センターでは様々な工夫をしてコロナ対策に講じておられます。  
四月・五月は通所してはいるもの？と悩みながら通所回数も減らして  
お世話になりました。

福祉の現場では皆さん頑張っておられます。感謝です。

コロナ禍で二週間完全自粛をしましたがとてもハードです。年長いた  
親の様子も見てあげず気持ちも下降してしまいました。

我子がお世話になれる場所があることは必要不可欠です。(我子の体調の事は)

万一、施設でコロナが出た場合利用できないではなく利用できる方法を  
探して下さい。また、<sup>施設</sup>入子に対しても応援団システムがあればいいに  
思っす。

万一、家庭でコロナが出た場合、自宅待機の家族には「体調、困っている  
など」の声かけや支援の回数も多くしてほしい。入院になる時は  
その家族の状況に応じた対応・支援をしていただきたいです。

利用者と家族のことを真摯に支援して下さっているスタッフが、このコロナ禍で  
心身ともに疲れないようにご配慮下さい。(60代後半の夫婦)

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

・療育機関が事実上利用出来ない事、リハビリが出来ず、体の変形が心配

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 障がい者が コロナウイルスに感染した場合  
単独での入院は困難です。介護の為家族は  
感染覚悟での付添いをする事になる。障がい者のための  
この様な施設があるか不安です。
- 人数が多い割り部屋がでかいので心配しています。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

○（入会所が閉）で外出できず。

○（Xの人は）不足（問題）（今）は（）が（）。

○知識・技能が問題なし。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

④ コロナでは、ヘルパーさんとの外出が未来なくて、コロナ感染！  
いつになったら、行け子と同じ事毎日、言っています。  
コロナがなくなったら生られ子から待つ、と言うだけですが、  
早くなくな子事、願っています。

⑤ 親亡き後、事は本当に頭の痛い問題です

親が亡くなった時、兄が一緒に暮らすと言っていたが  
今は家族が未来、そんな中に入ってもう行く人ないと思うので  
やはり施設にお預けしたいのですが、どこが良いか！  
どんな所にあ子のかもわからないので困っています。

よろしくお預けします

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

外出の自粛等によって連休中に帰省（本郷市）が出来なかった程で  
特に問題はございません。  
手洗い、うがい、消毒の徹底、及び三密を守る事  
うつきない、うつらないに努めております。

14

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

せさやはなまず出た場合は、どうしたらいいですか。

・マスクは、どのように工夫されていますか。

・体調管理は、どのように気をつけていらっしゃいますか。

・体が、だるい時には、職員と相談を重んじていますが、また、体がきつてきた場合は、あつたしれろ、どうしますか。いいですか。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

近所の散髪屋に行けと言われたが  
料金が3000円高額で、通常が1100円と紙額  
で、高いと思われた、少々懐が痛か  
れた。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

◀ 高齢な上、認知症の母親とダウン症の妹を1ヶ月以上通所を見合わせ、この2人を在宅にしたまま仕事に行かないのだが、2人まじり時間帯が長期間になり、互いに意志が充分に通じないことが原因で、母親が妹に暴力をふるった事が複数回起こった。

現場を見た訳ではないが、私が帰宅した後に妹が「母から頬を平手打ちされた」とジスファーで知らせ、涙ぐんだので、母に確認した所「言うことをきかないから叩いた。叩いたもわからん」と言った。別の日は、

妹の持ち物（デジタル時計）を何~~の~~理由<sup>が</sup>で解<sup>が</sup>か、一方的に立腹した挙句、処分してしまった様で、「時計が無くなった」と訴える妹に対して謝るより話したか、

「そんな何日も前のことなんか、覚えてない。あの子（妹）が悪いことをしたのを叱って捨てたか、どこかに隠したか、自分はおかさん」と関連直<sup>の</sup>ような言葉を吐いた。

とにかく、ストレスだらけで家に3人で居ても何行動も出来ず、本音は家に帰りたくない。「帰って1人きりで過ごせるなら、どんなに気が楽だろう」と思う毎日だ。

コロナウイルスのみが原因ではないが、拍車が増えたと感じている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

特になし

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 外出できないのでホームでの過ごし方がわからない
- 日中事業所の行事（旅行など）がなくなり、寂しい
- マスクや体温計が手に入らない
- 不安感がある、感染への恐怖
- 心配で眠れない
- 病院の通院ができない

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

現場の先生方 コロナウイルスで大変だと思います 身心して作業を行  
うことができず 辛い人です ありがとうございます

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

今のところ困っていることはありません。

現在は、西活が通常とおりあり、仕事にも行けてまわりの  
助かっています。

今後、西活が行けないうような状態になると通っている  
本人の自宅待機などに陥ると困ると思います。

これからも西活に毎日通えまわると、本人の希望してい  
ますのでこれからも今までとありの生活を送りたいと  
思っています。



新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

在宅の障害者が日頃利用していた通所サービスや外出支援、ショートステイ等の受入が中止や時間短縮により、家族の介護負担が増えている。

障害者の教員が外出の機会が減り、屋外活動も制限されてサービスも減っている。

代替可能な他のサービスも全くありません。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

コロナウイルスの影響で入浴サービスが受けられ  
ないなどの、何かいい方法を考えるとか  
スタッフを増やすなど予算を増やして欲しい。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・ バス、電車などの乗り物が好きだった。外出の機会が減少した。また、大音量の音が聞こえる。又、運動不足で体力が落ちる。又、足の運びが悪くなるようになった。それに伴って、大便の量が増え、ストレスで食の量が減る。体重の増加が心配。体重増加 → 足の運びが悪くなる。四肢が痺る。本人が歩けるようになったが、歩けるようになったのは心配になる。
- ・ 発達親の年齢が高齢になり、サポートが難しくなる。子供が障害児の場合、親も障害児になる可能性がある。子供は親を頼る。親も子供を頼る可能性がある。親の子供の死に怯む。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 外出できない、ホームでの過ごし方がわからない
- 外出活動が減って、つまらない
- マスクや体温計が手に入らない
- 感染しないが常に不安
- 通院できない
- 友達に近づけないので寂しい
-

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

通所時 親が全部カバー出来ないって公共交通使用で9  
三密感染を危惧

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

・必要な物があっても、すぐに買い物に行くことが  
できなくなった。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

この度アンケートを提出との事で文章の不得意は私にはおぼつかん  
しぬかました。でも今年5月にお亡くなりになった息子の為に頑張って  
書いてみます

令和2年の春思いも及らぬコロナと言う恐ろしい病気がはやり  
がかりです。毎日通所施設に通っていますが大変な働き  
届いた対応で通所を受け入れて下さるスタッフの方々の  
おかげでとても楽しく過ごしています

7月には一度のショートステイや月に一度〜二度ヘルパーさん  
との介助移動は1ヶ月からお休みしています

毎日心待ちに（2人までしかある日、コロナ対策で今までの  
リズムが一変してしまいました

気が付けば気づかぬ事に本人もとまどい、いくら説明しても  
理解できず困っています

こちらが医師を付けているだけでも感染するおれからなので  
非常に困ります。もし感染したら多分我家は全滅でしょう

おれはおれ様は何をするにも毎日底をつけていきますが  
毎日の食料品などは一週間〜10日分を買い込んでおきたく  
出かけるおれ様にはおきたくありません

お休みの時は親子で散歩や歩いたりしますが息子は物足り  
ない様子です。老後の親としては一生涯命を懸けていますが  
年金を直ねる事はこう言う事とつくづく思います  
でも頑張ります

最後に各施設のスタッフの方々が一生涯命を懸けておられる事は

絶対コロナを矢張りおれ様で色々な場所の消毒などして  
下さる事に心から敬意を表します。一日の仕事が（終り）又消毒で  
一仕事は大変です。ほんとに、ほんとにありがとうございます  
コロナをやって下さる皆様本当にありがとうございます

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

入館、通館をご利用しています。

スタッフの皆様には大変お世話に  
なっています。ととも感謝しています。

今回の新型コロナウイルス感染症により  
家庭では特別困っている事はありません

現場ではスタッフの皆さんの色んな  
気を使わせていると思います。

現場のスタッフの皆さんの意見を汲み  
取りたいです。

※ スタッフの皆様には特別手当の  
ありも無いと思います

お礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

◎生活介護は、どの地域のどのような家族構成のどのような方が利用されているのかわからず、利用するものが怖くて行けない

◎どのような感染対策が講じられているのかわからない  
。（委員会が存在し、最新の適切な対策がなされているか？）

◎感染が発生した場合の対応についてどうされるのか？

（3歳に好む対策… 食事、入浴、職員の方の防護  
施設内（ホール）での過ごし方  
他に、手指消毒（利用者も含め）などなど…

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・ 子密の意味がわからず、わかっても、  
と度、声かけが怖いと怖く感じる。
- ・ 暑いのと、マスクの蒸れ・汚れ、熱中症が心配で、  
マスクを外す時、マスクの置き場所も気にしています。  
(外す時) ~~マスク~~
- ・ 予備にマスクの中に何かを貼せているが、本人の判断  
で、いろいろ対応するのは無理だと思いき、と度の声かけに  
「何度言ってもわからない」という風にならざるを得ない、  
心配しています。
- ・ 真場にマスクを貼せているが、本人の耐えられず、  
と度も心配です。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

特にありません。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

解除されましたが 北九州でまた ふえてきています。  
引き続き 注意の御指導を お願ひします。  
安心がたまになることを お話いただければと  
思います。 いつも わかっているとしか言いません。  
強くいいたいのですが……。 よろしくお願ひします。  
元につながる…んですよ。という事がなかなかです。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・マスクや消毒液 購入しなくてはいけないがなかなか売っていない  
あっても早く売切れたり価格が高くなって家計を圧迫している。  
マスクをこまめに着けても熱ったり息苦しいためぬきすぎるため  
洗濯物をふえる。
- ・休みの日でも外に出かけられないため 機嫌が悪い事が多い。
- ・運動不足で食欲も少ない。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

手洗いや 十分にできていない 不安はありますが  
困っている事は 特になし。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

時差出勤や手の消毒・検温と 細かく対応して預いて  
対応しています。

子供は耳からの情報よりも 目からの情報の方が理解しやすい  
のですが、ウイルスという言葉だけでは、わからない様でした。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 48歳女性 今回のコロナで精神的、不安  
ストレスで1ヶ月間 未食未寝を繰り返した...
- しかし工芸舎の訪問、在宅支援を受け  
元にもどり安心しました
- 今回の事で障害者の弱さ（心弱さ、やさしさ）  
を感じました。
- 困っている事はありません、これから<sup>力</sup>「力」に  
なっていく。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

緊急事態宣言が全国で解除となり安心です。

人々との接触を気にしづらな生活でしたが

子供が通う施設では「感染防止対策」を細やかな

気配りをして頂き、人々、人々の健康状態も毎日

把握してもらい一日も休む事なく通っています。

「分散しての生舎・退舎」は助かりました。

コロナウイルスへの闘いは長い道程ですが

気をゆるむ事なく、予防対策をしっかりと

コロナに負けない様に皆んなで頑張ります。

気を付けます!!

○困った事は、マスクと消毒液が不足して

なかなか手に入らなりので苦悩しております。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

休日はずいぶん出かけていたので、外出先少ないと言っても、聞いてくれる仕方なく毎週出かけています。どこでコロナウイルスに感染するのかわからないたびに不安でした。マスクと手洗い消毒には気を付けていました。

外出、出来ないという。パニックをおこして、クライして、物にあたったりして、不機嫌になります。

早く、終息する事を、願うばかりです。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

新型コロナの発生以降、現在に至る迄、世の中全体がかなり長期に渡る「自粛」を強いられる中で、知的障がいのある娘への、主な影響としては、以下の様な点があると思います。

① 通勤先、漆野工業会での「早出・早退」「遅出・遅帰」の工賃通勤はなし。  
当初は、バス時間も起床時間の調整は混乱し、慣れないうちに時間が増える。  
施設内外での消毒やマスクの着用に加え、ごみ出しなどで、工業会職員や皆様の負担増加に繋がります。

② 工業会の仕事は休むのは、お友達と遊びに行きたいというお母さんや一番の楽しみはこれだったので今はそれも禁止で、お友達と遊びに行けないと思います。（当初は、当然、お友達の様子も様子を見て、と聞いています）。  
何とか、仕事に行かずに消化出来ている様子ですが、GW中などは休むが続くと結構辛いと思います（家族とも、干渉もありません）

③ 7月下旬から工業会は通勤先での利用者として「帰宅後に入浴施設に決まるといって、自分も「私も入浴する」と言い出し、お風呂施設に行き（5月に入っています）。ただしお風呂は母親が代わって入浴します。  
お風呂場には「自粛」というのは「参加」しようとしている様子のようで、早く早く解放にしたい... と思います。

私の家内は現在丁度無形でおたふく、比較的娘のペースに合わせてお風呂に入ります。おし仕事をしていて、お友達と遊ぶことが減ったと思います。おし仕事もなかなか... と思ったりです。  
お友達も様子も様子を見て（娘のことも含めて...）と話してあります。  
家内は、

この中  
工業会の  
お母さんは  
お負担が増える

以上、お答えをさせていただきます。

一日も早くコロナが終息してほしいです...

藤田千尋（父：娘）

(14)

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

はじめに、新型コロナウイルス感染症という未曾有の緊急事態の中、多くの利用者が知的障がいというハンディキャップを捉え方々を支援指導されている職員の皆様へ感謝申し上げます。恐らく、朝の入所時から検温、手洗い等様々な感染対策を講じ、この教週間は利用者を守るといふ使命感から平時以上、ストレスが溜り疲労困憊がとどまらずに致して居ます。

さて「新型コロナウイルス感染症に関するアンケート提出」についてですが、特に要望、問題点はございません。

ただ「自粛」の意味は健常者には理解できていないのが、未だ感染者が出ています。利用者の正確な理解を促す様（親の言等、は余り聞かない事もあり対応）厳しくご指導頂ければ幸いです。

入倉敏彦

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

問題点の概要

1. 更に感染が拡大された場合、中通所している事業所の閉鎖によることへの懸念。
2. 否かー、入院することによる場合の心配・不安。

具体的事例

1. 障害を持った子供は、ほとんどの場合、自分を理解してくる方を、いつか慣れた環境での、いつか流れ心かて、安心・安定する。おれの場合、閉鎖された場合の子供の心中を心配している。
2. あつては、それらはいち支援に下つてくるスタッフの方々、家族の、日々の生活で気を張って注意しながら生活しているか、又かーの場合の不安・心配か、とある。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 外出が思うように出来なくなり、運動不足になっている。
- 夜、ストレスの爲、不眠になり事がある。（大声を出す。手やパンク印で大きな音を立てる。）

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

利用者、旅行が中止になり様々思っています。

家族の急ぎの買物など、マシなサービス

ありません。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

新型 コロナ流行により、体調管理に努める方が多くなるとは思いますが、マスク不足をキに入れることが多く、手洗いや消毒液の使用に努めており、効果を感じていないことが多く、対策が不十分である。

職場では感染対策をしっかりと行っているが、市場で職に就いている日は、色々な方がいらっしゃるのでもう少し対策が必要である。

現在落ち着いてきていると思うが、第2波がこないと心配である。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

事業所の事はわかりません。  
個人的には困った事はありません。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

今回のコロナウイルスに感しては、随分と本人にとって、ウイルスが世界中に蔓延している事には、理解していて、手洗い、うがいマスク等をきちんとやていくのが、施設側の方々から言われているのか、家から帰ても率先してしますので、その辺は私が言わなくてもやっていると、思います。

それよりも今後、梅雨や夏の暑さにマスク等を付けていかねばならない事が、熱中症など~~予~~なるのではないかと心配しております。

これから暑くなる季節になると、自分から暑いという言葉といえないうよりも、気分が悪くなる、我慢するところがある、その辺が心配しております。

そういった事も施設側の方が暑さ対策も考慮して頂きたいと存じます。

宜しくの程お願い致します。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

インクルーシブが休みの日など  
近くの図書館にいつも行ったのが  
休館日が続いて行く場所がなく  
一人で自転車で公園など少しの時間  
遊びに行っていたようです。  
早く図書館が開くのを楽しみにしています。  
以上

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

最近、気付いたのですが、国から頂いたガゼマスクを2枚、  
使用しています。子供にはまだ、紙マスクがあるので、毎日、  
それを付けて、作業所に行かせています。  
ガゼマスクは毎日、洗って、親の私が使っています。  
洗う度に縮んできて、付けた時にすごく圧迫感を感じて  
います。紙マスクが無くなったら、子供にもガゼマスクを  
付けさせることになるので、本人がきつく感じて、嫌がる  
ような気がします。少しはマスクが市販されて来ている  
ようですが、50、60枚で、2500円では買う気にはなりません。  
ガゼマスクは口が動くときすり落ちます。  
その点、紙マスクはフィット感があるので、気持ちがいいです。  
コロナが終息しない限りはマスクは必要なので、一日も早く、  
日本でも紙マスクをどんとんと生産してほしいと思います。  
できれば、紙マスクは白が一番いいです。あとは、薄いブルーか  
薄いピンクがいいです。派手な柄物や黒はやめたいです。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

息子がグループホームにシフト勤務になっております。  
これまで毎週/回帰省していましたが緊急事態宣言  
中は帰省は取り止めグループホームから作業所に通う  
生活が続きましたが何の支障もなく、預かっていた  
だいたいに感謝しています。期間中に各事業所から  
徹底した消毒と、利用者の健康管理を行う主旨の文書  
をいただき安心につながりました。

ただ新型コロナウイルス禍のほか風水害の自然災害  
が起り避難を余儀なくされた場合避難所での  
シフトが予想され、それにどう対応するだろうかとの思い  
がよまりました。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・ 遊びに行けなくて 嫌だった。(カラオケ・お酒も)
- ・ 外の空気を思いに行きにくかったけど、施設から止められていたのが嫌だった。
- ・ 通っている施設の旅行も中止になった。
- ・ 楽しいことがなくてイライラしている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

1. 新型コロナウイルス感染症対策のため  
マスクを着用しているが、マスク不足が不安だった。
- ・ 医療従事者に優先にマスクを渡すことは、  
大事だが、同じように障害者施設なども  
必要としている現実を理解してほしい。  
他にも消毒液など使用する物も不足していた。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

食堂に、網戸が（無いので）（虫が入ってきて）

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- バーチャルディスプレイを保有し、作業室内での活動の場所の間隔を空けているが、室内のスペースが限られている為、適切なスペースを確保しない。
- 利用者が楽しみにしている活動の多くが延期・中止となり、モチベーションが下がっている。
- 中止になった行事等の代わりにレクリエーション等も検討するも、バーチャルディスプレイを保有した活動とすると選択肢が限られてくる。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

子供が通っている事業店は現在（閉店）してしまっているが、  
これから、感染者が出るなどした場合は、閉鎖を覚悟しているが、  
子供は、重度障がい者なので、一人で自宅で過ごす事は出来  
ません（その点もサポートも控えているが）、母親でも自分の仕事を  
休み、一緒に過ごす事になり、体力的に出来なれているが、

又、本人が感染した場合、「入院」となってしまうが、これほどの  
経験が少なく、私が自宅に居る限りは、治療も出来ると思  
っている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

通所事業所では日々利用者の検温を実施しているが、熱発した際の対応がどのように違い、（隔離・早退等）

ソーシャルディスタンスにより密接を減少させるための事であったがすでに定員が決まっている利用者をおぼられたスペースで活動してもらうにはどのようにおぼせいい場面が多い。

同様に食堂・送迎時の車の中も密接を十分にさけるのはどのように困難。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

○ ヘルパー活動休止

毎週土曜日ヘルパーさんと外出してましたが、今は活動が休止になった為、家族が対応しています。ヘルパー活動がいつ再開出来るか、気になる（かたないよう）で、毎日いつ出来るか聞いてきます。時々大きい声を出す時があります。

○ 外出

外出は控えさせたいと思っていますが、本人のこだわりが強く、情緒不安定でパニックを起してしまうので、外出を控える事は出来ない。自閉があると対応でむずかしい事が多い。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

現状では、新型コロナウイルスに関して、特に影響を受けている事は、ありません。

ただ常々、心配している事、災害時の避難場所の状況です。

新型コロナウイルスに感染した場合は、隔離となります。

災害時と同様、知的障害児・者が隔離施設・避難場所にて、健常者と共同で過ごせるのか、など不安が多くあります。

今回、新たな感染症発症を機に、隔離施設・避難場所の特定を行う場合は、是非とも、知的・身体・精神など障害のある者、その家族の専用施設を準備して頂きたいと強く思いました。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

新型コロナウイルスが蔓延している中、公共交通機関を利用し通所させて良いのかと、罪悪感や色んな葛藤が有りましたか  
本人にとって毎日、同じサイクルで生活し通所する事で  
家庭でのイライラもなく、今は不要不急で遊びで、外  
へでるまいという事が認識出来て親としては通所  
出来る事が大変、助かりました。  
職員の方も、小さいお子さんと、保育所等に預けて  
安心かかっている姿に本当に頭が下がる思いでした。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

障がい児者の運動を毎(土)1時間半、家族や退職した先生方と、特別支援学校の体育館をかり、活動していたのが、出来なくなりました。又、息子が通っている通所施設(生活介護支援)でのウォーキング、ストレッチ運動、講師によるミュージックアパーなどの活動も出来なくなると、ストレスがたまり、体重も増し、生活習慣予防の為に運動や体重管理は重要なため、困っています。

息子は、自閉症で環境の変化が苦手で、情緒不安定になりやすいため、学校が休校になり通所施設の閉鎖を心配しました。が、事業所は、施設内の消毒や、利用者の体温チェック、利用時間の短縮など感染防止に努めて、開所しているため、助かっています。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

とくにありません。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- マスクをするとかおが  
かゆくなり、かにかにつういん  
しました。
- 人のあつまるところにいけ  
ずホームでテレビ、CDをきき  
すごしました。
- 早く自由に外にがれいしつ出  
きるようにあ者がれいします。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

○毎月、ショートステイを利用しているが、その感染の危険性から、  
事務的にも対応できず、ショートステイの事業を休止と対応している。  
利用者本人や家族にも、対応の問題が生じているため、  
今後の心配がある。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

新型コロナウイルスは、はじめは  
みんなはかかって、いままで  
でした。



新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

なし

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・障害者の家庭での負担が大きくなっている。
- ・休業中の行き場もなくなり、家でいることが多くなり、ストレスになっている。（支援も中止になっている。）
- ・経済面でもきびしくなっている。

66

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

集団感染の予防から、活動の内容が変わり、室内での時間での時間が多くなり、ストレスを感じる者も増え些細なことでトラブルも増えてきた。

家庭も感染を恐れ、利用を控える者もあり、経営的にも影響を及ぼしてきている。

活動時間の短縮を余儀なくされ、これから利用者のストレス発散にどう取り組むか悩んでいる。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

利用者の中には帰省や外出が無い事にストレスを感じ、自分の感情を抑えきれなくなり、大声をあげたり、ちょっとしたことで泣き出す方も増え、施設全体が落ち着かない状態になっています。

高齢者も多く、持病がない人のほうがめずらしい状況で新型コロナウイルスが感染すると、いったい何人の方の命がなくなってしまうのか考えると恐怖を感じます。利用者は帰省や外出がなくなり時間がたつにつれてストレスが溜まってきていますが、外部の方との接触をできるだけ避けなければならないと思うのも仕方が無い事かと思うようになりました。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の拡大で利用者の気持ち考えた活動計画を立てることが出来ず、その負担は利用者さんが負ってしまっている。
- ◆ 感情のコントロールが出来ない利用者もおり、そのためのトラブルが増えている。
- ◆ 時間短縮により利用者の親御さんの負担も増している。
- ◆ 当初マスクが不足して、確保が困難になり、例年ではインフルに対応して職員も利用者も全員がマスク使用となっていました。今回は職員のみでの使用になった。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

新型コロナウイルスの感染症の拡大が原因で、障害者の家族が問題に直面していると考えられる。問題は主に二点で、一点目は、事業所に通わせたくても通わせられないという家庭があることである。自分の子どもが通所させることで、コロナウイルスにかかってしまったらどうしようという心配によりコロナの収束まで欠席されるご家庭も自分の働いている現場でもあると聞いている。同時に、当事者が通所せずに家庭にずっとおられることによる疲れや身動きの取れづらさが問題になることも考えられる。これが二点目の問題である。普段日中働かれている保護者の方が、子どもを事業所に通わせられないことによって、仕事を休まざるを得なくなる状況もみられている。このことも含め、最終的に保護者のストレスとなることも考えられるので、ご家族へのケアもより重要となってくるのではないかと感じている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

利用者のご家族と状況をあまり把握できていないが、通常より、一時間活動時間が短くなったことで、ご家族への負担は少し増えたのではないかと思います。

私自身は、通所施設のため、一時間の活動時間短縮はあるが、現場への影響、負担等は、それほど大きく変わっていないように感じるが、利用者がコロナの影響で外出等ができないことによるストレスがかなり溜まってきており、利用者間のトラブルは増えたように感じる。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

開所時間を1時間短くしている事でご家族からは「(子どもが) 帰ってくるので仕事ができない」「(長くこの期間が続いているので) ちょっときついですね」という意見を送迎時に聞きました。ご家族は納得されて協力していただいておりますが、そのようなお話を直接聞くと少し負担に感じてしまいます。

勤務についてですが、勤務先が通所施設なので業務的に在宅勤務が難しいため毎日バスと電車で通勤しています。コロナウイルス以外の風邪症状が少し出ただけで「コロナに感染しているのではないかと不安になり、また勤務先に迷惑がかかるのではないかととても心配になります。また私は持病があり免疫抑制剤を服用しているためコロナウイルスに感染すると重度化のリスクがあるので感染予防には気を付けていますが不安な気持ちがあります。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

・生活支援を行っている為、発生した場合、入院ができる利用者とできない利用者があること、基本的にグループホームでみることになり、対応職員の確保等の問題が出てくる。

・生活支援施設であるが故に、日中事業所での制限（送迎サービス自体を密になる為、行わない、食事サービスが無い、時間短縮により、通常より早く帰宅する）の為、その制限された内容については、生活支援施設が担う必要が出てきており、生活支援事業所への負担増となって現状が見られている。

・外出活動を制限中の為、利用者が休みの日に外に出て気分転換をする機会が減っている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

新型コロナウイルス感染症の流行の為、利用者へのサービス時間が短縮している。

1.通所の利用者における問題点

少しでも利用者が早く自宅に帰って来ることにより、ご家族の負担が増えている。「通常通りに仕事に行けない。」「家事をしながら面倒を見る事が大変である」との話を実際にご家族から聞いた。目が離せないような利用者やひとり親のご家族は特に精神的な負担は大きいと感じられる。

2.ケアホームなどの入所施設の利用者における問題点

外出などリフレッシュの機会が無く、ストレスが溜まり利用者の気持ちが不安定になりやすい状況である。気持ちが不安定になることで、事業所内でのトラブルも多くなっていると感じる。

また、入所施設の職員や世話人の方への負担がかかっているのではないかと考えられる。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

・自分自身が感染した場合、事業所に持ち込み、利用者が感染してしまったり、感染はしなくても閉所となって、利用者の活動の場所をなくしてしまうのではないかと不安はある。そのために消毒を自宅も行っているが、今まで行っていなかったことを毎日行うということで負担感も感じている。

・利用者の介護時に利用者との距離が近いことが気になる。

・子供の学校が休校となったが、在宅勤務ができる職場ではないため、休校期間中は子供のみで自宅で過ごさせた。中学生ではあるが、休校期間が長くなり、子供の精神的な面を考えると不安に思うこともあった。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・新型コロナウイルス感染症対策により、マスクやフェースシールド、アルコール消毒液の購入に支障を来し調達するのに苦勞し、調達の際も価格が高く、事業所に負担がかかってしまう。また、防護服の確保が出来ずに不安である。
- ・障害者のグループホームの居室は個室であるが、リビング、バス、トイレは共同で利用するしかなく、感染対策を強化しているが、濃厚接触者等が発生すると利用者を療育する際に生活空間の区分けが難しく、不安を感じている。また、生活支援等の対応を行う職員の確保や宿泊用の居室を確保するのは難しく、不安を感じる。
- ・新型コロナウイルス感染症に利用者や職員が感染した場合、事業所に対して自治体や医療機関等などから応援があるのか、また、事業所に対する誹謗・中傷などが不安である。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- コロナウイルスの影響により、利用者の就労状況が安定していない。そのため、生活費についても安定せず、心身に支障をきたしている。
- 外出制限について、細かく制限の内容が明確になっていない。そのため、利用者への伝達や理解へとつなげにくい。
- マスクが高値で、利用者が購入できない。
- コロナの影響で、公共交通機関のダイヤが乱れ、通勤に困っている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

障害を持った我が子から新型コロナウイルスに感染した場合、預けてくれる医療・療育機関があるのか不安だとの声を多く聞きました。（親御さんから）  
事業所全体としてできる限りの予防、配慮と行って利用者の受け入れをしていますが、絶対的な安全性はあり得ないことに不安を感じています。  
北九州市は第2波の真っただ中にあると言われている中、新型コロナウイルスではないかと疑われる症状がある人に対し、PCR検査を受けられる範囲を広げてほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 業種 の特性から、事業所を由所出来ない事は理解  
ができる。
- 利用者の事業所への通所自費が事業所の収入減  
に直結する。新型コロナウイルスに関わらず、新たな感  
染症が今後も発生する可能性はある。継続し  
て事業運営が出来る対策を行ってほしい。
- 福祉現場への対応業務が高齢分野が  
主にあり、障害者福祉の分野が後回しに  
なっている感じを受ける。障害分野にも高齢者利用  
者や、疾病持者の利用者も少なくなっている。今後は  
障害福祉分野に対しても今より以上のスピー  
ディーな対応をしてほしい。
- 放課後等デイサービスにおいて、請求の行い方の  
変更が急遽あり、対応に苦慮し、事務に関わる  
時間が増えた。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・新型コロナウイルスによる学校の対応の情報が通前にならないうえ、放デイの開所時間や利用者調整、職員の手配調整など業務を短時間で行うことが厳しかった。
- ・放デイ事業所により利用者対応が難しく、統一した対応が図れないでいることが、新型コロナウイルスの対応を各事業所にゆだねているように感じている。
- ・マスクが足りない。
- ・放デイ講師で新型コロナウイルスの講義方法の説明がわかりづらかった。
- ・学校が休校かどうかこちらから問い合わせしないと分からなかった。休校と分かっているから、すぐに事業所に連絡がほしい。
- ・事業所を利用している児童が活動の制限や、ストレスを感じているように見えた。
- ・新型コロナウイルスで事業所の利用を控える家庭があり、収入が減少して、収入と支出のバランスがとれなくなった。
- ・学校と放デイ事業所は繋がって連絡していることも、と理解してほしい。
- ・新型コロナウイルスの急な対応で職員、児童、家族が疲れている。
- ・放デイの活動で感染は避けようとしているが、利用者支援や上へどうしても距離が近くなったり、マスクがつけられない子がいる。新型コロナウイルス対策と、いじめから事業所を開所して良かったのか疑問に感じている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

○利用者の就労定着支援の際、コロナの影響で  
ジョブコーチが職場に入ることができず、利用者の  
就労定着が困難になっている。

宿泊型自立訓練の利用者は

○利用者の休日の過ごし方について、大半の時間を  
施設で過ごすことになり、外出ができないことや、やることか  
ないことなどでストレスが増大、生活リズムの乱れに  
つながっている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

・マスクが手に入らない

街中で販売されているマスクを見つける機会が多くなれば、価格が高騰している。マスクの購入は自己負担になっており、コロナ流行前のように買うことができない。

・職員の疲れ

利用者が「コロナが怖い」と口にする回数が増えた。

職員は「事業所内で検温や消毒を行っているから大丈夫」と伝えているが、上げる保証は無く終わりが見えない中で支援者側も心身共に疲弊している。

緊急事態解除後、マスクを着用していない人も増えており、いつか罹患するのはないかという不安の面が大きい。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

緊急事態宣言で外出自粛が言われている中でも施設外作業のため駅前清掃作業を続けたい。

利用者も支援員も感染に対する不安があるため休むと工賃が入らない為、休めない。身体に障害のある方が危険にさらされる事に疑問を感じた。

マスク品薄により購入できず困る。

現在は手洗いの泡石けんが少量しか購入できず困っている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・利用時間が1時間短縮になり、それに伴い利用者のスケジュールが変化し、<sup>一部</sup>混乱を招いた。また、通常の時程に戻った際、どんな状況・反応とどうかが危惧している。
- ・一部の利用者で、家での余暇活動や事業所内での外に出るといった活動が制限されるなかで、その不安感や不満感が本人の不安につながっている状況がある。
- ・事業所での次亜塩素酸水の導入により、消毒液がなくなるといったことはなくともしたが、導入がなければどうやっていたろうかと不安があった。また消毒液に限らず、マスク・ガゼなど衛生に必要な物資の不足に関し不安はある。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

緊急事態宣言が出され、事業所は1時間短縮や館内の消毒の徹底などの措置を取った。利用者さんのいる空間が十分に距離が取れるほどなかわりではなく、できる限りの工夫をしているが、不十分であると感じている。マスクの支給が十分になく、職員への措置・配給は十分になかった。

施設外就労など、感染リスクがある作業でも、

休むことなく実施するに疑問を感じた。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- マスクをする事に関しては定着してきたが、正しくつける事ができない人も多いため、その都度、職員が声かけをしている。
- 家庭による危機管理の違いで、危機管理の甘い家庭に対して不信感をもち、事があった。  
(家族も自粛疲れにより、精神的に不安定になっている)

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

【利用者・家族が感じている問題点など】

- ・ヘルパーとの外出が生活の一部になっている利用者が外出できないことでストレスを感じ、普段なら何もないようなことでもイライラする、大きな声が出たりすることがあった。
- ・マスクが苦手な利用者があり、家族が着けさせる練習をするがうまくいかず本人・家族共に困っている。
- ・ヘルパー活動を自粛した際、家族がその代替をできる場合はいいが、家庭環境や両親が高齢だとヘルパーの代わりが難しい場合が多い。その結果、食生活の乱れや運動不足、入浴や掃除など健康管理や衛生面の維持が難しくなっている。
- ・急遽、通所施設が休みになった場合、両親が高齢の場合や共働きの家庭では日中本人を見ることができない。居宅介護や日中一時、ショートステイなどのサービスを利用するための手続きをしたが受け入れられる事業所がなく家族が困っている。
- ・ヘルパー活動でカラオケを利用している利用者が「カラオケ店の休業」などの報道があるたびパニック状態になり、その対応を母親が行っている。

【事業所・ヘルパーが困っていることなど】

- ・感染拡大当初はマスク不足が深刻で、ヘルパーの分は何とか確保できても、利用者の分は手に入らずマスク無しで外出する利用者も多く、申し訳なく感じながらサービスを提供したことがあった。
- ・利便性のよい場所に住まわれている利用者は徒歩で外出できるが、そうでない利用者については非常事態宣言中であっても公共交通機関を利用しなければ外出できず、3密を避けられない状況であった。このような期間中は公用車の利用や、タクシー料金の補助などの特例措置があればと感じた。
- ・外出活動が中止になると不穏になる利用者が数名いる。緊急事態宣言中も家族の強い要望があり、感染リスクを感じながらも外出活動を実施した。
- ・外出時に利用者が好む社会資源（カラオケ・観劇・ファミレスなど）が軒並み臨時休業になりスケジュールを立てるのに苦労した。
- ・活動自粛でサービス提供総時間が年平均から3割ほど減少した。また、登録ヘルパーの収入保障もしなければならぬため、スケジュール的に職員が入れる活動もヘルパーに譲る形になる。その結果、収益は大幅な減額となることが予想される。
- ・家族に高齢者や幼児がいるヘルパーは、緊急事態宣言中は利用者と外出することで感染の不安を感じ躊躇されている。事業所側からも行ってくださいとは言えず、キャンセルもしくは職員が時間外で対応することもあった。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・移動支援を行っていく上で、今まで行く事が出来ていた場所に行けなくなる事で、利用者が不穏になり、家族の精神的・肉体的な負担も増加している。
- ・ショートステイの利用が、今までのように出来なくなり、家族の気持ちの余裕がなくなっている。
- ・活動の場が狭められ、時間短縮せざるを得ない。
- ・運動不足になり、体重増加、体力低下が心配。
- ・居宅支援を行う際、利用者側が準備する消耗品（ゴム手袋等）の購入が、品薄等の事情で、購入し辛くなっている。

型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

外出の自粛を受け入れているご家庭が大半ですが、自閉傾向の強い利用者は自身でのスケジュール変更が難しく、やむを得ず外出支援を行っております。

外出支援を行うにあたっては、コロナ感染拡大防止を心がけ、細心の注意を払いながら行っておりますが、マスクの着用など苦手な利用者も多く、商業施設などにマスクを着用せず入場していると心無い叱責を受ける事も有り、時にはその声に驚きパニックを起こす事も有ります。

終息まで長い時間がかかりそうな状況ですが、コロナ感染に注意しながら活動を行って参ります。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

乗り物に拘りがある利用者には、活動中ストレスが続いている。

利用者の体重管理を気にされているご家庭では、自粛による運動不足の体重増加に困っている様子である。

車椅子を使用している活動だが、どこにでも公園等があるわけでもなく、食べこぼしも生じる為、新しい配慮が必要とされている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・感染防止のための消毒液やマスク、防護具が入手困難または高額であること。
- ・ICTによる様々な対策をしているが、これも入手困難で、納期が3か月先とかになっている。
- ・利用者自身が適切な予防行動を取ることが難しい方もいる。身体接触による支援が前提の障害福祉サービスで、職員の感染リスクは非常に高く、これからも病院や介護施設等と同様の補助の対象としてほしい。
- ・「自粛警察」と呼ばれる方々や、ネット等での誹謗中傷などの風評被害があった場合、将来に亘る経営リスクにつながるため、啓発に努めてほしい。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・コロナ対策の為の物品が手に入りやすく、在庫があったとしても価格が高騰すること。
- ・通勤で公共機関を使用する方はどこで誰から感染したか、わかりにくいのでは？
- ・身近な施設で感染が報道されており、施設を開所している限り、いつ感染してもおかしくないのでは？

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

事業所で利用者が過ごすスペースには限りがあり、三密状態を避けることは大変難しいと思われます。公共施設も閉鎖され、外出先も制限があり結果、事業所内で過ごすことを余儀なくされています。

活動室を教カ所に分けて対応するには支援者が複数必要となるが、現状では支援者不足は大きな課題である。未就学の子供を持つ支援者は保育所等の対応次第では休まざる負えない現状もあり、現場では支援者が不足しています。

また、送迎サービス等の車中、事業所内での利用者間の距離など最大限の配慮はしていますが、出来る手立てにも限界があるのが現状です。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・だんだん気温が、暑くなってきており、利用者がマスクを着用して活動時間を過ごすことが、難しくなっています。そのため、マスクを外したり、マスクをつけたりとるので、マスクの保管や外し方などが、不衛生になりやすいことが気になっています。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

○公共交通機関をつかった自主通勤の利用者が多くいるため、感染リスクの高さから、本人・家族の不安が大きい。そのため、感染リスクを避けるため、事業所の利用を取りやめる利用者も多くおり、事業所としての収入の低下や、終日本人たちが自宅にいることでの家族負担（精神的・仕事を休まなくてはならないことでの経済的負担）が増えている。

○事業所としても一日に50人以上が利用者として利用するため、集団感染を予防するための消毒や対策などを行う必要がある。消毒機器や薬剤の購入に伴う、事業所としての出費や、職員自体への感染リスクの高まりなど事業所・職員の負担も増している。

○就労移行では、企業からの実習中止や延期などで、就職活動ができない状況が生まれている。就労移行は有期限のサービスであるため、訓練を受ける機会を逸している。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

検温や消毒は通常業務でありそれを強化しただけで負担は感じておりません。  
利用者のご家族の様子が伝わらないのは少し不安がありました。  
三密といわれ活動中は窓を開放し換気に留意する以外、活動中は残りの密を避けることはできませんでした。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 1. ショートステイの利用を希望しているが、ショートステイの利用を希望しない利用者、その家族がショートステイを利用できない。必要に応じて支援の届出は入。
- 2. 消毒の第一は希望しているが、利用者に対してはあまり実施できない。
- 3. 宿泊型自立訓練は2年間の有期研修の中で、地域への移行（GMや入居）への自覚が立っていない。時間が限られるから、利用者（その家族）事業者も便の悪い。
- 4. 宿泊型自立訓練は外出を自覚しているが、利用者のファストレーションが不足している。外出を希望している人との対応は難しい（特に利用者側で、対応は難しい）重要性を理解できない（特に）、「なぜ外出は難しい？」という問いに答えられない。
- 5. その他、利用者事業者は1人7人ほどで、個別の文書は難しい。「なぜ自立訓練の研修は文字にできない」と理解が難しい。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

・日々感染症予防対策の必要性並びに対応策（手洗い/うがい/マスク/三密回避等）を繰り返し訴え働きかけ続ける事に対して双方（利用者及び支援）共にストレスの過重負担（倦怠感）を感じる事が甚だしい。又、各利用者の個別対応に於いても時として一定の限界を感じる。

・消毒や密防止（適切な距離感の確保）の為、時間的&物量的に業務負荷が増加傾向にある。

・仕事柄三密状態に陥りやすい（24 時間体制）傾向にある中、職場での目に見えない感染源を家庭内（高齢者等同居）に持ち込む可能性が高いのではないかと不安に思う。  
（職場で使用中の次亜塩素酸を定期持ち帰り散布している）

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・送迎車の過密を避けるため、通常の送迎人員では困難となっている。  
また密接を避けるため自主送迎をしてくれている家族もあるが、その負担も大きい。
- ・マスク着用が困難な利用者も多数おり、その利用者に対する周囲の偏見。
- ・利用者が着用したマスクを誤嚥する事案あり。
- ・活動制限による利用者のストレス。また、そのストレスに対処している支援員のストレス。
- ・体調が悪い場合でも、「こんな時だからこそ」余計に休むことが出来ない。  
コロナ罹患と思われたり、過剰に用心されたり。また疲弊した職員が多い中自分だけ休むわけにはいかない、などの行き過ぎた義務感によるところが大きい。
- ・利用者の咳やくしゃみをダイレクトに受ける支援員の恐怖感。また体調の悪い利用者の食事介助や排泄介助をする際の不安感。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

農福連携事業を実施していることで、施設内や圃場に活動場所を分散し、3密を防ぐよう工夫している。これから、本格的な夏場を迎えるにあたり、マスクを着用しての農作業による熱中症が大変懸念される。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- 1・通所を中止している家族の介助負担が大きくなっている（高齢の家族が身体介助を行っている）
- 2・身体、知的障害の利用者がマスクをすることができない。マスクを外してしまう。
- 3・利用者の食事介助中に唾液、食物残渣が介助者に付着している。付着している衣類を着たまま自宅へ帰ることにより、雑菌を自宅に持ち込んでいると思える。
- 4・送迎車内は複数の利用者が乗車し、安全の為窓も開けられない為、密状態になり、換気ができない。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- コロナ(新型)の治療薬がないから、一番の問題で未知見通  
せないので不安に感じ。  
↓
- かわいそうな人を見て(TV、ネット等)、非難してけう、攻撃  
してけう。  
身近な方に伝わればいっしょにいても、攻撃対象になってけう。
  
- システム的に 財政的に 可能な手段で解決できても  
その数も少ないから、何かサポートできてもいいのではないかと。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・気は遣ってはいるが、密な状態は避けられない。
- ・外に出る機会も少なくなり、余暇の時間も3密を避けたものでなければならぬ為、ストレスが溜まっている。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

・事業所内にて様々な感染対策を実施していますが、対人支援の現場では、限界があり、3密を完全に防げたかと言われると防げていないというのが現実だと思いました。では、福祉の現場だから仕方がないのかと言われるとそうではないと思います。障害児・者の日常生活を大勢の人がいる事業所ではなく、出来るだけ自宅にて過ごさせたいというご家族も多かったのではないかと思います。しかし、その妨げになったのは金銭面、ご家族自身の仕事、高齢化といったさまざまな問題であると思います。個人個人、抱えている事情が違いますので、その個人の事情に出来る限り寄り添える政策や制度の作成、並びに周知が必要であると考えます。また、この問題については、利用者、利用者家族だけでなく、福祉の現場のスタッフにも当てはまるものだと考えます。実際、私自身、妊娠中の身であり、このコロナウイルスから自分自身の身を守るには、仕事自体を休業もしくは、退職する必要があるとまで考えました。福祉の現場のスタッフにも個人の事情があり、自分自身、そして、家族の感染を防ぎたいと願っています。そうしたスタッフの思いにも応えられる制度や支援策等が今後、必要であると考えます。新型コロナウイルスにおいて、医療現場の大変さは報道でよく取り上げられますが、福祉現場のこうした大変さは取り上げられることが少ないと実感しています。もっと世の中の人に福祉の現場の現実を知って頂きたいです。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

- ・マスクの着用、手洗い、手指消毒等、基本的な感染予防策が守れない。（必要性が理解できない、長時間マスクを着用してられない、マスクを食いちぎってしまい異食する）
- ・食事介助、水分摂取介助、入浴介助、移乗時、どうしても介助時に距離が近づくため飛沫を浴びてしまうことを避けられない。（特に飲食時、唾を吐いたりむせやすい利用者の場合）→現在は食事介助時にはフェイスシールドを活用
- ・利用者の人数に対して活動室が小さく、ソーシャルディスタンスを保てない。また利用者によっては窓を開けることが出来ない。
- ・慢性的な医材不足（アルコール、マスク、洗剤類、ティッシュ、キッチンペーパー）
- ・次亜塩素酸水の導入によるトラブル（家族への対応）

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

普段から大切な命を預かっている職業であると認識しております。  
守ることを前提に支援をしてきて、これからもそうであろうと信じておりました。  
しかし、今回のコロナ渦で利用者の命を危機に晒すとともに自らの命もかけて向き合  
わないといけない、社会を維持するために必要な職業であると改めて認識いたしました。

それを踏まえて回答いたします。

障害児・者とその家族が直面している問題点、困っていること

世間の情報が過多で、あおりすぎて正しく恐れるという風潮にならず、過敏に恐怖を感じ  
られていたように思われます。情報の発信の仕方には工夫がないと受信する利用者、家族  
は混乱されたのではないのでしょうか。

親御さんが高齢で基礎疾患があり本人が1人では生活できない家庭が何軒もありました。  
万が一、親御さんがコロナに感染した場合、本人も濃厚接触者となる可能性があります。  
入院するまで深刻な状況になったときに、障害のある本人の受け入れ先はどうなるのだ  
ろうかと日々、支援していて気になります。

テレワークなど代替の仕事の方法がとれる家庭とそれができない、施設に預けざるを得  
ない家庭とありました。経済格差が命の危機に直結するケースなど多くみられています。

事業者が直面している問題点

マスクや消毒液など物資の深刻な不足は、業務を行う上で大変不安になりました。命にか  
かわる職業なため、どこからも支援がない、または届くのに時間がかかるなどの事態は、  
危惧すべき問題だと思えます。

コロナ渦の初動対応の時間がかかりすぎた面。政府、行政がまず方針などを発信しないと  
現場事業者は対応がとれないと感じております。意思決定権のある部署が早急に方向性  
を示さないと、現場は行政等の方針が出た後に、さらに協議し、そして最前線の現場に  
降りてくるということがありました。緊急事態の意思決定のスピードをあげる方法論を  
検討すべきだと思います。

利用者のなかには障害特性のため、マスクをつけたがらない方がいらっしゃいます。なにが手立てはないものでしょうか。飛まつ感染、呼吸器系の感染症は防ぎようのない気もいたしました。

通所系福祉サービス事業所で 80 名以上の大規模な施設は、コロナ渦で、通所を控える利用者が多くいらっしゃいました。いわゆる 3 蜜に該当する部分があるためだと思われま。今後の大規模施設のあり様が問われる気がしております。

介護福祉職員向けにコロナ慰労金など支給を検討されているようですが、正直必要であるか疑問です。業界がかかえる構造的な問題解決に当てるべき財源のような気もしています。業界団体が要求するものかどうかと思っています。

また、お金で解決する問題の次元ではないような気がしています。

今までの制度設計がもう古くなっていて、ひょっとすると革新的な発想のもと、福祉というものを再構築していく必要性を感じています。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

○就労継続B型事業所勤務（支援員）

- ・今回、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、公共交通機関を利用して通所している利用者の方が多くいたが、当初この緊急事態を受け入れ、予防対策をしなければならぬと理解した方がかなり少なく毎日の説明、支援がとても大変であった。
- ・利用者だけでなく、事業所へ送り出すご家族やグループホーム職員等との対応に関して温度差も感じる場面もあり、事業所だけ徹底してもダメな部分が見えて危機感を持った。
- ・万が一、自分が感染したらと考えるだけで不安が大きく、自己管理の徹底に少々疲れたのも事実。
- ・事業所を多く運営する法人の為、感染予防対策が後手後手になっていたと感じる。統一した対策ではなく、それぞれの事業所で対応策（時差出勤、時短対応等）を即行で行う事も必要と感じた。
- ・この緊急事態を理解できない、または理解しても危機感を持ってない利用者が毎日公共交通機関を利用して通所する事が本当に必要なのか？と考えさせられた。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート用紙

新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障害児・者とその家族及び事業者が直面している問題点、困っていることなどを以下にご記入ください（自由記入）。

1. 利用者状況

・コロナウイルスという目に見えないものを知的障害の人に理解してもらうことが、そもそも難しい。利用者によっては、何で外出制限がかかっているのかなど分からず、混乱が見られる人もいます。（マスクやアルコールが市販されておらず、自分は手に入れることが出ないのに、スーパーには消毒液が置かれ、すれ違う人はマスクをしている、なぜなのか理解ができずに混乱するなど）

2. 予防対策

・通所事業所として、緊急事態宣言時も開所をしていましたが、明確な情報が少なく、消毒の方法、環境設定など予防もどこまで行うべきか、いまだに迷っています。（今になって、次亜塩素酸水は効果がないとも言われていますので）

・今は少し落ち着きましたが、マスクが市販されておらず、高額になり、事業所として利用者職員分を確保することが難しく、結果的に、個々でマスクを購入してもらう形になっています。せめて職員については、業務に必要な備品の支給については、行えるようにして欲しいです。

3. 職員の働き方

・小さな子どもを抱える職員については、保育所や幼稚園での預かりは一応してもらっていましたが、保育所や幼稚園にいる子どもが少ない事や保育所や幼稚園の先の見通しを立てることができない事に不安を抱えたまま、勤務する状態です。

・公共交通機関を利用して出勤する職員についても、感染の不安を抱えています。



## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケートの件

1件のメッセージ

社会福祉法人光友会 ひかり作業所

kouyu-hikari@k-hikari.or.jp &lt;kouyu-hikari@k-hikari.or.jp&gt;

2020年6月5日 10:06

To: social-welfare-lab@e-mail.jp

## ◎回答

## \* 感染対策品購入に関する補助、助成の範囲について

・当事業所では、3年前よりインフルエンザ、ノロウイルス、花粉症等への対策として、次亜塩素酸水の噴霧器を使用しておりますが、安いものではないため、小さいサイズのもの複数台で対応しています。今回のコロナ対策においてもツールの一つとして活用しておりますが、補助・助成等があれば、大型のものを購入し、小さい噴霧器は他の場所(面談室など)で使用したいと考えています。又、職員から作業机や食堂のテーブルにアクリル板等の仕切りが付けられると対策になるのではという希望が聞かれております。同様に補助等があれば机数十台分に対応が出来ますのでお願いしたいところです。噴霧器について、先日別件で相談に乗って頂いた国会議員さんから現時点では対象外なので補助は難しいと言われました。アクリル板等も含め、補助・助成対象の緩和というか、自由度を増して頂けると助かります。

## \* 事業所等への報酬の保障範囲と保障に関する事務手続きについて

・事業所等への報酬の保障について、通知により救済措置を頂いておりますが、対象外のサービスがあります。具体的には居宅介護・行動援護・短期入所や日中一時支援、児童発達支援事業等ですが、当法人実施の短期入所についても今回の件でかなりの減収となっております(既に埋まっていた予定表の約半分が通知に従って事業所側からキャンセルの勧めをしたケースを含めキャンセルとなりました)ので、同様の措置をして頂けると助かります。報酬保障の為の事務手続き(証明書類等)について、緊急事態という極稀なケースであること、通知の通り利用者・ご家族から了承を得た上で報酬請求していること、この期間中、接触機会7~8割減ということであり、かなり薄い職員体制(小人数)で事業を継続していた事等を鑑み、なるべく簡易になるようにして頂けると助かります。又、証明書類がかなり煩雑になってしまう仕組みを作った都道府県や市区町村に、対応が遅れていた市区町村が乗ってしまう(煩雑寄り)、市区町村によっても対応が違う、と聞いておりますので、なるべく簡易になる方での統一をお願い致します。

※利用者一人1枚ずつ、2か月分毎日の記録等を作成するというのはかなり煩雑になります。

以上です。

令和2年6月5日

社会福祉法人しべつ福祉会  
つくも園 総務課 工藤 典子

## 障害者支援施設の立場から

1. 新型コロナウイルス感染防止のため、利用者は外出・外泊（帰省）ができず、非常にストレスがたまっています。  
特に自閉傾向のある利用者は、いつもと違う物・違う行動でストレスがたまり、不安定になる。  
例えば、いつも液体のハンドソープを使っているが、品切れで固形石鹸を置くと、その固形石鹸を砕いたり、トイレに流したりするような問題行動がみられる。
2. 学校が休校の間、子ども・孫の世話をしなければならなくなり長期間にわたり休む職員が出てきた。3月～4月では1か月半、休んだ職員もいる。  
グループホームの食事の提供ができなくなり利用者の金銭的な負担が増え、他の職員の負担も増えた。
3. マスク・消毒液・手洗い石鹸が高騰し、なかなか納品されない。  
経営面で圧迫されかねない。
4. 市が運営している健康長寿推進施設の軽食喫茶・清掃の委託を受け、利用者が作業を行っているが、新型コロナの感染拡大防止のため閉館となり、委託料が大幅に減額され、利用者が作業する場もなくなった。  
利用者の生活もあり、今まで通りとはいかなくてもある程度の作業工賃は払いたいと考えているので、他の作業への転換で対応している。  
また、委託料減額のため作業工賃は訓練等給付費を充てている。

63



Tomonari Ashitaka <t.ashitaka1219@gmail.com>

アンケート回答について

kiryumiyaen <kiryu-miyamaen@bz01.plala.or.jp>  
To: social-welfare-lab@e-mail.jp

2020年6月5日 9:22

障がい者福祉研究所 御中

お世話になります。

「新型コロナウイルス感染症が原因で、福祉現場にて生じている問題等に関するアンケート」に対する回答を送らせていただきます。

・発熱時に診て頂ける病院がない。保健所に連絡してくれと言われたが、なかなか繋がらず、受診してもらえる病院がなかなか見つからなかった。

どうぞ、よろしく願いいたします。

=====  
社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会  
桐生みやま園 ねもと寮 寮長 山田 美晴  
E-mail:kiryu-miyamaen@bz01.plala.or.jp  
TEL:0277-65-6666 FAX:0277-65-6640  
=====

# 新型コロナウイルス感染症による問題点・困りごとについてアンケート

令和2年6月4日  
刈谷市社会福祉協議会  
施設名 すぎな作業所  
記入者 本間元気  
連絡先 0566-23-1400

問題点の概要	①報酬減 ②作業量減→工賃減 ③新しい生活様式に対応できる環境ではない。
具体的事例	①感染予防のため、登所の自粛や、隔日利用等を行ったことにより、利用者減となり、報酬が減少してしまった。 ②企業の稼働が少なくなったことにより、受注作業が減少し、工賃減につながっている。 ③作業室や食堂等、密になる環境が多い。
その他	

## 新型コロナウイルス感染症による問題点・困りごとについてアンケート

令和2年6月4日

刈谷市社会福祉協議会

施設名 くすのき園

記入者 吉田博仁

連絡先 0566-28-5441

問題点の概要	①新しい生活様式に対応することが難しい ②活動の制限
具体的事例	①移動の際に介助が必要な利用者があることなどで社会的距離を保つことが難しい場面が多くある。 ②利用者や職員の安全、感染防止を第一に考えると、日中行う活動が簡単な室内活動に限定されてしまう。屋外施設などに出掛ける活動ができないため利用者の楽しみが減ってしまう。
その他	

令和2年6月4日

社会福祉法人 ないえ福祉会  
障がい者支援施設 ないえ  
生活介護課長 萬 由美子

#### 新型コロナウイルス感染症アンケート

国や北海道の緊急事態宣言に伴い施設にも休業要請が来るのかと思っていましたが、対象外の施設ということで国から出ている指針に沿ってできる限りの予防に努めています。しかし、具体的な対応の指針が出てくるまでに時間がかかり、自分たちがどのように対応したら良いのか不安を感じながら対策に努めてきました。

しかし、実際に、施設内で感染者が出た事を想定しゾーン分けも検討するが施設内で感染者を隔離して対応する事は現実的に非常に難しいと思いました。感染者が出た向陽園の状況報告を聞くと他人事ではなく、今は利用者には申し訳ないが外出などひかえながら感染者を出さないための予防に努めている。

利用者は、今まで買い物など外出出来ていたのに制限されたりできなくなり、自宅帰省も自粛してもらっている方もいるので不安定になる利用者さんも出ています。

在宅者やグループホームから通所してくる利用者に対して、少しでも蜜を避けるために送迎の回数を増やしたため、新たに職員を配置する必要が増えました。

感染症の予防対策をする中で、使い捨てマスクの購入が困難になったり、消毒液がなかなか入ってこなくなったり備品の購入に苦勞しています。普段購入している業者にも相談するが、数量制限や価格の高騰などもあり、今後感染者が出た場合に向けた備蓄品もある程度必要に感じました。

令和2年6月4日

障がい者福祉研究所  
代表 足高 慶宣 様

社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会  
副会長 親の会代表  
善川 夏美(よしかわ なつみ)

## 「新型コロナウイルス感染所を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート」の回答

### こどもの保護者より

1 毎年新学年は不穏になる事が多く、学校が休みだったためこの4月5月は安定していましたが、6月に入り学校が始まると不安に思うのではないかと心配

・家庭内の会話だけだったので、安定していたが急に新学年のお友達などに囲まれて驚いてしまうのではないかと？

・前学年の先生が転勤されたので、新しい先生との関係ができないままの休校でとても不安に思っている

2 引きこもり生活で体力低下が起こっているのが心配

・マスクができない特性があり児童デイに預かりを断られたので引きこもり状態なのと、マスクをしていないので散歩するのも気兼ねで全然運動ができていない

・児童デイに行っているが、室内だけの支援だったので動きが少なく心配

3 生活リズムが崩れた

・日中に動かないので夜眠くならず、昼夜逆転気味になっていて心配

・寝る時間に寝ようと声掛けしても寝てくれず家族一同で不眠状態です

・睡眠が浅くなったようで何度も夜中に目を覚まして、大声で叫んだりしました

4 ゲームや動画などの依存が心配

・タブレットなど日ごろは時間制限をかけていましたが、学校がないとその時間もしたがりが困りました。

・私もずっとついておくことができないので、ついゲームに子守をさせてしまいました。兄

弟は宿題などもありゲーム以外の時間も持てましたが、特別支援級の宿題を一人ではできないものばかりで、一人でできることは動画やゲームばかりでした。

## 5 家族や兄弟に固執して困りました

・お父さんが在宅勤務だったのですが、土日はよく遊んでくれるお父さんが遊んでくれないとパニックになり夜も寝ないでお父さんに固執して困っています。

・小6のあえに遊んでもらいたくて、執着して困りました。姉も宿題などもあるので午前中だけ特別支援級で預かってもらえるようになって助かりました。

・兄弟にしわ寄せが行っているように思うとつらくなることがあります

## 6 学校の対応

・支援級に行かせているが、学校の連絡網メールやHPでは普通級の保護者向けの内容で、全くフォローがなく困りました。

・フォローどころか、分かりにくい宿題がたくさん出て親がその宿題内容を理解するのに時間を使ったほど支援は期待できません

・年度が変わったばかりで担任も生徒を把握できてないんだと思います交流級の担任のフォローもありません

・フォローの電話なども兄弟(健常児)の担任は多くありましたが、支援級はほとんどありませんでした。

・今週から間引き登校(自主登校)が始まってますが、6月からはどうなるのかまだ連絡がありません。通常登校なのか、間引き登校なのかすらわかりません

・親としては準備やデイへの出欠席等予定が全く立てられない状況です。デイもお迎えの時間等予定を立てれないと言われてます。

・ステイホーム中も先生は学校に出て来ているのに、電話等でどう過ごしているかフォローもありませんでした。3月から外出自粛なのに先生が来られたのはGW明けに宿題の追加だけです。訪ねて来られた一回だけで、地域の他のお子さんの先生はマンションでよくあいました。

・オンライン事業もありましたが、よくわかりませんでした

## 大人の保護者より

### 1 親や本人感染した時の本人の処遇についての不安

・母子家庭親子二人でくらしています。もしも母親がコロナになった時にショートステイなど預かってもらえるのか？いつも使っている入所施設に聞いたら、難しいと言われました。

確かに入所の方を守らないといけないから、濃厚接触者の息子を預かるのは難しいのは頭でわかっていますが、もしもと思うと不安で眠れません(多数あり)

・使っていた事業所の利用者がショートステイした施設でクラスターがあり、事業所の利用を自粛しました。ヘルパーなど利用して散歩などさせてやれればと思いましたが、急に利用をすることが出来ずに困りました。

・もしも感染して病院の方に迷惑をかけたらと思うと心配です(多数あり)

## 2 通所先の時間や利用日数が減ったので困りました

・B型作業所である内職を自宅に持ち帰り、作業をする毎日になりました。結局母親と一緒に作業する毎日でした。

・確実通所になり、外にも行けないので本当に困りました。父母で休みを交互にとりましたが、職場の方には20代の娘の世話と言うのが理解できない方も多く困りました。

・作業所が午前中組と午後組に分かれて通所になりました。毎日通えたのでありがたいとは思いますが、10時のバスに乗せて13時に帰宅だったので私(母親)のパートを退職せざるえませんでした。

## 3 職場について

・4月からドラッグストアに就職が決まっていたのですが、職場から「今とてもお店が殺伐としており、暫く採用を延期したい」と言われました。確かに近所のドラッグストアでも怒号が飛ぶことがあり、知的障害の息子は不安になるので、在宅で乗り切りました(6月から採用になりました)

・仕事が全くなくなり(ホテル)毎日家にいる日々です。休業手当などはいただけていますが、何もない一日を一人で過ごすのが苦手なので、昼夜逆転になり仕事が始まったら不安でなりません。

・退職になりました。(詳しいことはかいてありませんでした)

・出勤が半日になり早く帰宅するのでとても困ります。

・通勤の時は公共交通機関を利用していますが、色々なところを触る癖があるので心配です。私が仕事をしているので送迎もできないので困ります。(知的障害の方の仕事は在宅ワークには向かないスーパーや清掃が多いので、この手の不安は多くありました。)

## 4 余暇が全くない

・他の方も一緒だから贅沢と言われそうですが、一人で何かを楽しむことができないので、地域の障害者レクリエーションや障害者教室などを楽しみに暮らしていいましたが、今

回すべて休止になったので、とてもさみしそうにしています。

- ・スポーツをするのが好きなのですが、全くできずに夜も眠れず困っています
- ・公園に散歩にいくと、多くの知的障害の方が散歩されていました。行くところがそこしかないんだろうなと思うと悲しくなりました。

## 5 地域生活など

・ヘルパーさんの感染予防のために、公共交通機関での移動ができなくなりすべてタクシー利用になりました。非常時にはありますけどいつもより月2万円くらい多くかかりました。年金だけで生活しているのでとても苦しいです

・グループホームで暮らす息子の通所先が半日なので、グループホームに13時くらいに帰ります。普段は15時から働いている世話人さんが1時から出迎えてくれますが、とても申し訳ないです。

社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会 副会長 親の会代表

善川 夏美(よしかわ なつみ)

障がい者福祉研究所 事務局 足高 様

## 新型コロナウイルス感染症に係るアンケート調査 (回答書)

法人名	(社福) 長野県社会福祉事業団
担当者名	中 村 勘 二
連絡先 (電話番号)	026-228-0337

## 【この2カ月間の事業所の状況等について】

<p>① 物資(マスク・消毒薬等)の状況 ※充足している 不足している等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マスク、手袋については、サイズにより不足している。</li><li>・防護服については常備しておらず、購入したいが入手困難であった。雨具やビニール風呂敷など代替品を検討したが、効果があるのか心配である。</li><li>・施設内で感染者が発症した場合、利用者の特性などを勘案し、施設内で療養せざるを得ない場合、かなりの物資の不足が予想される。</li></ul>
<p>② 経営上の問題点・課題等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・サービス提供者の感染等により職員の不足するケースが予想されるが、同一法人内での応援体制には限界があるため、地域内における他法人との連携に頼りたいが、現時点で体制の整備が整っていない。</li><li>・感染者、濃厚接触者の個室対応に限界がある。</li></ul>

## 【予算・制度等の要望】

<p>① 国へ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・速やかなPCR検査の実施をお願いしたい。</li></ul>
---

令和2年6月4日

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート（回答）

（事業所名）

社会福祉法人睦会 障害者支援施設 石上の園

（住所）岩手県遠野市綾織町新里 22 地割 132 番地

（電話）0198-60-1100 （FAX）0198-60-1102

（担当）生活支援係長 鈴木俊孝

<回答>

\*施設の体制として

- ・マスク、手指消毒とも在庫はあったが使用頻度が高くなり物資不足に困った。
- ・各団体等より、多種に渡る調査、アンケートが多く事務が煩雑になった。
- ・体験を考えた短期入所、実習など受け入れられなかった。

\*利用者の立場から

[入所利用者]

- ・外出制限により、町へ出かけることができない。物品の購入は職員が代わりに行うため気分転換もできず、イライラ、ストレスが募る。
- ・面会制限により、家族とのふれあひも制限され不満である。
- ・制限の必要性を理解できず、ただ制限されていると感じ、職員を敵視してしまう。

[通所利用者]

- ・自宅にいるため、出かけたこと等が入所利用者から羨ましがられ、責められることがあった。
- ・在宅による外出制限、手洗い、うがい、マスクの着用等、家族への一任であり支援の及ぶ範疇外の事項に対しては不安を感じた。

令和2年6月4日  
社会福祉法人島原市手をつなぐ育成会  
統括管理者 菅 敏洋

<事業所>

- ・通院支援や外出支援がキャンセルになり、見通しも立たないため、不安になってしまう利用者がいた。
- ・職員自身自分が感染していたら… と不安になってしまうこともあり、感染したらどうしたらよいかと心配。
- ・移動支援の際、自粛のため買い物等の楽しみにされているが支援ができなくなり、利用者もかなり我慢してくださった。他の楽しみを見つけようと思っても、買い物に代わるような案もなく、利用者にとっていい支援が行えているのだろうか。
- ・家族から、ヘルパーへ外出などはいつになったら行けるのかと問われるが、対応に困ってしまう。
- ・通院支援なども病院側の制限があり、家族のみでの付き添いしか認められず、家族にかなり負担もかかっている。
- ・訪問してからの支援を行うことも多いため、距離を保つことも困難であり、感染リスクは非常に高いと思われる。
- ・事業所で困ったことは、感染拡大防止のために必要なもの（マスク、手指消毒、体温計、体温計用の電池、スプレーボトル、ハンドソープなど）が手に入らなくなった。特にマスクは価格が高騰し困った。

<保護者からの意見として>

- ・県外の家族がいらっしゃる家庭で、帰ってこられなくなってしまったことで、不安になってしまう利用者もいた。
- ・障害のある方は感染後のリスクが高いため、不安になる家庭が多い。
- ・家族が感染してしまったら、本人さんたちはどうなるのかなどの心配も大きい。
- ・事業所次第では、利用ができなくなってしまうところがあった為、家族は仕事を休んで家で過ごすしか方法がない。
- ・家庭で過ごす時間で、何をして過ごして楽しんでもらおうかと悩んだ。
- ・保護者さんは事業所が休みにならないか心配されている。

55

令和2年6月4日  
社会福祉法人 大阪福祉事業財団  
障がい施設連絡会 代表  
豊里学園 園長 山中ひろみ

## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

### □問題点の概要

1. 感染を懸念する家族の負担と不安が大きかった。
2. 感染対策のため移動支援事業縮小したことによる影響とそれによる収入減。
3. 令和2年5月4日付の厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課からの事務連絡「障害者支援施設における新型コロナウイルス感染症発生時の具体的な対応について」において、軽症者等については入院しない場合があり、障害者支援施設を利用する障害者についても、この考え方は同様であるとされた。施設において衛生・防護用品の確保とともにゾーニングをおこない、医師、看護師等の応援派遣など外部の医療協力機関との連携により体制を整えるように示されたが、多くは現状の施設運営上、施設で衛生防護用品を整えることと、特に医療面におけるスタッフ体制確保をおこなうことは困難である。
4. 収入減少と支出増加による財政逼迫（ショートステイの受け入れ中止）
5. 感染予防のため、帰宅・外出（通院）・外部者出入り（業者・ボランティア）等の中止
6. 利用者の不穏
7. 在宅の方、グループホームへの対応で、主たる介護者などの同居人やヘルパー、支援員が「濃厚接触者」や「感染者」であった場合、もしくは本人が「濃厚接触」となった場合の支援。
8. 入所施設（障がい者支援施設）での対応  
感染者は速やかに入院できれば良いが、全員が入院できずに施設内でケアを受ける施設の報道があった。全国の障がい者支援施設では基礎疾患を持つ方をはじめ、高齢者や身体、内部障害を併せて持つ方が増加しており、若年での死亡率も高い。（令和元年度全国知的障害児者施設・事業実態調査報告書：公益財団法人日本知的障害者福祉協会）高リスク者も速やかな分離がなされていない。
9. 学校の臨時休校に伴う措置として、同じ状況の児童養護施設では日中職員体制を確保した場合の措置があるが、障害児入所施設は何の措置もない。

### □具体的事例

1. 高齢の母と重度の知的障害のある息子の二人暮らし。「普段でさえ調子を崩した時に入院させてもらえないのに、もし感染してしまったらどうなるのか。感染すれば、普段に増して大変な生活になる」との理由で緊急事態宣言後登所を自粛。

普段は月曜日から土曜日まで毎日登所し、作業所で入浴サービスを受けている。利用者が夜間あまり寝ないこともあり、作業所に通所している間がお母さんの休まる時間帯でもあった。3週間後、自肅は限界で登所を再開するも、母の不安は引き続きある。

■そもそも、障がい者の医療体制が不十分な状況にある。コロナの影響で、家族の抱える不安や実態が浮き彫りになったのでは。3週間もの間の家族の不安と負担は計り知れない。

2. 感染症対策のため移動支援事業を縮小した。その背景には、利用者が外出を控えることで感染リスクを下げるのはもちろんであるが、ヘルパーの自肅も影響した。

■ヘルパーの平均年齢は高く、高齢の方が多いのが現状。基礎疾患を抱えている方もおられ、感染には非常に敏感であり、仕事を控える方が多くいた。

それらの理由で事業を大幅に縮小した結果、自ら余暇をうまく過ごせない利用者のストレスに繋がり、イライラから他害行為に発展しそうになった。また、外出する機会が減ったことにより運動不足となり、体重増や体力低下につながっている。

事業所としては、普段の2割ほどしか収入がなかった。

3. もし万が一、施設に感染者が発生した場合、罹患者の入院隔離および疫学調査のうえ保健所の専門的見地から、ゾーニングと利用者の治療療養や施設内の日常支援に関わる助言がなされ、衛生・防護対応のもと感染症対策推進本部のスタッフ派遣など、しかるべき指導により、感染拡大防止に努めるものと理解していた。新型コロナウイルス感染症への入院医療提供体制への対応から、このような指示となったことについて理解できるが、各医療機関の現状はいうに及ばず、行政他関係機関と協議するとしながら、公的な責任の保健所の関与を後退させ、一定、施設の諸判断に委ねるかたちとなる事に不安が生じている。

4. 施設利用者、職員以外の出入りを遮断するために、ショートステイ及び日中一時支援事業も受け入れを4月13日から中止。4月～5月の2か月間は大幅な減収見込み。

5. 感染症予防対策に必要な消毒薬、マスクなどの備品・消耗品の購入、利用者家族への緊急文書の郵送料など、予算以外の支出が増大しています。

6. 定例的な帰宅や外出が中止になり、原因はコロナだとわかっているにもかかわらず、帰宅ができるようになるか不安で、見通しが持てずに、精神的に不安定で他害行為に及んでしまう場面が頻発している。

7. 障害特性により自宅、自室での待機が困難であり、個別に医療管理が行えない、グループホームなど生活様式上、完全に個別の暮らしが確保しにくい状況である。このような場面では医療と支援の機能のある「個別の対応が可能な福祉避難所」的なものが必要ではないか。(神戸市、堺市で在宅の方へ一部開始されています。)

8. 同様に早期の濃厚接触者の分離と対応が速やかになされるような「初期対応でき、かつ権限のある DWAT」のようなチームや動きが必要ではないか。また重度知的障害、強度行動障害を有する方の当施設への入所の現状から、在宅時に医療とのつながりが不足、あるいはなされておらず、いざというときの医療対応が困難な方も多い。日常的な「福祉と医療の連携」が必要。

9. 2月末より学校の臨時休校に伴って毎日、職員が必要としない日中の職員配置が必要となりました。ユニット化により必ず職員配置が必要な為、早出職員は2～3時間残り、遅出職員は2～3時間早く出勤、夜勤明けで2時間残る超過勤務が毎日続いている。

社会福祉法人 大阪福祉事業財団 障がい施設連絡会

54

事務連絡  
令和 2年6月4日

障がい者福祉研究所 御中

社会福祉法人 沖縄県社会福祉事業団

新型コロナウイルス感染症に係る福祉現場へのアンケートの回答について

みだしについて、当法人の障害者支援施設で主に知的障害者の方の受け入れを行っております北嶺学園の状況をアンケートの回答として提出いたします。

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

施設名：北嶺学園

問題点の概要	①外部受入休止に伴う収入減
具体的事例	①外部受入休止に伴う収入減 当事業所は知的障害者支援施設をメイン事業としておりますが、その他に短期、就労B型、相談事業、グループホームの事業を展開しております。 今回の新型コロナウイルスにより入所施設の利用者を守る立場から外部受入を制限又は一時的休止を余儀なくしました。 一部の事業（短期）に於いては、4月10日から5月25日までの45日間受け入れの無かった事で収入が大きく落ち込んだ。その他の事業においても一時的な休止を行った事で収入減となった。

53

<p>問題点の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緊急事態宣言後に通所系サービスでは、代替支援の内容について、各市と合意すれば、提供できる事務通知（令和2年4月9日付事務通知）において障害福祉サービス等事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて、示された。が、各市町の行政担当者によって温度差があり、各市町村ごとに同じサービスの臨時的な取扱いでも統一ができず調整することに負担があった。</li> <li>2. 障害者支援施設利用者及び支援員のストレスについて</li> <li>3. 愛媛県保健福祉部長からの事務連絡（令和2年5月1日）の内容「入所系施設で感染者が発生した場合についても、感染者以外の利用者に対してサービス提供することについて」</li> </ol>
<p>具体的事例</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入所系福祉サービスにおいて、多くが地元の市出身で地元の障害福祉係担当者と調整を行ったが、県内にある他市出身者が数名づつ存在する。その場合、臨時的取扱いに対して、地元の市では「在宅での支援を選んだ利用者には自宅に訪問し状況確認することで、出来る限りの支援をしたと認めてもらえる場合も、市外では実質、訪問時間を確保することが難しく電話等を中心に行うことを提案したが「不可」認められなかった。また、愛媛県の療育支援事業など、通知サービスの対象外だったサービスにおいては、具体的な「臨時的な取扱いを示してほしい」ことを要望したが、緊急事態宣言の期間中には対応してもらえず、今も宙に浮いた状態のままで、第2波、第3波が来た時に間に合わない危機感がある。</li> <li>2. 今回の件で屋外活動が困難になり、施設内での生活時間が長くなった。これに伴い利用者のストレスが増大し、精神的に不安定となり、他害行為や自傷行為が増加した他、物品の破損等の事例も増加し、通常の支援方法では対応が困難なケースが見られた。        また、職員(支援員)についてもストレスが貯まるとともに、肉体的な負担も増大しており、健康の維持管理が課題となっている。</li> <li>3. 福祉の入所系施設においては感染者が発生した場合、クラスターが生じる確率が高い。また、利用者・職員共に濃厚接触者となり特に入所施設に努める職員全員が症状はなくとも2週間の自宅待機となる見込みが高い。今回の国や県からの通知でも、法人の責任において、その間もサービス提供を継続することが求められているが、現場職員は余剰人員がいるわけではなく、小規模な法人では実質難しい。例えば、利用者・職員の抗体検査を事前に実施し、抗体があれば2週間自宅待機をしなくてよい職員を明らかにし、全員が自宅待機にならない体制を構築し、法人以外から最初の2週間は行政の責任で人材を派遣しサービス提供を維持する仕組みを考えて欲しい。</li> </ol>

令和2年6月4日

## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

施設名 社会福祉法人 城南学園所在地 山口県熊毛郡田布施町大字川西 1144 番地記入者名 内山昌晃電話番号 0820-52-2554

## &lt;困っていること&gt;

## ○感染症予防対策

- ・衛生用品（マスク、手指消毒用アルコール、消毒薬、防護服等）の確保に大変苦労しています。しかしながら6月に入り、これらのものも次第に流通が再開しています。予想される第2波では、また同じように入手が困難になると予想されますので、早いうちから備蓄をしようと思っています。

## ○適切な情報提供

- ・様々な機関から情報が発信されており、情報量が多く大変分かりにくいと感じています。

## &lt;不安に感じていること&gt;

- ・感染症が園内で発生した場合、残された職員で対応が可能なのかがとても不安です。
- ・感染症発生時は、残された職員で対応していくしかないのですが、対応に関する消耗品や時間外勤務手当の膨大な出費など、国や県からの補助があるのか心配しています。
- ・感染した利用者や職員の健康も心配ですが、残された職員の過重な労働負担による心と体の健康も心配です。
- ・長期間にわたる自粛により、利用者が不安定になることを心配しています。（帰省できない、外出できない等）

令和2年6月4日  
 社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団  
 奈良県障害者総合支援センター  
 施設部長 城垣 佳正（じょうがき）

## アンケートへの回答

<p>問題点の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保護者（親）の負担の増加等</li> <li>2 サービス支援費収入の減収による経営の不安定化</li> </ol>
<p>具体的な事例</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 当施設では、障害児療育の重要性から、新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で、受け入れを継続しているが、保護者の感染への不安感が払拭できず、登園を自粛されるケースがある。        また、保護者による個別送迎及び親子通園（親子一緒での療育指導）を行う場合、兄弟児が保育所や学校の休校・休園により在宅のため、当該障害児のみを連れて登園することが困難なケースも相当数ある。        このため、結果的に、保護者が在宅で終始子ども達の世話を行う形となり、負担が増加しており、障害児にとっても必要な療育が受けられない状況が続いている。</li> <li>2 前記1のとおり、登園自粛等により、利用児（者）数は大幅に減少しており、4月の一日あたり利用児（者）数及び収入とも、前年同月比で約7割余りに落ち込んだ。        5月も厳しい状況が続いており、感染防止対策に必要なマスクや消毒液等の出費も嵩んでおり、元来赤字体質である経営の改善計画を進めていく上で、大きな打撃となっている。</li> </ol>

『新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート』

- 厚労省事務連絡により、感染拡大防止の観点から在宅訓練へ切り替えた。これについてはもちろんやむを得ない状況であり仕方がない部分ではあることは十分承知している。その上で就労前の職業準備訓練提供施設としての観点では、以下の点が課題として挙げられる。

【施設内での訓練面】

- (1) 決められた時間までに通所し、決められた訓練スケジュールに参加することの積み重ねで、就労する上で一番基本となる生活リズム＝職業生活の確立及び維持をしてきたが、在宅訓練となり、決められた時間に電話をしたり、決められた課題を行ったりしても生活リズムが崩れた利用者がおり、再度生活リズムの立て直しからスタートしたケースがあった。

【施設外での訓練面】

- (1) 施設内訓練を在宅訓練に切り替えた段階で、予定されていた事業所見学や事業所体験実習はすべてキャンセルした。職員が利用者一人ひとりの訓練期間を考慮し、見学や体験実習を計画していたが白紙となった。今後、再度検討・計画していくこととなるが、事業所側のコロナウイルス対策や感染拡大の第二波を考えると、利用者それぞれの訓練期間を踏まえた計画的な見学や体験実習をスケジュール通り実施できるのか、今後も不安が残る。
- (2) 訓練期間（訓練等給付支給決定期間）が迫り、施設内訓練や体験実習を計画的に積み上げ、自信を取り戻し、満を持して就職に向けた取り組みを実施しようとした段階で、ハローワークへの求人検索や相談が難しくなり、そのまま在宅訓練に入った利用者がある。本人・家族にとっては期間が半年を切る中で就職活動ができないこと、また緊急事態宣言が解除となったが求人数が極端にないことへの不安感が募っておられる。

【訓練等給付支給決定期間の延長に係る行政の対応】

- (1) 上記施設内及び施設外訓練への影響を述べたが、これは就労移行支援サービスの性質上、『標準利用期間（最大2年）』が存在するため、職員はその期間内で利用者それぞれの課題を把握し、課題の改善に向けて支援を行うことと並行して、スモールステップで自信を付与し経験値を高めながら最終的に一般就労へ着地させる取り組みを行っている。障害福祉サービスの大前提は『幅広く利用を希望される障害者が同一にサービスを受けること』であり且つ、就労移行支援サービスは限られた支給決定期間であるため、最大2年の中の『1ヶ月』の在宅訓練となった時点で、コロナウイルスの影響を受けずに最大2年間サービスを受けた利用者と比較すると、『同一のサービスを受けた』とは言えないと考える。そのため、厚労省事務連絡では『標準利用期間を超えた後の支給決定期間の更新の取扱いについて、積極的に検討されたい』とあるが、行政によっては『今後どうなるか見通しは立てにくい』が、標準利用期間内での移行も考えていただきたい。また、事業所として、どれ位の期間が必要か。行政としては最大1年間延長しての

就職活動は想定していない。また、本人や保護者は「あと1年」延長してほしいと言われると思うが事業所としての延長期間を記載してほしい。』と回答されたケースがあった。これまで各項目で述べたように、標準利用期間内で十分なサービスが受けられず生活面や求職活動に支障が出ていること、なおかつ今後の見通しも不透明なことから、年度内に標準利用期間を終える利用者については、一律に支給決定期間を1年間延長していただきたい。その上で利用者・家族が安心感を持たれ、我々職員も延長された1年ギリギリまで訓練・就職活動するのではなく、その時々的情勢を見ながら、計画的に一般就労へ着地させる取り組みが行えればと考える。

#### 【一般就労へ移行した利用者】

- (1) 一般の方同様に、コロナウイルスの影響により丸々1ヶ月自宅待機を命ぜられたケースがあった。この方は、自宅待機1ヶ月後に出勤することとなったが当面は週1勤務となっている。この方の保護者からは、「生活リズムの維持を含めてどこか利用できる場所がないか」と相談があったが、雇用中であることから就労継続B型等の福祉サービスはもちろん利用できず、結局在宅で過ごされた。このようなケースの場合、特例的にB型利用ができるなどの措置があればいいと考える。

#### 【予算面】

- (1) 新年度予算でスタートした矢先に、計上していなかった新型コロナウイルス感染症対策にかかる経費がかさんだ。マスクや消毒液、手洗い用の石鹸はもちろんのこと、3密を回避するために作業室や事務室内に飛沫感染防止用の間仕切りを設置したり、床に距離をとるためにしるしをするテープを貼ったりした。その材料費が予想以上にかかった。
- (2) 在宅訓練を約3週間行ったが、その課題を2回に分けて郵送した。訓練生からはできた課題を送り返してもらった。課題作成にかかる用紙代や郵送費がかなりかかった。予備費を活用したり、他の費目を削ったりして対応しなければいけないが、想定外の出費は痛い。

49

令和2年6月3日  
社会福祉法人養楽福祉会  
事務局 総務課 藤森

<感染予防に関すること>

- ・感染予防のノウハウが少ない。ガイドラインがあると動き易い。いつもの生活と感染予防のバランスの良さが求められた。
- ・物品が不足して困った。非常食のように「マスク・防護服・フェイスシールド等」の備蓄が必要。優先的な調達や、備蓄する場合の費用の補助があると良い。
- 衛生用品(マスク、消毒液、ゴーグル、防護服など)の在庫確保が課題である。感染発生時、県、国からフォローがあるとの話はあるが、不安が残る。
- ・マスク、消毒液等の保有状況や必要量の調査が行政よりあったものの実際の支援は支援施設(入所系)が優先の感があった。消毒液に関しては通所も共通して必要なものと思われる。通所系にも少量ずつでも支給していただけると有難い。
- ・利用者への面会を制限していても、短期入所の受け入れをしていたため、感染経路の遮断が完全ではなかった。
- ・短期利用者(自宅に帰ることが出来ない利用者)の対応について、対応が明確になっていなかった。
- ・集団感染が始まった場合、どのような対応をすればよいかわからない。
- ・「高熱ではないが体調が優れない事が続く場合」、「濃厚とまでは言えないが接触の疑いがある場合」など、不要な自粛を無くしたり施設での感染予防のためにも、施設利用者・職員は優先的にPCR検査を受けられると良い。
- ・面会も制限しているが、段階的な解除を検討している。緊急事態宣言が解除された後の指標があると助かる。
- ・相談の面談を止めることはできないので、100円ショップ等で独自のシールドなどを用意し、面談を行っている。

<利用者支援に関すること>

- ・面会の中止、外出活動の自粛等、利用者の不安やストレス多く、普段より不安定な行動(他害、自傷、気分高揚等)がみられた。
- ・マスクの着用・手洗いうがい等、利用者にとって困難なこともあり、換気の徹底や環境消毒が精一杯。また、隔離を理解できず他者を接触してしまう危険性がある。
- ・職員が常時マスクを着用しているため、利用者が不安を感じマスクを取り破ろうとした。
- ・(居宅介護事業)知的に障害を持つ方にとって、①サービスの特性上、マンツーマンでの外出、②立地条件的に公共交通機関を使用しないと外出できない等を考慮すると、事業開始のタイミン

グが全くつかめない。①については、ソーシャルディスタンスを取れば問題はないが、癲癇発作や多動な方、他者へ他害をする可能性のある方へ対しては現実的には難しい。合わせて、マスク着用が難しい利用者もいる。②については、「ソーシャルディスタンスが取れない」、「マスク着用が難しい」場合、周囲からの視線等、ヘルパーの心理的な負担も大きい。またヘルパーに対する感染リスクも大きい。

仮に事業を再開し、万が一、利用者等が感染してしまうと、防止対策に対する社会的な批判や、グループホーム利用者への感染拡大、さらに通所事業所への感染の恐れもあることから、ワクチンや治療薬が開発されない限り、流行以前の体制に戻すことは実質不可能ではないかと思われる。

・利用が決まっていた生活介護事業所に、契約前土壇場でコロナウイルスの流行により期限を定めず受け入れを延期された。在宅生活が困難なままヘルパー利用も白紙、短期入所も利用できない(受け入れてもらえない)事態となった。

・利用している施設が閉鎖され、通所できない利用者がいた。

・本社がコロナウイルスの影響を受け倒産したことにより、就労継続支援 A 型もなくなり、新たに求職活動や仲介弁護士とのやり取りを支援したケースがあった。

・就労継続支援 B 型から就職できた方が、事業主がコロナウイルスの影響を受けたことで、採用が先延ばしとなっている(6 月いっぱい難しいと言われている)。

・特定相談支援事業所では、事業所が外部の受け入れを禁止しているため、モニタリング時に本人のご様子を確認したり、話を直接聞ける機会が少なくなり、電話等でモニタリングを実施したケースが多かった。

・障害児等療育支援事業の年間開催スケジュールが年度初めから延期、見送りとなっている。

#### <事業所・職員に関すること>

・緊急事態宣言により学校が休校や保育園の延長保育がなくなり、預け先がないため職員や家族への負担が増えた。また、人員不足になった。

・ケース会議等、話し合いができず先延ばしになっている事例がある。

・兄弟で留守番をしていた家庭は、分散登校が始まった事でバラバラに留守番しなければならぬケースもあり、休まざるを得ない職員が増えた。

・就労継続支援B型事業にて内職作業・リネン関連のクリーニング作業を行っているが、コロナの影響を受け徐々に仕事量が減ってきている。既に仕事がストップしている業者も何社か出てきており、今後の見通しが立たず悩んでいる。

・利用者数に対し必要面積ギリギリの状態であり狭く、新しい生活様式に対応しようとしても難しく、密の状態が続いてしまう。防ぎようがなく困っている。

・新規利用者受付を一時停止している。感染対策の為、ご理解ご協力を頂いているが、新規利用者のストレスとなっている。特別支援学校卒業生など、年齢超過しても現状は児童サービスを延期するなど、柔軟に対応してほしい。

・直接支援である為、テレワークには出来ない。

- ・夏・冬場、エアコン使用時期の対応が厳しい。換気のため空気清浄機があると良い。
- ・会議は控えているが、利用者支援に支障をきたすようになってきている。6月からは開催せざるを得ない状況だが、世話人の年齢等を考えても、オンライン会議などの体制には移行できない。
- ・ヘルパーステーションが殆ど機能していない為、移動支援を利用できないグループホーム利用者が一気に増え、職員体制に無理が生じてきている。職員の負担を減らす為、職員を増員させることもできない(密になる為)。
- ・当法人の移動支援利用者の大半はグループホーム利用者のため、ヘルパーステーションの職員がグループホーム内での支援を行うことは現実的には難しい(世話人・生活支援員という支援者が別に配置されている為)。
- ・現在の世話人の平均年齢が約66歳と高齢化が進んでいる。万が一、事業所内で発生した場合、世話人の家族にも影響が及ぶ可能性がある為、大半の方が勤務できないと思われる(事前アンケートは取ることすら難しい)。シミュレーション上では、法人内事業所間で協力体制を敷く形になるが、その際に行政の支援はどこまで期待してよいのか分からない(物的支援だけでなく、人的支援もお願いしたい)。
- ・連携を図るべき、ハローワーク、職業センターが緊急事態宣言により外出禁止となったため、連携がとれなかった。
- ・職場定着支援事業所が自粛したため、就業・生活支援センターに定着支援を押し付けてくることがあった。

#### <利用者家族に関すること>

- ・保護者や後見人等、面会を制限しているため、利用者の様子を見る事が出来ず不安に感じている様子だった。
- ・家族が感染した場合に利用者が過ごせる場所がないので不安を感じている。(本人も濃厚接触になる為、サービス利用に支障が生じる。)
- ・施設(日中活動系)で感染が発生した場合に、長期間自宅で過ごす事になると家族の負担が大きく不安を感じている。
- ・特定の利用者が、新型コロナウイルス関連のニュース等報道を見て不安になり、通所出来ていない。緊急事態宣言が解除され、自分の住む地域での感染者数が落ち着いてきているが、不安は変わらず通所再開の目途が立たない。保護者は通ってほしいと思っているが、本人が良しとせず困っている。
- ・体調不良の短期利用者をお断りしている。風邪症状とコロナの症状が酷似しており、症状がある時点で施設利用を断っている。利用者側も必要があって利用希望している為、トラブルとなったことがあった。
- ・特別支援学校が長期休校し、放課後等デイサービスも新型コロナウイルス感染の怖さから、ご家族が本人を外に出さず自粛する世帯もあった。
- ・特別支援学校休校中に、スケジュールや生活が大幅に変化し措置中の生徒が無断外出をした。

・ご家族が元々高齢化等で疲弊しているケースでも、短期入所などコロナウイルスを怖がり利用を自粛し籠ってしまい心配なご家庭が増えた。

<その他>

・発生した施設で勤務する職員へ危険手当を支給した場合の補助があると良い。また、職員が家族に感染させないよう宿泊所などへ宿泊した場合の費用の補助があると良い。

・新しい生活様式に対応していく為に、必要になる備品の購入と不要になる備品の処分に対する費用の補助があると良い。

・行政からの事務連絡文書がわかりにくい。内容・発信の仕方なども簡潔・明解にしてもらえると良い。

・第2波が来る前に感染時の対応想定をリスク管理で検討しているが、保健所等、専門機関からの指導、研修、準備マニュアルがあると感染時、被害拡大を抑制できると思う。情報が多すぎて整理しきれない。

・BCPを検討する中で、災害時の安否コールの導入(職員の情報共有、周知方法)を検討し、実際にトライアルも実施したが、国でも県でも ICT 助成金の対象にならず、予算化出来なかった。助成対象を広げてもらえるとBCPも進められる。

・処方のみで切り替えるなど、最低限の受診を行うようにしているが、未だに本人の受診を必須としている医療機関(皮膚科 ※慢性疾患による定期受診)もある。処方のみで対応できるよう医療機関側に対して更なる通知があると良い。

・就労中の方で、特に特例子会社が5月6日まで自宅待機を命じられた会社が多かった。

・市町の地域自立支援協議会等の集まり、協議がストップしている。今まで毎月集まる必要があったのか疑問。



問題点の概要	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 障害福祉従事者の負担について</li><li>2. 法人運営の不安</li><li>3. 利用者が混乱し困っている</li></ol>
具体的事例	<ol style="list-style-type: none"><li>1.<ul style="list-style-type: none"><li>・障害者支援施設など休業は出来ないわけだが、通常通り営業とはいかない。自社判断ではあるがスタッフを最低限配置に切りかえウイルス持ちこみの可能性を低下させる努力をしているが少ないスタッフで長期間支援を行っている状況から負担は大きい。</li><li>→通常の業務の他にこまめな換気・消毒・手洗いが含まれ入所施設などの大きさではかなり負担となっている。</li><li>・予防のためとか家族の発熱の場合なども勤務はさせないが補償がない。</li><li>・スタッフが事業所の都合で休業の場合になんとか 6割支払うがスタッフは生活が苦しくなる。(自社判断でもこの時期に関しては補填して10割になるとありがたい)</li><li>・3月の中盤に厚労省の福祉事業所窓口で電話相談して入所施設の場合の備えについて確認するといくつか助言されたが、そんなに悲観的に捉えなくても！というような言葉をもらい安堵したが、現状までの経緯を思うとそんな認識だったのかと怖くなった。</li><li>・現状ではまだ感染がないがクラスターを発生させた施設等のスタッフに対する風評被害情報を見聞きすると自分たちも同じようなことになるのではないかと大きな不安を感じながら業務遂行しているスタッフたちは多い。人に接することで成り立つ、またなければ生活ができない利用者がいることもご理解の上、全面的に国や県市町村の従事者へのフォローとしての様々な制度や発信をお願いしたい。</li></ul></li><li>2.<ul style="list-style-type: none"><li>・入所施設では外部からの接触を最大限削減し暮らしに最低限必要な支援のみで対応してきた。(少数のスタッフ配置) 当然スタッフを事業所の都合で休業させるのだから6割手当を支払うことになる。</li><li>・備蓄品の買い足しや防護備品等の購入もお金がかかるわけだが、条件的に無利子等の融資が受けられるとありがたい。日中一時・短期入所事業など3月～6月まで中止したことで報酬減となるが前年比でも5%減にはなっていないので融資(雇用調整金)の条件に届かない。福祉業界枠の融資のようなものがあるとありがたい。報酬給付費など2</li></ul></li></ol>

	<p>か月後に支払われることや感染防止に対する備えの拡大などではお金がないと微小な準備しかできない。思い切って用意することができれば不安も多少ちがうのではいか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・発熱スタッフが自宅待機となった場合など補償ない</li></ul> <p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループホーム利用者が定期的に移動支援をつかって様々な効果あるお出かけが可能であったが、やはり接触を可能な限り減らす観点から4～6月いっぱいまで中止と判断したが大変混乱をしている人や仕事への意欲が低下してしまった人もいる。(やはりコロナの意味がよく分からない人も多い)</li><li>・障害者支援施設の入所者が自宅外泊・面会中止等で会えないことで大混乱する人もいる。目に見えないウイルスの理解は本当に困難である。</li></ul>
--	--

令和2年6月2日

社会福祉法人平成会  
理事長 塚本 圭

## アンケート回答様式「事業所の立場から」

社会福祉法人平成会 1

問題点の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、作業収入が激減（就労継続支援B型）</li> <li>2、マスク、アルコール類が入手困難</li> <li>3、感染症防止対策による業務の増加</li> <li>4、施設外支援先の企業が、営業自粛により作業が無くなった</li> <li>5、マスク、消毒用アルコール、ハンドソープ、ペーパータオルが入手困難（グループホーム）</li> <li>6、何をどれだけ用意すればよいかわからない</li> <li>7、感染対策で利用者さんにストレスがたまる</li> <li>8、利用者さんに危機意識がない</li> <li>9、密を避けられない仕事がある</li> </ol>
具体的な事例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、コロナウィルスの影響で受託作業が昨年度比50%減収となっている。また、イベントの中止などが相次ぎ、自社製品の販売するチャンスが減少、売上も減少している。</li> <li>2、必要物品がすぐに入手できず、入荷待ちの物が多くある。</li> <li>3、諸事情により自宅待機、検温、来訪者の記録、消毒作業など、コロナウィルスの影響で通常業務ではない防止対策業務が追加になり、負担増になっている。</li> <li>4、施設外支援先(飲食店)が営業自粛により、当初見込んでいた収入が大幅に減少。 利用者たちも作業に行けず、不安な気持ちになっている。</li> <li>5、GHなので事業所側で準備する必要がある、ホームセンター、ドラッグストアなど毎日何回も見て回り、ネットでも毎日何度も確認して注文できればすぐに注文した。</li> <li>6、障がい者の特性から入院できない可能性があり、GHで看護することになった場合、何ほどのくらい必要かわからず手探りで購入した。</li> <li>7、普段との生活が変わり、イライラする利用者さんもいた。買い物は職員が同行して短時間で購入し、GHに戻り手洗い消毒を徹底した。外食は控えテイクアウトで気分転換した。</li> <li>8、マスク、手洗い、消毒、密を避ける、対面で大声で話さないなど、中には難しい利用者さんもいるため、常に声かけや介助が必要。</li> <li>9、入浴介助や排泄介助等で密を避けることができない。対人業務はリスクがある。</li> </ol>

社会福祉法人平成会 2

問題点の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>10、相談件数の大幅な減少（障害者就業・生活支援センター）</li><li>11、職場定着訪問ができない</li><li>12、障害者求人が4月2日以降、新規求人がでていない</li><li>13、今年度、計画通り事業が実施できない</li><li>14、登録者の今後について</li><li>15、職員の安全確保</li><li>16、衛生用品の不足（生活介護事業所）</li><li>17、日中活動の制限</li><li>18、利用者の販売活動の場所が減少（就労継続支援B型）</li></ul>
具体的な事例	<ul style="list-style-type: none"><li>10、昨年度は4月新規登録者11名、今年度4名で半減。</li><li>11、4月一般事業所への職場実習は0件。</li><li>12、一般求人はあるが、問い合わせるとコロナの影響で受け入れしていないとのこと。</li><li>13、在職者の交流会を年4回実施しているが、今年度は1回目、2回目は中止。</li><li>14、障害者が先に追い詰められないようにしてほしい。</li><li>15、積極的な企業訪問は控え、電話・メールにて情報提供している。</li><li>16、マスク不足が大きく様々な所から購入を試みるが、1箱当たりの単価が高く経費の負担が大きい。</li><li>17、日中活動の買い物・外出、行事の遠足など、実施が困難な状況にある。普段と違う生活の流れになり気持ちが落ち着かない。</li><li>18、病院内のスペースを借りて、商品の販売を行っているが活動休止の状況が続いている。緊急事態宣言は解除になったが、病院内での活動は再開の見込みが立たない。</li></ul>

<p>問題点の概要</p>	<p>19、新たな利用者を受入れることができない（宿泊型自立訓練）</p> <p>20、利用者の施設利用期限と地域移行の中断</p> <p>21、施設の活動制限</p> <p>22、外出制限によるストレス</p> <p>23、感染症予防に係る物品の購入が難しい</p> <p>24、売上の減少（就労継続支援A型）</p> <p>25、感染防止の対策</p>
<p>具体的な事例</p>	<p>19、利用希望者はいるが、体験利用の受入れを休止している(感染拡大防止)</p> <p>20、宿泊型自立訓練には期限があり、地域移行を勧めているがコロナウィルス感染予防のため他施設の見学や体験利用が中断。有期限であり利用者も不安・ストレスを感じている。</p> <p>21、施設での活動(自立訓練)で地域の社会資源を活用できるプログラムを組み入れているが外出自粛、制限をしておりストレスを感じている様子である。</p> <p>22、外出を制限していることで、買い物、休日の食料・嗜好品などの購入ができず、職員が代わりに買い物している。</p> <p>23、コロナウィルス感染予防に必要なマスク、消毒液、ハンドソープ等購入が困難である。</p> <p>24、外出自粛に伴い、消費が激減したため販売先からの注文が少なくなり減収となった。</p> <p>25、施設内や送迎車両の毎日の消毒作業に費やす時間が増えた。日常業務にさらに負担が増えた。食事の際、密接しないように注意しているが食堂が狭く間隔を取ることが難しい。</p>

令和2年6月2日

障がい者福祉研究所  
代表 足高 喜宣 様

社会福祉法人神奈川県総合  
リハビリテーション事業団  
福祉局長 村井 政夫

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケートへの回答

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご依頼いただきました標記の件につきまして、以下のとおり回答させていただきます。内容をご確認いただきまして、何かご不明の点ありましたら下記担当までお尋ねください。

## 1 問題点の概要

- (1) 体調を崩しても入院できない
- (2) 短期入所の受け入れができない
- (3) 施設入所利用者の外出、外泊ができない

## 2 具体例

- (1) 体調を崩しても入院できない

具合が悪くなり、施設での体調管理が難しいため近医に入院を希望し、いったん了解を頂いたが入院前の検温で微熱（37.3℃）があったため、入院できず帰って来た。

- (2) 短期入所の受け入れができない

当施設の方針として感染予防のため部外者との接触を制限することになり、短期入所の受け入れが出来なくなった。

- (3) 施設入所利用者の外出、外泊ができない

入所している利用者さんは感染予防のため原則外出・外泊が禁止されているため、ストレスが溜まっている。また家族も子どもと面会ができず「会わせて欲しい」という希望が上がっている。

問い合わせ先  
福祉局福祉総務課  
平山・藤本  
電話：046-249-2303

## 障がい者福祉研究所

### 「新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート」

- 新型コロナウイルス感染症の拡大及び対応が原因で、障がい児者とその家族、及び事業者の皆様が直面している問題点、困っていることなどを回答。

#### <事業所の対応>

- ・厚労省より連日通知文が届いていましたが、この量の通知文を読む時間が足りませんでした。通常時よりも支援上の配慮が多く、館内の消毒などの業務が増え、保護者や利用者への問い合わせなどへの対応も重なっている状況において、障害児者の生活を支えている私共のような事業所への負担は大きくなる一方でした。
- ・「事業所すべきこと」として最善は尽くしていましたが、消毒薬、不織布マスク、泡石けんの品不足には本当に困りました。手洗い支援では多くの方が全介助のため、また障害ゆえに何回もし直すことが難しいのが現状です。支援中の接触を少しでも減らすためにも、手洗いが不十分な方へは手指の消毒が欠かせません。マスクも同様です。介助中においては、身体的な距離が近づくことが避けられません。このため、マスクが欠かせません。泡石けんについても、手洗いが難しい方が、手の上で固形石鹼を泡立てることは難しく、固形石鹼を使いまわすことは避ける必要があります、泡石けんも欠かせません。
- とにかく、国が感染予防について指示するなら、これらの物品を迅速に配布していただきたい。

#### <感染者が発生した場合の対応>

- ・障害児者の方が、テレビで報道されているように「一人で入院」「家族の面会不可」はおそらく不可能と思われます。病院の設備や体制含め、最重度の障害児者が感染した場合の入院スキームを明確にしてほしい。(通知文では、短期入所などの施設を利用するとなっていますが、感染者を受入れできる施設は皆無なのでは。)(自宅で看護して、重症になっても入院できず、見捨てられるのではないかと疑わざると得ません。)

#### <その他>

- ・学校の休校などの連絡が遅く、対応に振り回されました。
- ・「自分が感染していたら」「自分から感染させてしまうのでは」と介助場面における職員のストレスは大きく、今後の福祉離れにつながるのではないかと不安があります。給与面での待遇改善はする必要があると思います。
- ・発熱以外の症状に対して、自覚症状を感じたり訴えたりすることが難しい方々(障害者に限らず)への支援の難しさを感じました。

令和2年6月1日

## 新型コロナウイルス アンケート

社会福祉法人 菊愛会

生活介護事業所 すまいる

橘 啓一

問題点の概要	①グループホーム利用者の外出自粛によるストレスと思われる問題行動が増えている。
具体的事例	<p>①生活介護事業2の利用者さんは同一法人グループホーム（GH）利用者7割と在宅利用者3割の方が利用され、ほとんどの方が重度障害者（平均区分5.53）でいらっしゃいます。今回感染予防対策として、GH利用者と在宅利用者との活動提供の場所・職員を分け（感染リスクの低減・クラスターによる生活介護事業の事業継続を考え）支援を行った。GH利用者は生活介護職員がGHに行き各棟で活動提供を行い、在宅利用者は現状の事業所にて活動提供を実施。</p> <p>通常であれば、GH利用者は日中帯生活介護へ行く・各自計画を立て定期的に行動援護やヘルパーを使って外出支援（気分転換）をされていた。しかし外出自粛により生活介護利用時の活動場所の制限やGH内で過ごすことが多くなった事からのストレスと思われる問題行動が増加傾向にあった。特に自閉症（変更・制限等の変化に対応が難しい）の方（自傷・他害行為・器物破損等）が著しく見られた。</p> <p>その行動に対応する職員も、慣れない環境での支援や感染予防と対策・問題行動の対応等により、職員のストレスや疲労が蓄積され精神的なダメージになろうとしていた。もし職員の欠勤や退職に繋がれば、職員配置や利用者支援、また活動提供等にも影響が出てしまい職員への負担増が懸念される。</p>

令和2年6月1日  
社会福祉法人 熊野緑会  
なぎの木園

## 新型コロナウイルス感染症による施設への影響について

### 問題点について

- ・マスクや消毒などの備品不足
- ・小中高の臨時休校による職員のシフトへの影響
- ・仮に感染者が出た時の対応や処置への不安
- ・利用者、職員ともに感染症対策で、不要不急の外出自粛のストレスが大きい
- ・支援を行う職員については、利用者と接触することが多く、ソーシャルディスタンスをとることができません。

### 対策について

- ・手洗いの徹底（外出後・食事前など）、手洗いの動画をみて正しい手順を確認しました。
- ・職員以外の外部との接触を減らしました。  
どうしても施設内に入らなければいけない場合は、消毒・マスクの着用・検温を行い一覧表に記入して頂いています。
- ・日頃以上の健康状態の観察を行いました。訴えの少ない利用者に関しては、検温の回数を増やすなど。
- ・職員の新型コロナウイルス感染症対策の徹底。出勤前の検温とチェック表への健康状態の記入をして職員の健康管理を徹底しました。マスク着用の徹底。不要不急の外出の自粛。職員の家族に発熱があった場合の報告、相談など。
- ・万が一感染症が発生した場合を想定して、看護師から対応方法を職員間で情報共有しました。感染症発生の場合に、職員の緊急用のシフトを決めていました。
- ・ドアノブなどの共用部の除菌の徹底。
- ・勉強会や研修、行事の自粛。
- ・新規利用者や県外の利用者のサービス利用の制限。
- ・厚生労働省、和歌山県、市区町村、保健所からのお知らせや重要事項については、職員に回覧し情報共有を行ってきました。また新型コロナウイルスに関する書類は、ファイリングしています。



Tomonari Ashitaka &lt;t.ashitaka1219@gmail.com&gt;

## (社会福祉法人悲田院) アンケートの回答

1 件のメッセージ

r-shinto@sawarakouseien.or.jp &lt;r-shinto@sawarakouseien.or.jp&gt;

2020年5月30日 17:32

To: social-welfare-lab@e-mail.jp

障がい者福祉研究所 (担当: 事務局 足高様)

[障がい者施設従事者の立場から]

(問題点)

施設入所支援を伴う障がい者支援施設です。緊急事態宣言が出される前から (3月～) コロナウイルス感染防止の為、

利用者様の外出支援や園外活動を自粛しています。約3カ月以上は施設敷地内から外出しておらず、家族との面会も

中止していることもあり、利用者様の中で心の不安定さを感じる方が出てきた。また、職員の日常生活についても行

動の自粛をお願いしている。当然のことではあるが一般の方々よりも強くお願いしているため、不満もあると思う。

報道でもあるように施設内にウイルスを持ち込まれたらクラスターが発生し、死者も出ることは想像できる。その為、

緊急事態宣言が解除されても引き続き自粛の対応を行っている。いつまでこういった対応が続くのかと精神的に参っ

ている。報酬に関して言えば、通所の希望者は在宅支援をされている方もいるが通所されている方もいる。施設入所

支援が母体であるため大きな減収はない。

社会福祉法人悲田院

早良厚生園

事務長 進藤竜一

 winmail.dat  
5K



Tomonari Ashitaka &lt;t.ashitaka1219@gmail.com&gt;

## アンケート回答

1件のメッセージ

うめの木学園 &lt;umenoki@po4.nsk.ne.jp&gt;

2020年5月29日 17:54

To: social-welfare-lab@e-mail.jp

障がい者福祉研究所 御中

いつも、議員連盟の皆様の勉強会の報告書を興味深く読ませていただいています。

アンケート調査の回答は以下のとおりです。

「法的な事柄はよく分かりませんが、現実問題としては、『施設内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応については、一法人で成し得る範囲を遥かに超えている』と思います。

まず備品について。必要な衛生資材は漠然とは頭に浮かびますが、具体的に何をどれ位準備すべきなのか、指針のようなものを国が明示してほしいと思います。もともと、マスクや消毒剤などは、どこの施設でも日常の必需品としてある程度備蓄しているものと思います。しかし、フェースガード、防護服などは、今までの感覚から言えば、普通の備品とは言い難いと思います。そのほか、当園でも話し合いをした中で、ゾーニングの際の間仕切り材、職員が寝泊まりする際の簡易ベッドや寝具など、コロナ以前には思いもなかった必需品について話題になりました。どれも騒動が発生してから手配したのでは遅いものばかりですし、経費の面でも予算の想定外ですので、何らかの公的支援が必要です。

もう1つの問題は、利用者支援をどうするのか。ワクチンが開発されていない、治療薬が確立されていない、治癒までに相当の期間を要する、重症化した場合激しい症状に陥り、死の危機に直面する等のことを考えると、そのようなハイリスクな勤務を職員に強制できるのか、という迷いに行き当たります。小さな子を持つ職員、老親を抱えている職員、基礎疾患を有する職員など、それぞれにそれなりの事情があるはずですが、それでも利用者を放置するわけにはいかない現実があります。他の法人への応援要請は論外だと思います。自法人の職員の勤務さえ躊躇されるのに、他の法人にお願いできるものではないし、なにより感染拡大のリスクが大き過ぎます。

行政の責任において、危険業務に対する補償、人員不足にならないよう人的手当など、まず方針をしっかりと示していただき、その上で事態に即応できる支援体制を早急に確立していただきたいと強く願います。」

石川県 障害者支援施設うめの木学園

令和2年5月29日

障がい者福祉研究所  
足高 様

社会福祉法人 槇の実会  
地域支援部 高安一弘

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

入所

- ・ 感染症対策のため、外部との接触を避けているが外出・外泊が原因で不穏になる利用者が少なくない。また、家族も帰宅させたいがいったん帰宅させても万が一の場合は家庭では対応が困難であるため帰宅等は延期している。
- ・ 新規利用相談に対して対応できない。

通所

- ・ 複数の事業所を利用している方については、感染症の導線となる恐れがあるためサービス利用については制限がかかっている。
- ・ 家族だけでは支えきれないため、保護者は閉所になってしまうのが不安である様子
- ・ 活動の変更や散歩等は少人数で実施
- ・ 利用自粛している方への臨時給付に関して、市町村によってバラつきがある。

グループホーム

- ・ 入所と同様

放課後等デイサービス

- ・ 特別支援学校・特別支援級と学校再開に向けて時間帯にバラつきがあり送迎等の対応に苦慮している。

職員

- ・ 常に感染原因にならない予防に努めているが、精神的にも身体的にも疲れが目立っている。
- ・ コロナの影響で自粛が必要であることを利用者に説明することの難しさがある。
- ・ 5月29日現在マスク・消毒等はだいぶ補充できてきているが、ガウン等今後のコロナ以外の感染症対策のため補充必要である。



Tomonari Ashitaka &lt;t.ashitaka1219@gmail.com&gt;

39

---

## アンケート回答

---

ドリーム甲子園 富銘 &lt;t.toumei@enshoukai.com&gt;

2020年5月29日 9:23

To: 障害者福祉研究所 &lt;social-welfare-lab@e-mail.jp&gt;

障がい者福祉研究所 御中

### アンケート内容

新型コロナウイルス感染拡大防止のため国及び都道府県、市町村から  
対策や通達がありますが、重複しているものが多く、分かりにくいです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時的なサービスの取り扱い（在宅支援）  
が認められましたが、事業所向けの発信が多く、そのサービスを実際に利用できる  
利用者への通達がなかったように感じられサービスの説明に時間を要しました。

どうぞ、宜しくお願い致します。

社会福祉法人 円勝会

ドリーム甲子園

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート  
知的障がい福祉サービス事業者の立場から

<p>問題点の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染症に伴う感染対策に関する費用が激増している。</li> <li>2. 相談支援従事者初任者研修やサービス管理責任等研修について感染予防対策として3密を避けるため、受講定員の削減が行われるのではと懸念している。</li> <li>3. 社会参加や余暇等について、新型コロナウイルス感染症のリスク回避のため不要不急の外出を控えている。</li> <li>4. 就労継続支援 B 型事業所で各イベントに使用する印刷業務が減少しており、平均工賃が前年度に比べ、減少する見込みである。</li> <li>5. 非常事態宣言解除後の利用もご家族の意向とは反対にご利用者が利用したがない状況がある。</li> </ol>
<p>具体的事例</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染症予防のため、事業所内の消毒やご利用者・職員はもちろんのこと、外来者等の健康管理チェックやマスクの着用や手指消毒に使用する消耗品の消費が激しい。また、商品不足からエタノールやマスクの価格も高騰しているが、ご利用者の安全・安心を考えれば、必要なものであるため、高価であっても購入している。そのため、支出が昨年度に比べ増大しており、経費を圧迫している。</li> <li>2. 障害福祉サービスを展開する上で相談支援専門員やサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者の配置が必要であるが、養成団体などが新型コロナウイルス感染症の予防のため、受講定員を削減して実施する動きがある。講師やファシリテーターなどのキャパの問題もあり、研修回数を増やすことは困難な状況がある。 そうすると、離職や人事の関係で相談支援専門員やサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者を配置することが困難となることを懸念している。</li> <li>3. GH の支援において、以前は集団や個別での社会参加や余暇等を企画し実施してきたが、3密を防ぐため、個別支援で買い物のみ</li> </ol>

の外出のみとなっている。ご利用者のストレスもあり、買い物等の回数を増やしていきたいが、以前の集団や個別での外出から個別のみで支援を展開している。本来であれば、個別支援中心とするためには、職員配置も厚くする必要があるが、限られた職員で回数を増やすことは困難である。

4. 新型コロナウイルス感染症の影響で、軒並み各イベントが中止または未定となっているため、印刷業務の受注量が減少している。これでは、ご利用者に前年度並みの工賃を支給することは困難である。

5. ご利用者のご家族からの利用控えにより、ご利用者の家庭での生活（引きこもり）が当たり前になり、非常事態宣言解除後の利用もご家族の意向とは反対にご利用者が利用したらない状況がある。このままでは、引きこもりが定着してしまうのではないかと危惧している。

令和2年5月28日

## 新型コロナウイルス感染症の対応が原因での問題点、困っていることなど

問題点の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者への負担</li> <li>2. 家庭への負担</li> <li>3. 職員への負担</li> <li>4. 感染予防用品の不足、費用の負担が増加</li> <li>5. その他</li> </ol>
具体的事例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ①施設外での活動が制限され、社会活動・経験の機会が減っている。 ② 施設内での生活の変化（「3密」を避けるための取組）や家族や職員の感染に対する不安感を感じとり等、利用者の気持ちが不安定になっている。</li> <li>2. ①5月の連休前後に自主的に通所を自粛した方が数名いた。 ②短期入所（ショートステイ）ができない状態が現在も継続している。</li> <li>3. ①施設内の活動に関して「3密」を避ける取り組みを行ったところ、新しい生活に慣れるまで職員の混乱が生じた。 ②業務量が増加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集と職員・家庭への情報共有するための文書の作成等</li> <li>・アルコール消毒の回数・箇所が増加</li> <li>・職員の欠席（学校の休校により出勤できない、家族に医療従事者が居り自主的に休む等）</li> </ul> </li> <li>4. 2月～4月頃はマスクが入手困難で職員個人に負担をかけた。最近になり流通が再開したものの価格が高いため十分に購入できない。アルコールは現在も入手困難な状態が続いている。手袋も同様。また、給食の食材も品切れが多い。「えっ、こんなもので・・・」と思うものが手に入らないことがある。</li> <li>5. 医療現場の職員の頑張りのみが評価され、介護の現場も頑張っているのに評価されないのが残念である。</li> </ol>

障害者自立支援施設たんぽぽ

四日市市西日野町 4070-1

TEL059-322-5567 FAX059-321-8561

問題点の概要	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 放課後等デイサービスにおける職員の配置</li><li>2. 施設入所支援における夜勤職員の確保</li><li>3. 厚労省からの通知について</li></ol>
具体的事例	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 放課後等デイサービスを利用している児童がコロナウィルスの影響で利用を控えることで、1日に利用する児童の数が安定せず、職員の数を調整することが難しい。 また、休校によって開所時間が長くなり、職員への負担が大きい。</li><li>2. 職員の発熱や風邪症状などによる体調不良でも、コロナウィルスの可能性を考慮して出勤停止の措置を取ることがあり、夜勤職員の確保が厳しい状況にあった。 特に、女性職員に関しては、学校が休校の影響もあり、休日などの出勤職員や夜勤職員の確保が難しい。</li><li>3. 厚労省からの通知が数多く届いているが、全て文章による通知の為、分かりにくく、読み込んで理解して周知するまでに時間を要する。 図などを使って、分かり易くしてほしい。</li></ol>

<p>問題点の概要</p>	<p>(千葉県障害者支援施設での集団感染事例の対応状況経過を踏まえて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県の状況を見ると、入所施設(GHも含めて)のような居住系施設に感染が広がった場合、当施設では職員の確保、利用者・職員(家族も含めて)の感染防止に大きな不安がある。</li> <li>・計画相談について、30年度の報酬改定で基本単価を押さえて、本来相談員がすべきことを行うことで加算算定ができるようになった。しかし、今回はこの加算算定が難しく、運営がこれまで以上に悪化の予想。計画相談が世の情勢に流されることなく安定的な運営ができることが必要と考える。</li> </ul>
<p>具体的事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人での対策会議の結果、居住施設内への感染防止のため、圏域(2市)内で感染者が出た場合は、外出・面会の禁止以外に、在宅者の入所施設への通所・短期入所、GH利用者の日中活動サービス利用の制限が必要、という結果になった。</li> </ul> <p>実際に圏域内で感染者が出たため、休業要請は出なかったが、自主的に上記の制限をお願いした。しかし、小さな圏域なので、代替えサービスも見つからず、長期に渡り通所利用者・家族、GH利用者には大きな不便・ご苦勞をおかけしてしまった(6月21日より通常営業に戻る：連休明け2週間に感染者・濃厚接触者が出なかったため)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一か所のGH世話人の家族が濃厚接触者となったため、当世話人も自宅待機してもらったが、他の世話人が感染の不安から休ませてほしいとの話があった。世話人の身分は非常勤職員であり、正職員がその間GHを専門に支援していた(現在は通常体制)。当法人が6か所のGHがあり、6か所が同様になった場合、代替えの職員の確保ができない。</li> <li>・計画相談の加算(サービス提供モニタリング加算)の算定は、本人に直接会って利用状況・生活状況の確認が必要だが、事業所での面会・出入り制限のため必要な活動ができなかった。</li> </ul>

令和2年5月27日  
 社会福祉法人 希望園

## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケートの回答

## 1. 事業所としての問題点

障がい者支援施設(特に入所施設やグループホーム等)において、新型コロナウイルスに対する対策は非常に難しいのが現状です。3密にならない様にと話をしてもそれを理解してくれる方が少ないこと、感染防止のためと言ってマスクを使用する様に支援をしても、中々思うようにしてくれなかったりと理解していただくのが難しい現状で、万が一にも一人の方が感染してしまった場合に、2次感染3次感染は当然のように起こると思います。もちろんそれに伴うクラスター感染も当然起こりうると思われれます。

一人が感染した場合に集団生活をしている状況では他者へ移してしまう危険性は高い。

会社は休みなさい、テレワークしなさいとの指示がある中で、同様に通所系福祉事業所は休むことも可能でしょうし一時休止する事も可能ですが(二次的被害はあるが)、生活している拠点を休むことは絶対に不可能です。高齢者施設も同様だと思います。(デイサービスなどは休止できます。)

## そこでの問題点

- ① 医療従事者(医師、看護師等)に対する施策はいろいろ話が出されていますが、絶対に逃げる事が出来ない福祉事業所に対する施策が、国や県、市町村から打ち出されていない。職員が感染した場合にどうすればよいのか全く予想がつかない。24時間支援体制を構築するのに、国からの指針は職員の特例的配置基準の緩和のみ。医療従事者の派遣が見込まれるのか、支援者の派遣が見込まれるのか等行政として、事業所側が安心して対応できる方針等を打ち出してほしい。

例…

医療体制の支援  
医療従事者の派遣  
支援者の派遣

## 2. 職員側から見た問題点

集団生活を送る施設において、自分一人が感染した場合には出勤停止すればよいが、利用者が感染した場合に医療機関への入院等の処置を可能にしていただかないと集団感染は免れない。

## 3. その他

新型コロナウイルスが施設内で発症した場合の風評被害の対応策を講じていただきたい。

- ① 誰もが感染したくて感染するわけもないが、感染したことによって周りから見られる差別的な言動などが起きないかどうか心配である。  
岩手県で感染者が出ない中で、第1号の感染者に対する誹謗中傷的な言動はやめてほしいと岩手県知事が話をしましたが、同様に山間地域では感染者がいない状況は岩手県と同じである。万が一にも職員なり利用者が出た場合に、施設関係者に対する非難の目があるのではないかと心配します。
- ② 絶対に逃げられない状況の中で業務に従事する施設職員は、ある意味医療関係者と状況的には同じだと思います。行政の障がい福祉関係機関よりマスクの寄贈はあったが、医療機関と同様に「消毒液、防護服、フェイスマスク、手袋、帽子等」の支給や購入の機会を優先的に対応できるように配慮していただきたい。  
感染者が出た場合の現状での防護服とフェイスマスクは常備していないため支援する際にどうしていいかわからない。(あるもので対応するしかないが…)

※私たちは利用者支援に対して一生懸命になって業務を行っております。例え新型コロナウイルスが蔓延しようとも、利用者支援を置き去りにした内容で取り組むことはできない。自分だけは感染しない様にと一人一人が自覚をもって生活している中で、責任ある行動を取っております。

不要不急の外出は避ける。3密の状況は避けるなど、自分だけではなく家族にも同様のお願いをしております。

どうか、障がい福祉関係者が安心して業務に従事できるような施策や方針を示してほしい。

令和2年5月26日  
社会福祉法人さわらび会 あかね荘

### 福祉現場に生じている問題について

#### 施設機能：障害者支援施設あかね荘（主に知的障害の方が入所している）

##### ご利用者様・ご家族様の視点

- ① 面会や帰宅が出来ない。（寂しさ、不安、不穏）
- ② 緊急事態宣言下において短期入所の受け入れ先がない。（入所施設の集団感染を防止するため緊急な利用以外は利用制限にご協力と言われている）
- ③ 自分の生活スタイルに合わせ、いろいろな施設を利用していたが感染拡大を防ぐため利用が限られている。
- ④ 活動内容が制限され（密を避けるため）今までの活動が出来ず不安・不穏になる。
- ⑤ 知的障害のため、状況がうまく理解できず、今までの生活を継続したいこだわりも有り不安・不穏になる。

##### 支援スタッフの視点

- ① 今まで通りの支援が出来ず、不安・不穏になる利用者への対応に苦慮している。
- ② 自分が感染源になったらというストレスがある。
- ③ 自分が感染しないため家族の生活にも制限をしており申し訳ない。
- ④ 学校が休校になり、子供の生活に不安を抱えて、でも休めないスタッフが多い。
- ⑤ 消毒や換気などの業務が増えた。
- ⑥ コロナの対策自体が未知なので、何をどうすればいいのか不安がある。答えがない中、スタッフそれぞれの価値観で判断するため職員関係がぎくしゃくする。

##### 看護スタッフの視点

- ① 障害者支援施設におけるコロナ対策について、医療職にむけての専門的なアドバイスがない中、事業所から判断を迫られることが多く辛い。
- ② 衛生用品について、何をどの程度準備すれば良いのか分らず不安。入手も困難で、値段も高騰している。
- ③ 発熱した利用者への防御措置も含め、コロナを前提とした対応をしなければならず業務が増えた。
- ④ 緊急事態宣言や感染リスクを減らすため、利用者の受診を控えており必要な検査等を受けることが出来ていない。（利用者がマスク等出来ず感染防御措置がとれないため）

##### 事業所の視点

- ① コロナ対策費（衛生用品の購入、隔離室の整備等）にお金がかかる。
- ② 利用を控えていただいていた間の収入減。
- ③ 集団感染を起こさないための対策で、職員が集団感染を起こさないよう勤務中の接点や休憩をずらす等の対策をしたいが職員不足で難しい。

令和2年5月26日  
社会福祉法人美光瑞園会 天心園

「新型コロナウイルス感染症が原因で、福祉現場にて生じている問題等に関するアンケート」

---

- 外に出ることができず、精神科、内科に問わず通院できていない。また、買物等にも行けず利用者さんが落ちつかず不安定になり、暴力、奇声、飛び出し等の行動が増えている。
- マスクや消毒液等注文してもなかなか入ってこず、十分な対応ができない。
- 利用者さんが通所できず、家族への負担が増している。
- 家に帰省すると新型コロナウイルス感染が治まるまで施設に戻ることができない。しかし、家庭では次第に暴力などがあり生活していくことが困難な状況に陥る。
- 施設や病院を退所、退院させられ行き場のない利用希望者の受け入れができない。そもそも、見学ができない。

**【新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート】****1. マスク・消毒液・トイレットペーパー・ペーパータオル・ビニール手袋の不足**

マスクは市からの寄付もあり、現在は落ち着いてきたのですが、その他の物に関しましては、手に入りにくい物や高額になってしまった物、個数制限で十分な量を確保出来無い物など、現在も入手に苦労しております。

取引業者であっても購入が出来なくなってしまった為、職員がドラッグストアなど何店舗も回り購入しています。又、物品の価格もかなり高額になってしまっている物もある為、費用もコロナウイルス発生前と比べて、かなり高額となっております。

**2. 定期受診の病院の制限**

毎月の歯科や内科などの通院も感染のリスクの軽減の為、代理受診や受診を制限しております。その為、薬の細かな調整や治療の中断など、ご利用者に不都合が出ております。

又、受診出来たととしても、拘りからマスクの着用など出来ない方もいらっしゃる為、感染のリスクを伴いながらの受診となっております。

**3. 活動や行事の制限**

公園での清掃活動や、毎月の外出行事等、感染リスク軽減の為、3月より控えております。それに伴い、ご利用者の生活も以前のようなメリハリをつけることが難しく、その事が原因で不穏な状態になってしまう事例も少なくありません。

現在活動は施設内で行えるもののみ実施となっている為、正直ご利用者の生活の質が落ちてしまっております。

**4. 帰省の制限**

上記の活動と同様に3月より、帰省も中止させていただいております。その為、ご家族の方も会えず、寂しい思いをされている方が多いです。又同様にご利用者もその事が原因で不穏になってしまう姿が多く見られています。

又、本来は保護者が用意していただいている衣類や嗜好品なども、一部担当の職員が購入しに行く等、業務の負担も出ております。

令和2年5月26日

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート（回答）

【神奈川県立中井やまゆり園】

**問題点の概要**

- ① 入所者の感染リスクを下げるため、やむを得ず新規の利用者受け入れを中止し、当園の短期入所以外に利用サービスがない方のみ受け入れとして体制を縮小している。そのため、在宅で過ごす家族に心理的・身体的に負担が増えている。
- ② 在宅で障害者と同居する家族が、新型コロナウイルス対策で通勤・通学ができず家にいることが多くなった。ストレスを溜めた家族による障害者虐待が発生している。
- ③ 感染防止のため、やむを得ず入所者の面会・帰宅・家族との交流、行事やイベントを中止している。中でも、楽しみにしていた帰宅ができないことを理解できず混乱する利用者が出てきている。

**具体的事例**

- ①
  - ・ 他施設も併用して週末や連休に短期入所を利用していたが、新型コロナウイルス対策で相次いで施設が受け入れを中止。GWや週末も母一人で面倒を見続けた結果、もともと痛めていた母の膝は再手術が必要な状態にまで悪化してしまった。
  - ・ 家庭で重度の障害がある兄弟2人を養育しているが、父は疲れてくるとどうしても兄弟に手を上げてしまうため、負担軽減のために定期的に短期入所を利用していた。しかし新型コロナウイルス対策で相次いで施設が受け入れを中止、父の負担が一層増えてしまったため、父からの身体的虐待につながる恐れがある。
  - ・ もともとあてにしていた利用先が新型コロナウイルス対策で利用できなくなり、障害特性上新しい場面に慣れにくい在宅障害者の、新規利用受け入れが難しくなっている現状がある。
- ② 新型コロナウイルス対策で休校となり家にいることが多くなった甥が、障害を持つ叔母に対し殴る・蹴るなどの暴力を振るい始めたため、行政から一時保護依頼があった。
- ③ これまで定期的に帰宅していた利用者が、新型コロナウイルス対策で帰宅が中止。重度の障害により理解することが難しいため、暴れたり眠れなかったりと不安定な状態になることが表れてきており、日常生活へ支障が出始めている。

令和2年5月27日  
にじと風福祉会  
理事長 吉野眞里子

## 新型コロナウイルス感染禍に係るアンケート回答

1. 実施主体 障害者福祉研究所（送付先）

〒299-0202 千葉県袖ヶ浦市林 437-1

TEL 0438-38-6110 FAX 0438-38-5610

Email social-welfare-lob@e-mail.jp

2. 期日 令和2年6月5日（金）

3. 設問

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大及び対応が原因で障害児者とその家族が直面した問題点困っている事
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大及び対応が原因で事業者が直面している問題点、困っている事

4. 回答 自由記載

3-①

【障害児、家族が直面した問題】

① 急な休校措置

●本人に対して休校になる事。

その事由となる事の直接説明が学校からなされなかった。

期限の提示も無かった。

延長になった時も無かった。

●休校期間中のフォローがなされなかった。時々電話のみ

●学習課題についての提示は5月連休明けに文科省から事務連絡が出てから出た。

●放課後デイサービス事業所に補完事業として期待されているのであろうが協力依頼なし。

障害福祉と教育関係の更なる連携の事務連絡が少なくとも2回は出ているはずだが具体的な方策を具体的に指示しないと文科省、教育委員会は判断できない。

●家族に対して長期間（3ヶ月）の在宅で、普段は早朝から学校、その後夕方まで放デイが月～土まで続く生活に慣れているので、子どもと24時間向き合う事象への不定愁訴が多く虐待ネグレクトの心配があった。

虐待通報に対する拒否感から回避された。反面保護者子どものストレスが増大した。

子どものQOLが低下した。

●短期入所先からの利用自粛依頼に拠る預かり先がない（特に強度行動の児童）

●社会的セーフティーネットを担う保護者（医療職、介護職、物流販売職、ライフライン従事者）のお子さんは放デイが預かりを実施したが感染リスクの高いお子さんなので事業所のストレス増大。保護者の中には雇い止めが複数出た。

単身世帯は収入が減少した。

●特別定額給付金の配布決定が遅いので生活が困窮してきている。

【課題】

- ① 子どもに対して説明責任をはじめる時にすべき（子どもにだって人権はある）
- ② 親に対しては休校措置、休業要請をするときに【期間】【実効的金銭的措置】【緊急時最終の預かり先提示】は同時にすべき。要請と保障は同時に発出する
- ③ 養育者感染時の子どもの処遇、預け先の、感染による閉所時の最終受け入れ先いまだに出てこない東京都のみ返答あり。

【事業所が直面して問題課題】

- ① 放課後デイのみ介護給付費が実利用者が減少しても保障された。  
他の通所事業は保障されない（居宅、児童発達、就労系、生活介護、短期入所、日中一時、移動）  
代替サービスというものができて事務量が増大した。  
市町村により取り扱いや書式がバラバラ  
それでも1事業所辺り10パーセント以上の減収になっている。
- ② 預かり時間が長時間になった。
- ③ 勤務できる職員数が減少し少ない職員で長時間にわたる勤務の上に事務量の増大により疲弊が著しい。
- ④ マスクや消毒薬が枯渇した。  
市町村が独自に無償で調達し配布してくれた。
- ⑤ アベノマスクやその前の事業所宛マスクの配布は無用でそこにかかる経費を事業所の減収補填や介護職への手当てに当てる施策のほうが有効。
- ⑥ 介護職の離職が増加した。身体重度医療必要な利用者へは命の問題  
【全体】  
児童の通所事業所としての問題点課題のみです。
- ① 全体的な行程表を始に示す。  
この感染症の特色を正確に情報として周知する。  
要請措置に伴う保障措置を同時に出す。  
位のことはして頂きたい。  
子どもが次世代を担い解決していくのであれば子どもに対する措置、処遇を明確に示して欲しい。
- ② 千葉県に対しては、事務連絡を流すだけでなく千葉県として各市町村宛各事業宛に千葉県としての統一された見解だけでも事務連絡は流して欲しい。  
何度お願いしても出てきません。
- ③ 今後防災訓練のなかにコロナウイルス対策も含めた指針を作り周知し実際の訓練も行って欲しい。
- ④ 通所事業所は1つ1つが感染したときには療育先として機能しません。グリーンゾーンとレッドゾーンに分けられない。放デイだけの問題ではないと思います。  
その時の方策を2波がくるまでに示して欲しい。
- ④ 休業要請が出、学校が休校になった時点で保育園、学童が閉所になった時点で放課後デイサービスにはなぜ臨時休業の指示が出なかったのでしょうか。

24

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

令和2年5月21日  
〒640-1162 和歌山県海南市上谷777-1  
障害者支援施設 太陽の丘  
電話073-487-4352  
FAX073-487-4843  
メール taiyounooka@aoikai.or.jp

<p>問題点の概要</p>	<p>①物資が入手できない。 ②障がい者の家族への負担増が想定される。 ③利用者の生活制限がある。 ④事業運営に影響がある。 ⑤従事者の生活制限がある。 ⑥行政からの通知について</p>
<p>具体的事例</p>	<p>①マスク、ゴーグル、手袋、フェイスガード、防護服注文受付されな い状態が続く。 ②当事業所、新型コロナウイルス対策にて短期入所事業休止。入所されている方の家族には、面会、帰省中止。 ③利用者の方は外出（通院以外の外出）中止、保護者の方面会、帰省中止、対外行事中止、施設内行事内容変更（外部業者に 依頼していた分の取りやめ）、マスク在庫確保のため当番（配膳） 中止。 利用者発熱時への対応を感染症対策に切り替えにより、行動制限期間延長。 発熱時における通院が新型コロナウイルス対応により、保健所・医療機関と相談の上、通院見合わせとなるケースが増え、体調管理に不安が出ている。 ④入所施設故に新型コロナウイルス感染の可能性を抑えるため、短期入所事業を中断。濃厚感染、感染への対応物資（マスク、手袋）価格高騰したが必要にかられ購入。及び通常購入しない噴霧器・ビニール袋（防護服用）・使い捨て食器・レトルトお粥・足踏み式ゴミ箱・消毒薬購入・自立式テント、運営面での負担増大。 ⑤新型コロナウイルス対応において、生活において移動・集会等外出に関わる部分での自粛が従事者の生活を侵食しているばかりではなく、従事者の家族に就学児童、介護者がいる際、就学先や介護サービス自粛により従事自体に影響が出ている。 また、事業所として従事者に対し同居する家族の不調が従事に 関わる処置を執っている。 精神面において入所施設故に、より一層従事者に制限がかかり、生活自体を制限しており、感染に関し日頃から医療従事者と同様配慮しているため、疲労が蓄積している。医療従事者でよく取り上げられている差別もある。感染しようがしまいが終息に向けて日常の再構築をしていくが、長期化している今従事者のバーンアウトが心配される。 ⑥新型コロナウイルス対応についての行政通知、国、県とあり、制限 度高い、低いがあれば高いに沿っておこない、アドバイザー的に保健所と連携させてもらっていますが、感染しているを基本に据え対応をするに当たり、考えた時密接なアドバイザーが必要です。</p>

27

令和2年5月25日  
特定非営利活動法人  
知的障害者就労継続支援B型事業所  
トゥッティフォルテ

【問題点の概要】

1. 就労継続支援B型事業所が在宅支援をした場合、支出が多くなってしまいます。
2. 運営している店舗が軽症者受け入れ施設内にあるが、補償がない。
3. 県からの通知が分かりづらい。

【具体的事例】

1. 4月13日から、就労継続支援B型事業を在宅支援に切り替えている。グループホームに入居されている場合、グループホームが請求できる「日中支援加算」と就労継続支援B型の給付費が重複してしまうため、按分するように国から通知が来ており、グループホームへ一日の給付費の50%相当額を渡すために金銭的に大きな負担になっている。問題点2と重複するが、現在売上が利用者の工賃になる店舗が閉店しているため、給付費から工賃を捻出している。その他にも在宅支援のために織り機や材料などを配送するための配送料、スタッフへの休業補償など出費が多くなっているのに、按分をすることは就労継続支援B型事業所への大きな負担となっている。  
実際に日中に支援しているグループホーム事業所、そして体調確認をし、作業の指示を出している就労継続支援B型事業所へは重複する形になるがそれぞれ給付費・加算を算出すべきだと思う。
2. 当事業所は比企郡嵐山町にある国立女性教育会館内にフェアトレードショップカルテットを運営している。そこでは世界中の国々から手工芸品・食品を適正価格で仕入れ販売することで、弱い立場にある方たちを応援している。さらにそこでは当事業所や地域の障害者施設で作られた授産品を販売することで、利用者の工賃に充てている。6月から8月まで国立女性教育会館が新型コロナウイルス感染症の無症状者・軽症患者の受け入れ施設として使われることになった。しかし5月25日現在、埼玉県から補償の話は一切なく、電話で問い合わせたところ「1階は患者が来ないところなので普通に営業できると思っています」という認識だった。しかしながら門扉は完全に閉められ、一般の方は一切立ち入ることが禁止されている状況であり、このような状況で店舗運営が出来るわけがなく、とても困っている。緊急事態宣言が5月25日に解除されたが、私たちの店舗は8月いっぱい閉店を余儀なくされるので、きちんとした補償を求めたい。
3. 県からの通知は全て厚生労働省が都道府県・指定都市・中核市の障害保健福祉部主管部(局)に送った通知をそのまま使用しており、大変読みにくいものになっている。以前の

勉強会で木村義雄先生が省庁のレトリックはわかりづらいと仰っていたが、全ての事業について記載されているので自分の関係する部分を探すだけでも一苦勞である。また、添付ファイルにパスワードが付けられているが、パスワードがたいてい「saitama」であり、メール本文中にも丁寧に「パスワードは saitama です」と記載されているため、パスワードの意味を成していない。



26

## 新型コロナウイルス感染症が原因とする福祉現場への影響に関するアンケート返答

1件のメッセージ

suginoki@palette.plala.or.jp <suginoki@palette.plala.or.jp>  
To: social-welfare-lab@e-mail.jp

2020年5月25日 13:28

この度封書にてアンケート依頼を拝見しました。何かのお役に立てば幸いです。

本法人は、定員20名の小規模な知的障害者通所生活介護事業所です。支援程度区分の5・6の方が大半で、内部疾患を抱えた方、気温の変化や体調によって、体内に熱をこもらせる方が多くおられます。この様な方が、新型コロナウイルス感染症騒動に巻き込まれることになり、日々心休まることなく、発症しなければと願うばかりです。ワクチンや特効薬を早めに開発してもらい、安価又は助成で、皆予防接種ができる態勢ができれば、安心できるのですが。

## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響

## ① あの人は大丈夫？

市内総合病院にて新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生。一利用者の保護者がお勤めで、担当病棟が近かった為に、PCR検査を受ける。保護者が陰性と判明し、濃厚接触者の本人も陰性であった。障害福祉課に問い合わせを行うと、念のため14日間は在宅で支援をとの返答。10日過ぎた頃、市長の指示が間違っていたと会見発表したが、障害福祉課は、変更しなかった。病院勤務の保護者は、判定を受けて4日間休んだが、5日目から通常出勤した。家庭で本人を見るのは、年若い祖母のみ。祖母は、市長の記者会見で、通っていたデイサービス先が通所を了承したので11日目から利用を始めた。祖母不在の日があるので、通所できないが保護者からの問い合わせと行政の頑なな14日間という指示で事業所は板挟みになった。

同時期に、他の利用者の保護者から〇〇さんは大丈夫でしたか？感染が心配なのでしばらく休みます。と2件ほど連絡があった。コロナ関係の話は全て施設長に回す様指示を出していたので、説明し訪問支援に滞り着けることができた。

職員の一部は、過剰に反応し、陰性と判定を受けているにも関わらず、訪問することを拒否する職員が出る始末。コロナ感染症について、職員研修を行うきっかけとなった。

## ② 衛生用品物価高騰

小規模事業所のため、在庫してある衛生消耗品は、1ヶ月しか持たず、慌てて注文をかけたが時遅く入手できなかった。アルコール系の消毒薬が市場から消えたので、キッチン用・トイレ用・工業用で代用した。マスクについては、市からの配布があった。現在、職員は使い捨てのマスクを洗浄殺菌して再利用している。また3月末には、コロナ感染対策で購入した物品の物成もあった。その後の助成はない。

## ③ 情報に踊らされる

PCR検査、抗体検査、抗原検査、ワクチン、特効薬全て100%のものがない。もしかしたらOKかもしれないが、ダメな時もある。つまり、インフルエンザの様な共存はまだ先のことでありながらも関わらず、「終息」という言葉に踊らされる。施設内外行事の見通しが出ない。あやふやな情報でなく根拠に基づいた確定的な情報が欲しい。

社会福祉法人 杉の木会 杉の木園 酒井  
suginoki@palette.plala.or.jp



## アンケート回答

緑星の里 井川 <katsuhiro\_igawa@ryokusei.or.jp>  
To: social-welfare-lab@e-mail.jp

2020年5月25日 11:43

多機能型の障害者支援施設です。

- 【十分なマスクの提供が出来なかった】

マスクが手に入らず、入所利用者に関しては マスク配布せず、職員も1枚のマスクを数日間使っていただくような体制となってしまった。職員の中には自分で作った布製の手作りマスクを使用しているものもいた。

- 【利用者の皆さんの外出自粛によるストレス】

緊急事態宣言後、すべての行事、外出を取りやめたが、買い物など自由に行っていた利用者さんはストレスがたまり、情緒的に不安定になる方もいた。

施設内の備品の破損や利用者間のトラブル、自傷行為なども多くなっていた。

- 【生産活動の収入減】

日中活動は通常通り実施していたが、委託作業、持ち込み作業がコロナの影響で仕事の依頼、量が減り、収入もダウンしている。



社会福祉法人 緑星の里

障害者支援施設 永光

支援課長 井川勝博

〒059-1365

北海道苫小牧市北栄町3丁目11-3

TEL0144-55-5621

社会福祉法人明徳会チャレンジめいとくの里

問題点の概要	1、障がい者の家庭への負担が増している。
	2、職員の毎日の業務が感染対策防止で煩雑になっている。
	3、就労系の中で、就労移行支援事業や就労定着支援事業などは、利用者や企業の関係もあり、適時、適切に対応が必要で、テレワークだけではできない支援もある。
	4、小中高校、特別支援学校などが休校になり、さらに、地域の放課後児童クラブ（学童保育）や放課後等デイサービスの利用中止または利用制限などがあり、職員の中には、勤務を休まざるを得ない者もいる。
具体的事例	1について
	・入所施設で週末帰省される方の行動制限を家族に依頼することが多くなった。ただし、自閉症スペクトラムの方はルーティンを変更することが苦手なので、できる範囲でお願いしている。
	・短期入所の要望が多いが、外部からの感染防止のため中止している。
	2について
	・出勤前に体温測定、施設に入る前に消毒、出勤後ただちに体温測定・記録、定時の換気、定時の施設内消毒、支援ごとの手洗いなど。コロナウイルス感染前に比べ、業務が多くなっている。
	3について
	・関係者が直接会って話し合うことが必要なケースや企業との関係で実習を遅らせることができないケースもある。その際は、きめ細かな感染防止策をとりながら実施せざるを得ないことがあった。
	4について
	・日中の業務をパート職員が担っている部分が多く、学童保育も、放デーも医療職や介護職は利用しやすい状況はあるが、学童保育や放デーでは利用学年の制限や事業所そのものを閉鎖されるところもあった。



## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

1件のメッセージ

kokoromi@cocoromi.or.jp &lt;kokoromi@cocoromi.or.jp&gt;

2020年5月24日 19:03

To: social-welfare-lab@e-mail.jp

障がい者福祉研究所；ご担当者様

お疲れ様です。

以下、障害者入所支援施設の職員という立場で、困っていることを挙げさせていただきました。

よろしくお願ひします。

## 【問題点の概要】

1. 施設内で感染者を出さないための精神的なプレッシャーとの戦い
2. 防護服の入手が不能・消毒薬やマスクの入手が困難。
3. 入所利用者のかかえるストレスへの対応
4. 短期入所者や通所利用者の受け入れに対する不安
5. 外部からの訪問者に対する不安

## 【具体的事例】

1. もしも自分がウイルスを持ち込んでしまったら？ 障害支援区分が5や6の人たちばかり、しかも高齢者が強度行動障害を持つ人たちが利用者という入所施設で、もしも一人でも感染者がでたら、利用者も職員もほとんど感染してしまうことが予想される。そうなったらどんなにか大変か。これまでもインフルエンザやノロウイルスの感染を経験している職員は、本当にそのことを恐れている。まして治療薬がないことや、無症状だけれど感染している場合があること。潜伏期間が2日から14日とかなり長いこと。抗体ができるまで2週間以上かかっていること。さらに2週間以上経っても抗体ができない人がいることなど、やはり常勤・非常勤に関わらず職員はかなり不安を募らせている。最低でも自分が感染者にならないようにと本当にいろいろなことを我慢して、それぞれ家と職場と食べるための最低限の買い物という日々を送っている。散髪や体調コントロールのためのスポーツジムや医療機関へ行くことまでも、我慢している職員もいる。さらには、自分がいくら気を付けていても家族が感染する可能性もあるわけで、そうなると職場を休まなければならなくなり、その分の負担がそうでなくても人手不足の現場に及ぶことにもなり、それも大きなプレッシャーとなっている。こうした福祉の現場で働く者として当然のことと想ってくださっているからなのであるが、ひたすら耐えて怯えて暮らす日々が続いている。このくらいなら大丈夫ではないだろうか？ そんな個人個人の価値観の違いが、時には職員間のいざこざにまで発展することもある。そこへ追い打ちをかけるように最近の感染者の傾向は、感染経路がつかめずに感染が拡大するケースが続出している。果たして自分は本当に大丈夫なのだろうか？ そんな心配だけでもとりのぞけるように、こうした福祉施設に働く職員は優先的に検査を受けることはできないのだろうか。

2. 最近『もしも施設内で感染者が出た場合』という情報が厚生労働省から出されたが、そこに当然のように書かれている防護服は今全く手に入らない。2月にコロナウイルス騒ぎが始まった時、インフルエンザの心配もあるので熱を出した利用者の看護にあたる職員が使用した切り、在庫が無くなってしまった。注文しても入ってこない。使い捨てマスクはいつもの10倍くらいの値段で購入できてはいるものの、このままではどこまで費用がかさんでしまうか心配だ。布のマスクを職員や保護者が縫って送ってくれたりしているが、布マスクの防御性能はウイルスが蔓延したら効かないと言われている。消毒薬もしかり。今のところ手に入っているのはいつもの10倍の値段になっている。これも元の値段で優先的に回していただけると有難いと思う。

3. とりあえず施設内にいけば、職員が持ち込まない限り利用者の感染リスクは抑えられる。医療機関も往診で済ませてくれたり、どうしても医療機関にかからなければならぬ場合は、入院となるかそれほどでなければならぬ車で待機しての診察となり、ほとんど不特定多数の人との接触を断つ状態が続いている。保護者の面会も遠慮してもらっている。楽しみにしていた旅行や買い物も我慢してもらった。また入所利用者の半分ほど県外からの利用者なので、夏休みに自宅へ帰って持ち込まれることが心配で、夏の帰省を見合わせることにした。このように利用者にとっても家族と会えないことや、楽しみにそれを張りながんぼってきた買い物や旅行に行けず、ストレスが溜まっていることを感じる。そんな中でも何とか職員が工夫してコンビニを呼んで移動販売してもらったり、マンツーマンでついて1時間ほどの外食と買い物をしてみたりと、何とか楽しみになることを設定しようと思っているが、買物をマンツーマンで行うというのはとても時間も手間もかかることで、そう簡単には実現してあげられず、時々無断外出されてコンビニで無銭飲食をされたりということも起きている。

4. 今のところ職員と同様毎朝熱を測って、その他の症状もないことを確認しながら受け入れているが、やはり家庭によっては外出制限をさせきれなかったり、ご家庭で見ていくことが困難だったりのご家庭もあり、正直毎日ひびひやしてはいる。しかしご本人はそれがルーティーンなので受け止めてあげなければならぬと思ひ、毎日祈るような気持ちで過ごしている。

5. 外部からの人々に対しては、往診のための医療機関の人たちか、食材や日用品を搬入する業者かに限り、毎日熱を測り体調を報告する用紙を用意して受け入れて

2020/5/25

Gmail - 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート

いるが、都内からくるリハビリの先生や千葉からくる鍼灸治療の先生は、お断りしている状態になっている。こうしたサービスが提供できないことで、日常動作の衰えや、免疫力の低下などが心配されるが、やはり東京から？千葉から？ということでは、何より職員が受け入れをとても恐れている。受け入れを断らなければならぬ状態がいつまで続くのか。人が行き来すればそこにリスクが伴う今回のコロナウイルスは、1日も早い特効薬ができること。もしも誰かがかかってしまっても、インフルエンザのようにしっかり防御すれば大丈夫という状態になれる日が1日も早く訪れることを願うばかりだ。

栃木県足利市田島町 6 1 6

社会福祉法人こころみる会

障害者支援施設こころみ学園

施設長 越知真智子

電話 : 0284-41-5039

FAX : 0284-43-2665

e-mail : kokoromi@cocoromi.or.jp

---

 winmail.dat  
13K

## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関して

表題の件について、私どもは障がい福祉サービス事業（生活介護・就労継続B型）を展開している中での影響について以下の通り報告致します。

- ・食品関連の作業を行っているが、衛生備品（消毒・マスク）の入手が難しい。また、価格の高騰により、運営費が予算より多くなっている。
- ・マスクの着用が出来ない方もおり、感染の不安を抱えながらの支援になっている。
- ・イベント等の販売機会の中止により、販売機会が激減し、工賃に影響している。
- ・施設外就労を実施しているが、企業関係（施設外就労先）も取引先の休業（工場や販売先）のために仕事が減少しているため、工賃と共に施設外就労加算が取れず、運営面にも影響がある。また、利用者の意欲にも影響がある。
- ・自動車関連の下請け作業についても、減少し見通しが見つからない。
- ・イベントの中止、外出自粛、移動支援の停止等、作業所外での余暇の使い方ができず、利用者のストレスとなっている。
- ・毎年実施している私たちのイベントについても判断に迷いながら、いつもと違う様子に負担となっている。
- ・ご家族は、閉鎖しないよう（家で見きれない）対応してほしいと要望が多い。
- ・利用者たちも作業所に通ってくることを生きがいに思っているため、通ってきたときのメニュー（仕事量もそうであるが）が、制限されてしまい、新たなメニュー創出のための職員の負担が大きい。
- ・職員も利用者の支援、外出自粛、感染症対策のための取り組み等から、業務量も増え、疲労感、ストレス感がみられる。
- ・国、県、市から様々な通知が出ているが、分かり辛い。また、同じ内容の資料も多く、緊急的なアンケート（2～3日で返答求めるもの）も増え、事務量が煩雑になっている。
- ・収束の見通しもつかず、利用者の行動に対しての判断も難しく、いつまで外出を自粛したらよいかなど、先が見えず、目標が見えないため、毎日が負担に感じている。
- ・在宅支援になった場合は、知的に障がいのある人が主であるため、webや電話でのやり取りの方法などが難しく、家族も高齢のため方法を模索するところからであり、負担である。

以上

社会福祉法人復泉会  
くるみ共同作業所  
施設長 峰野和仁

〒433-8101 浜松市北区三幸町 201-5

TEL 053-430-6180

21

令和2年5月23日

障がい者福祉研究所  
ご担当者様

社会福祉法人すぎのこ会  
けやきの家 所長 軽部慎吾  
栃木県栃木市岩舟町曲ヶ島 825-3  
TEL 0282-54-3510  
FAX 0282-55-6859

日頃より大変お世話になっております。

今回の、「新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート」において、下記の内容のとおり回答させていただきます。

#### 1. 利用児者の受入れについて

今回、特別支援学校休業により、毎日ではありませんが利用増となる日がありました。感染を防ぐためには3密を避けることが原則となりますが、施設建物の構造上回避することが困難な状況であり、利用児者・家族・職員にとって不安な中での受け入れとなりました。また、ご家族にとっても仕事を休めない状況であり、子どもを預けないわけにはいかないことが、ここには重なります。ご家族の中には、医療従事者や福祉従事者の方もおり、私たちと同じ状況下にある方々を支えたい想いがあります。

この受入れスタイルは第二の学校を作る形であり、そして事業所におきましては喘息や糖尿病などの持病を抱える大人の利用者もいる環境となりますので、感染により重症化につながるリスクが高い状況となります。

福祉の現場は、社会に貢献するため受け皿となる役目を背負いますが、もしクラスターなどが発生した場合、社会から様々な見方をされることでしょう。そこで提案、お願いになりますが、下記についてご検討をお願いいたします。

- ①教育機関等における児童の柔軟な受け入れ体制
- ②社会全体における家族へのサポート
- ③負の連鎖を生み出す報道

#### 2. 事業所運営における給付、報酬等について

私どもの事業所は、生活介護35名、放課後等デイサービス5名（重症心身障がい児）の多機能型事業所になります。昨年度との同時期に比べ、4月は月当たり約1,000,000円の減収となり、5月は更に減収増となります。6月より受入れ状況が回復し、例年並みに戻る見込みもありますが、今後更に感染症の第二波、第三波が起こっ

た場合、経営に多大な影響を及ぼすことが予想されます。

1. でも述べましたように、社会をそして利用児者家族を支えるために精いっぱい努力する想いですが、事業所運営ができなくなった場合を想像すると不安な思いになります。

そこで、国や行政からの事業所運営におけるサポートをお願いしたいと考えます。

### 3. 備品等の供給について

今回の感染症において、マスクやアルコール、体温計等の備蓄がいかに重要か考えさせられました。しかし、備蓄だけでは対応しきれないことも現状です。

社会的な受け皿として、支援を求められる現場において、やはり備品の需要に対するスムーズで安定した供給を求めたいと考えます。

今後も地震や水害など、様々な災害が起こることが予想されます。法人 BCM において、備えを固めているところではございますが、行政側からの積極的サポートを求めたいところです。それは、マスク等の備品供給だけでなく、自家発電機等の設備設置や、利用者を支える人財確保等における支援体制維持への支援でも結構です。私たちが社会を支える役割を担うため、私たちを支える支援を求めます。

上記、3つの視点からの意見を述べさせていただきます。よろしくお願いいたします。

令和2年5月22日

20

障がい者福祉研修所  
代表 足高 慶宣 様

社会福祉法人 明和会  
共同生活援助事業所  
ホームピンネ  
管理者 旭 秀樹  
(公印省略)

### アンケートの提出について

拝啓 日頃は当事業所の運営に深いご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。  
本日は、ご依頼のあったアンケートを送信させていただきます。ご査収の上、お取り扱いいただけますようお願い申し上げます。  
何かご不明な点がございましたら、当事業所までご連絡ください。

敬具

073-1105  
樺戸郡新十津川町字花月243番地7  
共同生活援助事業所 ホームピンネ

管理者 旭 秀樹

Tel 0125-72-4800 fax 0125-72-4801

## 新型コロナウイルスに関する困りごと

### ① 利用者様対応について

・私どもGHでは、北海道より出された緊急事態宣言後より、外出の制限を行っております。当初は、すべての外出（帰省も含む・近隣市町村も）を禁止としております。やはり、利用者様にとっては外出が楽しみにしている方も多いため不満等がありました。ただ、それはテレビなどを通じ利用者様も理解して頂ける方も多かったので、致しかたない部分がありました。不満というのも、私たちとは変わりませんし、ただアクションが他者（健常者）から見ると大きいだけですので、支援者から困るといった事はありませんでした。

その中でも一番困ったのは、特定の場所に行くルーティンを持った利用者様（自閉傾向の方たち）です。予定変更がきかず、混乱する様子が非常に多かったです。こういった時に代替えがきかないつらさを感じました。

その他、帰省も中止としましたが、家族様の理解も得られ混乱する事はありませんでした。

現在では、町内のみでの外出は可能とし、余暇の幅が少し広がり利用者様のストレス軽減が図れてきております。

### ② 職員の動きについて

・職員のモラルの徹底を図ることは大変でした。制限があることは理解していると思いますが、【大丈夫だろう】ともっている方が多いように感じました。その反対で、【こんな状況なので仕事に行けない（不安・恐怖）】を訴える職員もおりました。その為、正しい知識を得る為、厚生労働省のマニュアルをもとの内部研修・及び毎日職員に対しモラルを持つことを繰り返し訴えてまいりました。幸いにも、私ども管内の感染者は少ない状況にはあります。ただ、いつ何時かかるか分からない不安感を持って頂くような話をしました。こういった時は不安感を与えることはいけないと思いますが、この社会状況は歴史的に見ても重大事件に位置付けられることですので、そういった思いを込め伝達致しました。

### ③ 感染対策

・対策については、上記の内容でございます。ただ、国・行政・振興局等から通知が来ますが、『発信しているでしょ』と言わんばかりに通知が多すぎと感じます。こういった時に感じるのは、『連携不足』『自分の仕事以外は興味なし』といったマイナス部分が際立ちました。そうは言っても、情報は大事ですので、その中から自施設にあった形のを抜粋し分かりやすく伝えるようにしました。

マスクやアルコール類に困ることはありませんでした。マスク不足になることは目に見えていましたので、早期に在庫を持ち対応する事が出来ました。感染予防の為の在庫もありましたので、全職員1箱（50枚入り）配布しました。普段の生活にも緊張感を

持って頂きたいのと、【かからない・予防意識を持つ】という思いを込め配布しました。その他にも、ご家族様及び国からマスク（手作り含む）の寄贈がありましたので使わせて頂いております。

19

令和2年5月22日  
 障害者支援施設 野菊の里  
 サービス管理責任者 藤井祐輔

<p>問題点の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、新型コロナウイルス感染症予防として日中活動の縮小</li> <li>2、帰省・外泊、面会の自粛のお願い</li> <li>3、衛生用品の調達</li> <li>4、利用者、職員の精神的な負担</li> </ol>
<p>具体例</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、 新型コロナウイルス感染症予防のため、また非常事態宣言発令のため、日中活動の自粛を行う。そのため、外部講師による機織り、染色、エアロビクス、ヨガ、レクリエーションといった日中活動出来ていない。また、ボランティアの来園も中止したため、音楽クラブ、生け花クラブ、おやつ作りクラブといった活動も行えず、地域のスイミングクラブを利用したスイミングも実施を自粛している。毎日午後に計画している外出支援も規模を縮小し、外食、買い物等は中止とし、気分転換に少人数でのドライブを支援している。また、運動会やバイキングといった大きな行事も中止となっている。利用者、保護者、職員ともに活動できないストレスを感じながらも日々の安心のため、また感染の不安と戦いながら支援をおこなっている。</li> <li>2、 帰省・外泊、面会についても自粛をお願いしている。1名のみ「帰省が出来ないのであれば自宅で見る。」と言われ、緊急事態宣言発令期間は、自宅で過ごされていた。定期的に連絡を行い、情報の供給を行っている。また、帰省を中止した利用者、保護者も多くストレス、不安を抱えられ普段と違う行動が出られたり体重が減少した利用者もいる。</li> <li>3、 衛生用品の在庫についても不安があり、当施設は幸い事前に多くの用品を調達出来ていたため新型コロナウイルス感染症予防対策時に、在庫がなくなる事はなかったがマスクやアルコールについてもいつ入荷できるかわからない事から使用の制限等行い支援を実施した。県や関係機関からアルコールやマスクの提供を受ける事が出来本当に助かっている。</li> <li>4、 いつ終わるかわからない状況が続いており、不安に感じている利用者も多くいる。日課である外出が制限され、不安から問題行動につながる事もあるため、職員と共に外出し気分転換を図る等、少しでも負担の権限につながるよう支援を行っている。職員についてもうがい、手洗い、マスク着用、出勤時の検温、県外への往来禁止、不要不急の外出を避ける、等の対策をお願いしているが、仕事と家庭の両立から普段以上に負担となっている。</li> </ol>

障がい者福祉研究所 御中

「新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート」回答

2020年5月22日

社会福祉法人 慶光会

保健医療部 大下 淳子

問題点の概要	具体的事例
<p>1. 就労事業での売り上げ減少 利用者の仕事の減少</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製麺事業を行っており、サービスエリア等に卸していたが、需要の減少にともない売り上げが減少。利用者に支払う工賃を維持するため補填が必要となった。</li> <li>・需要の低下にともない、仕事も休業せざる負えない状況となり、利用者の仕事も減ってしまい他の作業を臨時的に行ってもらった。</li> </ul>
<p>2. マスク不足</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業でマスクは必須だが、マスクの入手が困難となり、使い捨てマスクを繰り返し使う状況となった。</li> <li>・マスク販売価格も高騰していたが、買わなければならない状況であり予算外の支出となった。</li> <li>・職員にもマスク着用を徹底してもらうため、法人全負担で職員へ布マスクを購入。これも予算外の支出となった。</li> </ul>
<p>3. 外出・帰省自粛に伴う利用者の ストレス増大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気分転換のため、定期的な外出・外食等を実施していたが、自粛にともないできず、不調となる要因となっている。</li> <li>・帰省に関しても、家族もGW中の帰省を楽しみにされていたが、自粛をお願いしていたためできず、家族にとってもストレスだった可能性あり。</li> </ul>
<p>4. 利用者ご家族の不安への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策のため閉所するのではないかという問い合わせがあり、入所から通所ご利用のご家族全員に感染予防を徹底したうえで開所、面会・帰省の自粛のお願いなど、対応が変わる度に案内文を送るなどの対応が大変であった。</li> </ul>

5. 感染疑いの取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の家族が、帰省する前に新型コロナウイルス感染のあった人と接触のあった人と短時間話をしたが、その職員は出勤してもよいかと相談され判断に困った。保健所に相談し、出勤してもよいただろうと判断されたが、念のため休んでもらった。</li> </ul>
6. 緊急事態宣言解除後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言解除にともない、感染防止対策を行ったうえでの外出・帰省・面会を検討していたが、県から自粛要請が来たため、自粛を継続せざる負えなかった。いつから解除してよいのか分からない。</li> </ul>
7. 万が一入院となった場合の入院受け入れ体制や付き添いについての不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の特性上、入所利用者・グループホーム利用者が入院となった場合、本当に入院受け入れが可能か。また、付き添いを依頼された場合、どうするか、対応に困った。</li> <li>・最悪、入院受け入れを拒否された場合、どこに收容し誰が対応するのか検討が必要だった。</li> </ul>
8. 利用者が感染した場合の通院引率や入院の際の付き添いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応可能な職員の選定や、実際に対応した場合の危険手当的な手当をどうするか。</li> </ul>
9. 2県にまたがり事業展開を行っているため、対応の統一が難しかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に事業所が多くある県の対策に順じて対応を行ったが、県によってアンケート内容であったり、マスクや消毒薬の支給であったり方法が違い、確認しながらの申請となった。</li> </ul>
10. 感染者を出すことなく経過していることに対して、職員へ臨時賞与支給の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の外出自粛や感染防止対策の徹底のおかげで、利用者・職員ともに感染者を出すことなく経過していることに対して臨時賞与の支給を検討しているが、これも予算外の支出となる。</li> </ul>
11. 政府から配布された布マスクの劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日は毎日通所されているため、毎日布マスク（四角いガーゼマスク）を着用・洗濯しているため、1ヶ月ほどでゴムが伸びたり縮んだり劣化がみられてきた。今後のマスクをどうするか要検討。（利用者の布マスク購入費用の補助などあれば・・・）</li> </ul>

以上。

当法人は岡山県と鳥取県の両県で事業展開しています。重度の方の入所施設から在宅の方が通所される就労支援まで、様々な利用者と事業展開を行っている法人です。

アンケートの趣旨に副わない回答でしたら申し訳ありません。

2020年5月22日  
社会福祉法人 慶光会  
保健医療部 大下 淳子

117



Tomonari Ashitaka &lt;t.ashitaka1219@gmail.com&gt;

**障がい者福祉研究所 担当：事務局 足高様**

1件のメッセージ

木埋学園 <mokuri@kouseikan.jp>  
To: social-welfare-lab@e-mail.jp

2020年5月22日 13:10

From: 木埋学園 [mailto:mokuri@kouseikan.jp]

【新型コロナウイルス感染症が原因で、福祉現場にて生じている問題等に関するアンケート】の回答についてご返信させていただきます。

## 1. 新型コロナウイルス感染症が原因となり生じている問題点について

※ ショートステイの受け入れが一切できなくなってしまう、保護者も預ける場所がないとのことで

お願いをされたことがあったが、施設としてもクラスターが起きる原因の一つとして外部の受け入れを断ざるをえない状況が続いていること。

※ 保護者へ早い段階で、当面の間外出・外泊はできない旨を文章にて送付していたが、保護者に

よっては頻繁に面会に来られたり、外出や外泊の申し出などがあつたりと、保護者への説明へ

職員が対応に追われる場面があること。

令和2年5月22日

コロナウィルス感染症による問題等に関するアンケート

大分県臼杵市  
障害者支援施設 聖心園

<p>問題点の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、入所利用者の外出制限 外出自粛を受けて、入所利用者さんが外出できなくなり、精神的に不安定になった。</li> <li>2、外部講師制限 クラブ活動やリハビリ等の講師が来園できなくなった。</li> <li>3、入所利用者に基礎疾患を持つ方のリスクが高くなった</li> <li>4、在宅利用制限</li> <li>5、職員のモチベーションが下がった</li> </ol>
<p>具体的事例</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、入所利用者の外出制限 毎月実施してきた市内等への外出、買い物ができなくなったことで、一部の利用者さんが壁を叩いたり物にあたって破損した。又、表情がなく、動作緩慢になった。</li> <li>2、外部講師制限 外部からの入園制限をしていたため、生け花クラブ、演歌ピクス、音楽クラブ、動作法の外部講師が来れず、楽しい時間を過ごすことができなくなった。 又、作業療法士や理学療法士、言語聴覚士、歯科衛生士も来れず、リハビリや経口維持、口腔ケア等の専門的な助言を受けることができなくなった。</li> <li>3、入所利用者に基礎疾患を持つ方のリスクが高くなった 職員による感染の可能性がある中で、呼吸器系や免疫に疾患を持つ方のリスクが高くなった。</li> <li>4、在宅利用制限 短期入所や日中一時支援事業を止め、外部からの感染防止対策としたため、今まで利用してもらってきた在宅利用者の大半が約2か月半の間、自宅にとどまる（他事業所を使っている方は少ない）ことになり、家で暴れたり、家族が仕事に行けなくなったりしていた。</li> <li>5、職員のモチベーションが下がった 陽性者が病院に不応を起こし、入院ができない場合には施設で見る可能性があるとの通知があり、有症者を支援する職員を募ったが、「支援するなら辞める」「出勤しない」との意見も聞かれた。</li> </ol>

## コロナウイルス感染症の福祉現場の影響について

名福 拓也

吉田 泰三

(mail)

- 1) コロナウイルス感染症が発生する前段階の予防マニュアルは厚労省から何度も通知され、また実際に発生した場合にも保健所などへの相談マニュアルはあるが、実際にコロナ感染者が施設内で発生した時の保健所などの具体的な対応方法や内容が分かるフローチャートや応援体制、福祉職員の応援があるのか全く分からないので指針を示してほしい。結局、自力で頑張れということなのか憤りを感じる。
- 2) トイレットペーパー、ティッシュ、体温計の不足、そしてマスク、アルコール消毒液の不足が生じ自力で高額なマスクや消毒液を購入したが、福祉現場には利用者様を守るための緊急的かつ早急な補給や補助をして欲しい。
- 3) 障害をお持ちの利用者はマスクをつけるのは困難、手洗いが出来ない、うがいも出来ないなどの障害特性を持っている方が多い。さらには、もし感染が疑われる前段階で予防と静養のために、個室で静養してもらおうとしても個室でじっとしてられない方も多いため隔離は難しい
- 4) サービス管理責任者の研修を受けさせたいが、研修日程が更新されないうえ、研修があるのかも分からない。人員配置基準上、減算対象にもなるため今後の指針を示してほしい。また新規事業所の開設要件に配置必須であるが、研修がない状態では、特例措置でみなし配置ができるとか、猶予措置を講じるなど早急に対応して通知すべきだ。
- 5) 施設内で感染者が出た場合には、自己犠牲しながら出勤する職員には危険手当の支給を当法人として考えているが、政府として感染リスクが高い医療現場従事者や感染者が発生した福祉施設従事者には処遇改善手当の特別枠ないしは危険勤務手当の臨時支給を検討されたい。
- 6) コロナウイルス感染症の施設進入を極力防止するため利用者の外泊、外出を極力制限しているが、どうしても受診しなければならない定期受診があり制限出来ないため、非常に心配している。

- 7) 利用者の散髪の期間の極力伸ばしているので、利用者の精神的負担が増えている。
- 8) 歯科受診もクリーニングは延期しているので、口腔ケアも長期になると限界がある。どうしても受診しなければならない利用者は受診しなければならず、感染症罹患のリスクが増え、利用者を守る上での精神的負担が増えた。

2/2

令和2年5月22日  
社会福祉法人男鹿更生会  
障害者支援施設玉の池荘  
管理課 杉山 光

1)

新型コロナウイルス対策で、利用者様が楽しみにされている買物や社会見学等の外出に制限がかかり、生活に於ける楽しみが減っている。中には外出出来ない不満から不安定になってしまう利用者様もいる。代替の支援（買物代行、気分転換に繋がる行事）で対応しているが、根強く外出のニーズがある。

2)

感染症対策の為、マスクやアルコール手指消毒薬等の衛生用品確保に出入り業者と連絡を密にして対応している。幸い、地元で布マスクを製造している業者から職員分の布マスクを購入する事が出来、使い捨てマスクが入荷し辛い状況でも、一定量のマスク在庫を確保する事が出来た。利用者様はマスクをポケットにしまったり、居室に持ち帰ってしまったたりされる為、衛生面での対応が難しく、使い捨てマスクを提供し対応している。

問題点の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移動を伴うサービスについて、外出自粛により提供できなくなった。</li> <li>2. サービスの選択ができなくなった。</li> <li>3. 共同生活援助事業の休日支援が増えた。</li> <li>4. 支給品について</li> <li>5. 福祉事業の使命について</li> <li>6. 予算措置について</li> <li>7. 情報伝達について</li> </ol>
具体的事例と要望	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共交通機関を利用して、休日の買い物や社会性を身に着けるための経験が実施できず、不安定になった。</li> <li>2. 複数の通所系事業所を利用していたが、感染症蔓延防止の為、一つに絞り利用するようになった為、生活の幅が狭まった。</li> <li>3. 外出自粛により、共同生活援助事業の利用者が休日にグループホームに残る（普段は外出し活動）ことで、日中支援（生活スタイルへの助言や変化によるストレス等の相談）が必要になり、職員の負担が増える。 日中支援加算の臨時的取扱い以外にも、上乘せできる加算をお願いしたい。</li> <li>4. 事業所の定員規模と職員数により、マスクが配布されたが、障害特性によりマスクの着用が難しい方も一定数おり、又、介護度の高い方においては、感染防止対策は介護者に大部分を委ねていることを踏まえ、個人へのマスク配布より、事業所へ消毒液や防護服等の介護者が安心して働けるような対策をしてもらいたい。 マスク等、流通が減ったため、値上がりが著しい。</li> <li>5. 福祉事業は、利用される方々の安心安全な日常を守る使命があり、安易に保護者へ負担を強いるものではないと考えます。 よって、事業を継続的に遂行できるよう備品の優先的な提供ルートの確保、職員の感染リスクに対する補償等、システム構築を進めてもらいたい。</li> <li>6. 社会福祉施設等施設整備費補助事業などの予算措置は、新型コロナウイルス感染症の対策に関わらず、例年通り実施して頂きたい。</li> <li>7. 感染症対策に関する情報が、県、市町、各種団体等から発信され、情報の処理に時間を費やした。</li> </ol>

新型コロナウイルスによる問題点等

12

5/21

光陽荘（施設入所支援、生活介護、短期入所）

- 1、施設内から長期間出ることが出来ず、ストレスが掛かり情動面に影響がみられる。
- 2、家族との面会が出来ず、利用者は、ストレスや不安を感じ、家族は心配されている。
- 3、職員の体調不良時に大事を取って症状回復3日間の出勤停止としている為、人員不足となり疲弊疲労が目に見える。
- 4、年間予定が立てられない。（行事、研修等）

社会福祉法人 緑星の里  
障害者支援施設 光陽荘  
支援課長 鷹嘴 剛  
TEL 0144-58-4141  
fax 0144-58-4142  
mail t\_takanohashi@ryokusei.or.jp

5/20 11

新型コロナウイルス感染症を原因とする  
福祉現場への影響に関するアンケート

社会福祉法人 不動園  
天ヶ瀬きぼうの家  
施設長 守本 明

問題点の概要	<ol style="list-style-type: none"><li>1、陽性の方に接触した可能性のある A さんに接触している A さんの家族（入所施設職員 B）の勤務を出勤させるべきか休ませるべきか。</li><li>2、同一敷地内に入所型 3 箇所、通所型 2 か所がある法人だが、3 月末に同一法人のグループホーム利用者 C さんが 38 度の熱が続いた。病院受診すると、インフルエンザ（-）、レントゲンにて肺炎の所見ありとのことだった。</li><li>3、緊急事態宣言が出て短期入所の一時中止をお願いした。</li><li>4、感染者が出た場合の対応について</li></ol>
具体的事例	<ol style="list-style-type: none"><li>1、 京都市内の病院に入院されていた A さんのお見舞いと退院のお迎えをおこなっていた職員 B であるが、A さんの退院の 3 日後にその病院の看護師さんに陽性反応が出たことをニュースで知り、「どうしたらよいか」と問うてきた。 陽性と判断された時の濃厚接触者としては、A さんは挙げられていなかったが、潜伏期間を考えると、それ以前には陽性の出た看護師さんと接触があったかもしれないとのこと。 このケースを京都府の保健所に問い合わせたところ、「その病院で感染者が出たこと事態をまだ把握していない。京都市の病院なので今京都市の保健所が調査していると思う。今の時点で、京都市の保健所から自宅に連絡がないのであれば、濃厚接触者とされていない。確実ではないが、国の示している通りにすれば出勤しても良いケースです」という回答だった。 「入所施設なので、万が一職員 B が陽性になった際には、クラスターは避けられないので、その点を考えなければならないと思うのですが・・・」と質問すると、「こちらでは、その判断は出来ない。もし B さんに症状が出たら連絡してください。」という回答だった。 「その際は、いろんな指示を出してくださるんですね。出た時点で、職員とご利用者の全員が濃厚接触者となりますが・・・」と聞くと、「仮に陽性反応が出たら、感染者は京都は入院してもらうので」というふうに言われた。「知的障害のある方々なので入院には付き添いが必要なため、重症でない限りは施設に診ることになると思います。クルーズ船状態になるのは避けたいので、職員 B の対応について相</li></ol>

談したのです」と言い返すと、「そこは、保健所がどうこう言えない。最終的には施設で決めてください」ということで、結果的には施設で判断して職員 B はに休んでいただいた。

今になって、37.5℃以上が削除されたが4月前半では、施設程の危機感が保健所にはないように感じた。

- 2、 保健所に PCR 検査のお願いに行くと、「病院受診で医師がその指示をしていないので出来ない。」とのことだった。

その後、Cさんは熱が上がったり下がったり、時には38℃が続いたので、再度、保健所に相談するも出来ないと言われた。

グループホームから通所施設を利用され、そこには自施設からも作業に行っており、もし陽性となると200名ほどが濃厚接触者もしくは濃厚接触者の接触者となるので心配した。

何度も保健所に相談し、ようやく医師に意見書を書いていただき PCR 検査を受けることが出来た。

- 3、 業者の施設内への出入りを禁止し玄関対応、入所利用者の外出外泊の自粛、外部からの訪問の自粛、職員の不要不急の外出自粛を指示するものの、社会福祉事業の使命として短期入所は自粛なしで実施していたが、緊急事態宣言が出されたことで、一時中止をお願いすることになった。市内の他法人も短期入所自粛を決められたことで、お一人の方はヘルパー対応が主となった。

なんとか、ご家族も頑張ってくださいているものの気を遣うところである。

- 4、 万が一、施設内で感染者が出た場合、個室がないため部屋を空けなければならないこと、施設内に対策の部屋を作らなければならないこと、ゾーンを分けるなどを考えてはいるが、今のハード面でどこまで出来るかは不安だらけ。

職員に感染者が多数出た場合の、法人他事業所からの応援は、おおよその決め事をしているものの、それぞれ家庭があり、様々な事情もあるであろうし、誰に応援にきてもらうかの決め事も、今から考えなければならない。

おそらく乗り越えられると思っているが不安はつきまとう。

## コロナウイルス感染症に関する福祉施設現場での影響について

社会福祉法人加治川郷 大峰寮

問題点の概要	①施設入所者のストレス ②職員の負担 ③施設経営上の問題
具体的事例	①3月以降利用者の方の外出と外泊を控えてもらい、ずっと施設内にて過ごしてもらっているため、相当なストレスとなっている。  ②職員にあっても感染症予防を前提に休日の外出等厳禁となっている。また職員のマスクは平時では事業所で買ったものを使っていたが、現在マスク不足から事業所の給食調理職員分しか確保できていないため、支援にあたる職員が個人で購入し多マスクを使用している。施設利用者には国や市からマスク2枚ずつの支給がそうそうにあったものの、職員各韻文については未だに政府支給分さえ支給されていない。  ③感染症対策として新規の入所希望者や短期入所利用者の受け入れを注視しているため、月単位で十数万単位の減収となっている。また、感染症対策のため価格高騰したマスクやフェイスガード、デスポ手袋や消毒液の購入の費用負担も大きくなっている。

5/19 9

障がい者福祉研究所  
事務局 足高 様

社会福祉法人みどりのかぜ

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート（回答）

福祉サービス事業者の休業やサービス提供量の制限等に伴い、利用者の皆様が困ったりご家族の介護負担増となったりしているケースは実際にありました。また、持病をお持ちの利用者様もいらっしゃいますので、マスクやハンドソープなどの衛生用品が品薄になったことも大変困った問題です。しかしながら、障がいがあってもなくても国民一人ひとりが感染予防についてできる範囲で努力する必要があると考えますと、サービス提供量の制限や感染予防のための休業などについても協力できる方は、協力すべきではないかと考えます。もちろん、サービスが中断されることにより生活が成り立たないなどの障がいがある方には継続したサービス提供が必要だとは思いますが、その一方で障がいがある方は「サービスを提供される人」「サービスを受ける人」とひとくくりにして受動的に捉えられがちです。今回、新型コロナウイルス感染症をきっかけに私自身、そのような差別や上から目線といったものが少なからずあったのではと反省しているところです。障がいがある方々も能動的に主体的に「新型コロナウイルスの感染防止に協力できるのだ」という視点も忘れないでいなければと考えております。前置きが長くなりましたが、それらを踏まえながら、以下のように回答させていただきます。

問題点の概要	具体的事例
情報がきちんと伝わらない。	視覚障がいがある方、聴覚障がいがある方、知的障がいや発達障がいがある方などに、どのように情報を伝えるかが課題です。マスクで口の動きを読み取れない聴覚障がいの方にどう情報を伝えるか。知的障がいがある自閉症の方に対して移動支援のサービスが制限された際、なぜ移動支援を利用できないのか分かるように情報を伝えるか。みんなで知恵を絞る必要があります。
人材不足に拍車がかかった。	人口減少により、どの業界でも人材不足ですが、障がい福祉分野においても働き手がないことが普段から課題だったのに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で求職者がさらに減少したようです。おそら

	<p>く、休業補償や求職者給付（失業保険）などの状況により、徐々に求職者も増えていくことと思われませんが、求職される方々に福祉の魅力について知っていただき、ぜひとも障がい福祉にも目を向けて頂きたい。そのためには我々事業者はもちろんのこと、広く福祉の分野で人手を必要としていることを広報していただきたい。</p>
<p>差別や偏見がある。</p>	<p>知的障がいがあるため、ソーシャルディスタンスについて理解できない方、マスクを嫌がる方、もちろんそういった方々が新型コロナウイルスに感染したり、他の方に感染させてしまったりといった状況を防ぐ役目も私たち事業者にあるとは思いますが。しかしながら、障がいについて理解していただければ、知的障がいがある方々を見る目が少し温かく変わるのではないのでしょうか。こんなときだからこそ、障がいがある方、高齢者や妊婦、子どもなどにやさしくなれるような社会をつくるため、啓発活動や教育に力を入れて頂きたいと思います。</p>

2020/5/20

Gmail - アンケートの回答



JA 5/19  
Tomonari Ashitaka <t.ashitaka1219@gmail.com>

## アンケートの回答

1件のメッセージ

yonegundan14beachsoccer@yahoo.co.jp <yonegundan14beachsoccer@yahoo.co.jp>

2020年5月19日 17:20

返信先: yonegundan14beachsoccer@yahoo.co.jp

To: "social-welfare-lab@e-mail.jp" <social-welfare-lab@e-mail.jp>

～直面している問題点、困っていること～

○こちらは障害者支援施設(入所)です。

・外出外泊を楽しみにしている利用者が

できないことでイライラしたり無断外出などがあります。

・感染防止のためのマスクを付けることができません。

以上になります。

宜しくお願いします。 島袋

アンケートの回答

社会福祉法人 埼玉福祉会  
 神明苑 田村嘉朗  
 電話048-963-3289

<p>問題点の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、 衛生用具、用品の確保の困難さ。</li> <li>2、 休業と職員への感染の不安</li> <li>3、 入所利用者の感染の不安</li> <li>4、 新型コロナウイルスシフトの公的体制を望む。</li> <li>5、 職員の家族、利用者への家族への感染予防支援の脆弱さ。</li> </ol>
<p>具体的な事例</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、 マスクが社会的に品薄となり入手しにくくなったのと同様に、消毒用アルコール、衛生手袋(プラスチック手袋)、ガーゼ、ハンドソープ、検温計など施設の在庫のみで対処してきたが、限界にきている。感染予防のためには、日常的にも量的にも必要なので、困っている。                  また、マスクは量の確保のために、高騰の中、購入費用が、例年の単価の5倍はかかっている。</li> <li>2、 生活介護(通所)を休業としたが、利用者の特徴によっては、本人一人で勝手に施設に来てしまったり、家庭からの要請で職員が訪問したり、一日一回訪問し本人安否確認をしたり、など、万全の予防策をしたとしても、外に出て、複数の人と接する職員の感染が心配である。                  同時に、給付費の請求とのはざままで悩む。コロナ感染の危機の中、記録と実践は残さねばならないので。</li> <li>3、 感染者、自粛、入院、自宅療養、濃厚接触者、隔離、解除などの語彙の理解が十分にできない人や支援者が説明しても直ぐにわかってくれない人などの緊急時の対処が不安である。本人のストレスや不穏が隔離の維持を困難にさせたり、隔離と虐待との間でも、悩まなければならない不安がある。強制的な行為と同意を得た行為との違いはどこで判断されるのだろうか。                  隔離を優位に進めれば、感染の確率は下がるが、本人の二次的障害が拡大され、重大な過失となる場合もある。本人の特徴の尊重を優位に進めれば、隔離はあいまいとなり、感染の確率は上がるかもしれない。                  小規模入所施設では、行政の出す基準の項目を準備するのは無理であり、通知通りに動かすには、県や市町村又は大規模法人などが包括的に各施設を組み入れて施設のためのセーフティネットがあると良いという漠然とした考えはある。</li> </ol>

- 4、今はまさに渦中ですが、落ち着いても、第二波、インフルエンザとのダブルの流行など、予測されているのですから、厚労省からの通知で、一施設ではほとんど準備も対策もできない内容、例えば、帰宅しない職員の宿泊所、隔離の難しい入所利用者の隔離できる場の設定とか、衛生品の流通のコントロールを行い品薄をなくす、又は、行政での備蓄。各自治体や監督庁を核とした施設間の感染情報共有システムの工夫や、緊急事態宣言下での施設の休業も自己判断での休みも、給付対象とすること。そうすることで、安心して、支援できる。休みでも必然的にかかわることは多い。
- 5、日頃業務を行っている職員は、現場に来れば、コロナに対する緊張感で、一生懸命に支援業務をしてもらえるが、いざ、職場から離れたとき、外部の危険性は高い、利用者の家族にも同じである。ウイルスは外から入り込むものと思えば、職員に係る人間関係、少なくとも家族への配慮は必要で、施設として何ができるか、考えたとき、一家族にマスクひと箱を配布し、注意の啓発をするしかできない。感染予防は、個人の努力によるが、個人の努力だけでない、包括的な取り組みができないか悩む。施設をクラスターにしないためにも悩む。

けやき福井会が行った「新型コロナウイルス対策」について

49名の利用者さんに対して、平常は、地域資源（買い物、外食、外出、公共施設利用等）を利用しながら行っていました。また施設内の活動においても小グループに分散型で行っていました。今回新型コロナウイルス対策として、下記の状況をスタッフ間で話し合いながら行ってまいりました。利用者の家族には、ご理解をいただきながら、開所続ける方針で行ってきました。ただし、1名の方は腎臓疾患があるため、当分休みたいという報告がありました。この方が休まれてしまい、給付費はいただけません。まずは密な状態を作らない活動から始めました。

<p>蜜の状態を避ける</p>	<p>けやきの家「アネックスけやき」「休憩場岩船」けやき福祉会を支える会の建物「なかよしハウス」という場所をフルに使用すること、グループホーム利用の方々は、日中活動的な支援をスタッフが外向いて行うことをホームで行うことを春日井市にも伝えて行っています。「現段階は、5月30日までとする」</p> <p>問題なのは、公共施設の閉鎖に伴い、小グループの反日の活動ができなくなったこと。小グループが体を動かす活動をタイ区間等の公共施設利用を春日井市にお願いしたが、現状けやきの家だけの要望であるためできないといわれてしまいました。密な状況をどのように対策していくかは、各事業所によって異なると思いますが、残念でした。</p>
<p>防護服・アルコール。マスク</p>	<p>国として、基本的には。障害者施設関係は閉鎖しないという胞子を立てたならば、速やかに安全対策として必要なものは、準備していただきたかった。</p> <p>マスク。アルコールに関しては、大変でした。防護服はない状態なので、作りました。</p>
<p>身寄りのない利用者さんが感染した場合危険看護手当のようなものを作ってください。</p>	<p>身寄りのない方で、グループホームで生活されている方が、感染した場合どうするかが問題としてありました。軽症でも、入院させてくれないかと春日井市に尋ねましたが、一般的に、軽症の場合は、自宅という事なので、ホームで見てほしいといわれました。このことは、今後どのようにするかを示していただきたいと思います。ホームとしては、感染者が出た場合は、そのホームは停止。その利用者は自宅待機としました。しかし、自宅がない人が感染した場合を想定し、だれがどのように感染を防ぎながら、看護していくかは大きな課題です。事前に看護してもよいという人を募ることをしていきましました。勿論危険手当のようなものを、支給決定しなければなりません。その手当は通常あり得ない手当です。このような状況になった場合、国の方からぜひ示していただきたい。</p>

5

令和2年5月19日

障がい者福祉研究所

代表 足高 慶宣 様

社会福祉法人 松山共生会

ポッポ苑 苑長 渡邊大吾

新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート  
の回答について

問題点の概要	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 継続事業（B型）の作業の減少と収入の減収</li><li>2. 利用控えによるサービス利用費の減収</li></ol>
具体的事例	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 当事業所だけでなくほとんどの就労系事業所が企業からの委託事業を含め、メインになる授産活動にも影響がでています。そのため、大幅な減収による利用者への工賃の支払いに支障がでています。</li><li>2. 通所事業所では保護者による利用控えやグループホーム等事業所の方針により3月から利用者の3分の1が休んでおり、サービスの収入にも大きな影響がでています。</li></ol>

○住所：〒791-8003 愛媛県松山市志津川町 203 番 1

○TEL：089-979-0424 F A X：089-979-6391

○mail：[BCE04025@nifty.com](mailto:BCE04025@nifty.com)

○担当：渡邊大吾



Tomonari Ashitaka <t.ashitaka1219@gmail.com>

新型コロナウイルス感染症対策を原因とする福祉現場への影響に関するアンケートについて

1件のメッセージ

mominoki-kobe-as@clock.ocn.ne.jp <mominoki-kobe-as@clock.ocn.ne.jp>  
To: social-welfare-lab@e-mail.jp

2020年5月18日 19:15

障がい者福祉研究所 様

問題点概要

- 1. 利用者の方のストレス
- 2. マスク等感染症対策に必要な物品の確保
- 3. 公共交通機関を利用している職員の感染症対策

具体的事例

- 1. 新型コロナウイルス感染症対策の為、外出を控えている。  
利用者の方のご家族にも面会を控えていただいている中で、  
少しずつストレスが溜まってきている。
- 2. 新型コロナウイルスやそれ以外の感染症が流行る場合もあるためマスク等の  
感染症対策に必要な物品の在庫を現段階で少しは確保しているが、  
新たに入手するには難しいため手作りのマスクを作成し着用している職員もいる。
- 3. 公共交通機関を使用し通勤している職員に対し、  
新型コロナウイルス感染症対策として法人より送迎車を用意した。

\*\*\*\*\*  
社会福祉法人 樫の木福祉会

あさぎりの里

森田 睦

〒651-2312

神戸市西区神出町南619番地

tel : 078-965-0211

fax : 078-965-0868

<https://www.mominoki-kobe.net>  
\*\*\*\*\*





## 新型コロナウイルス感染症を原因とする福祉現場への影響に関するアンケート (回答)

1件のメッセージ

(社福)札幌三和福祉会 <info@s-sanwa-f.or.jp>  
To: social-welfare-lab@e-mail.jp

2020年5月18日 18:25

障がい福祉研究所 御中

アンケート回答

1) 生活介護・・・利用を自粛していただいている利用者に電話で健康状態等の確認だけでは報酬が算定されないのを改善してほしい。

→札幌市では電話での健康状態の確認だけでは報酬の算定は難しいとの回答でした。利用者から自宅に来て直接的な支援をしてほしいとの要望があつて支援した場合は算定できるとのことでした。

新型コロナウイルスは人と接触しないことが重要だと思います。また電話で支援員の励ましで自粛生活を乗り切れる利用者もおります。直接的な支援ではないかもしれませんが、算定していただきたいです。

2) 入所支援・・・罹患者がした場合、病院に入院できる人は少ないと考えています。そうすると施設で対応しなければならないのですが、

医療現場よりも防護に関してはかなり脆弱であります。現状では一人でも発症者が出れば、利用者や支援員も罹患したちまち施設は崩壊します。防護服や医療用のマスクがあればと思いますが、品不足だと思いますので、福祉事業所でもできる防護策（防護服に代わる物等）を示していただきたいです。

3) 職員の休業手当（給与補償）・・・福祉の職員給与は安く、雇用調整助成金が示す休業手当の算定方法では通常の給与の7割になってしまいます。

いくら雇用調整助成金で休業手当の10割かつ上限15,000円になったとしても生活に窮する状況になります。

福祉の仕事は人と人が密接にならざるを得ません。大変なリスクを職員は背負っております。

つきましては、休業手当の補償ではなく給与の補償を是非ともお願いしたい。また、雇用調整助成金の申請をもっと簡便していただきたい。

4) 職員の処遇改善・・・新型コロナウイルスだけではなくのですが、福祉職の給与が安すぎると改めて思います。医療従事者と同額まで引き上げてほしいです。現在の給与だと利用者の中で感染者が出たら、途端に離職をする人が出て当然だと思います。（現に千歳の

介護施設で起きてましたが。）現在の給与でこれだけのリスクを背負うことはできないのです。人の命を預かっているのは福祉も医療も同じだと思います。一方で給与の高さは職員にも専門職としての責任感をもつことにも繋がると思います。また人手不足が深刻な中では、大胆な処遇改善を切にお願いしたい。

社会福祉法人 札幌三和福祉会

施設長 前田 節

TEL:011-663-0201

FAX:011-663-0329

e-mail: info@s-sanwa-f.or.jp

差出人: 社会福祉法人ももやま福祉会

送信日時: 2020年5月18日 12:26

宛先: social-welfare-lab@e-mail.jp

件名: アンケートの件

障がい者福祉研究所  
事務局様

新型コロナウイルス感染症についてアンケートが届きましたので  
回答させていただきます。メールにて返信します。

問題点の概要  
具体例

1. 必要な測定器が手に入らない。
1. 病気の初期判断が測定器がないため測定できない  
例えば血中酸素が測定することができない。私は  
肺の病気をしているのでとても心配である。  
また、身近な体温計すら手に入らない。  
日本は、すぐにマスクのようにお金を儲ける人が  
出てくる。でも法律で裁かれない。なんか住みにくい  
国になりました。
2. 病気をしても病院が、受け入れてくれない。
2. 病院に電話してもうちはコロナの対応病院でない、  
初期段階で断られる。保健所に電話しても繋がらない  
繋がっても様子を見て下さい。日本の検査数は信じて  
いいのか疑問です。病気にかかったら自己責任のような  
気がする。仕事と家の往復でもしもといつも不安です。  
私は、日本という国がすきです、なんとかして下さい。